



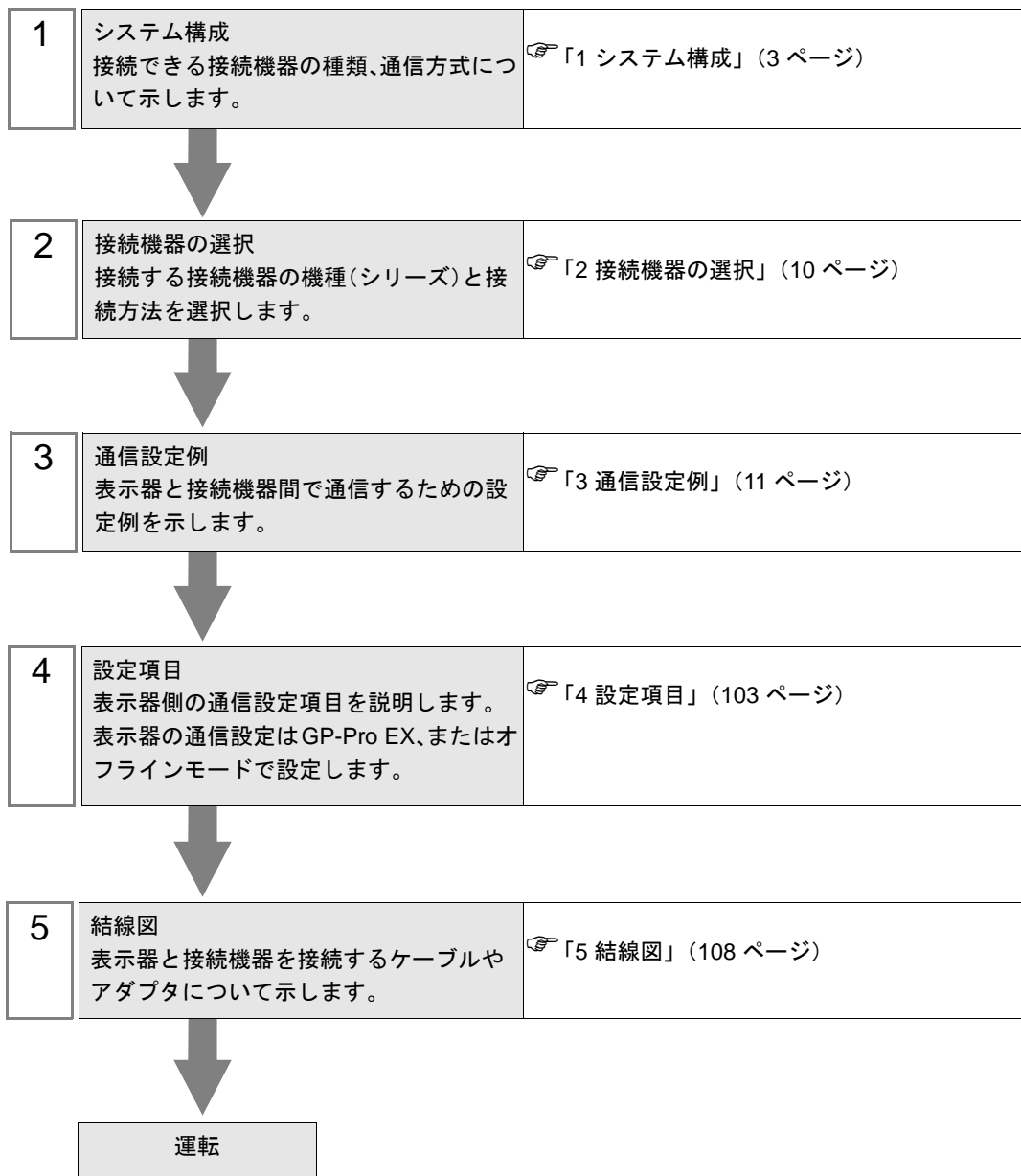
温度調節計ドライバ

1	システム構成.....	3
2	接続機器の選択.....	10
3	通信設定例.....	11
4	設定項目.....	103
5	結線図.....	108
6	使用可能デバイス.....	218
7	デバイスコードとアドレスコード.....	288
8	エラーメッセージ.....	294

はじめに

本書は表示器と接続機器（対象調節計）を接続する方法について説明します。

本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

理化工業（株）製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU※1	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
CB	CB100□□□□-□□*□□-5□/□ CB400□□□□-□□*□□-5□/□ CB500□□□□-□□*□□-5□/□ CB700□□□□-□□*□□-5□/□ CB900□□□□-□□*□□-5□/□	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 1 (11 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
FB※2	FB900-□□-□*□□□1/□□-□□□□ FB400-□□-□*□□□1/□□-□□□□	コントローラ上の 端子台 (通信 1)	RS232C	設定例 2 (13 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	FB900-□□-□*□□□4/□□-□□□□ FB400-□□-□*□□□4/□□-□□□□	コントローラ上の 端子台 (通信 1)	RS422/485 (4線式)	設定例 3 (15 ページ)	結線図 10 (177 ページ)
	FB900-□□-□*□□□5/□□-□□□□ FB400-□□-□*□□□5/□□-□□□□	コントローラ上の 端子台 (通信 1)	RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
	FB900-□□-□*□□□Y/□□-□□□□ FB400-□□-□*□□□Y/□□-□□□□	コントローラ上の 端子台 (通信 2)			
	FB900-□□-□*□□□X/□□-□□□□ FB400-□□-□*□□□X/□□-□□□□	コントローラ上の 端子台 (通信 1)	RS232C	設定例 2 (13 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	FB900-□□-□*□□□W/□□-□□□□ FB400-□□-□*□□□W/□□-□□□□	コントローラ上の 端子台 (通信 2)			
HA※3	HA900-□□-□□-□*□□-□□1□-□/□ HA900-□□-□□-□*□□-□□□1-□/□ HA901-□□-□□-□*□□-□□1□-□/□ HA901-□□-□□-□*□□-□□□1-□/□ HA400-□□-□□-□*□□-□□1□-□/□ HA400-□□-□□-□*□□-□□□1-□/□ HA401-□□-□□-□*□□-□□1□-□/□ HA401-□□-□□-□*□□-□□□1-□/□ HA930-□□-□□-□*□□-□1-□/□ HA430-□□-□□-□*□□-□1-□/□	コントローラ上の 端子台	RS232C	設定例 5 (19 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	HA900-□□-□□-□*□□-□□5□-□/□ HA900-□□-□□-□*□□-□□□5-□/□ HA901-□□-□□-□*□□-□□5□-□/□ HA901-□□-□□-□*□□-□□□5-□/□ HA400-□□-□□-□*□□-□□5□-□/□ HA400-□□-□□-□*□□-□□□5-□/□ HA401-□□-□□-□*□□-□□5□-□/□ HA401-□□-□□-□*□□-□□□5-□/□ HA930-□□-□□-□*□□-□5-□/□ HA430-□□-□□-□*□□-□5-□/□	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 6 (21 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
	HA900-□□-□□-□*□□-□□4-□/□ HA901-□□-□□-□*□□-□□4-□/□ HA400-□□-□□-□*□□-□□4-□/□ HA401-□□-□□-□*□□-□□4-□/□ HA930-□□-□□-□*□□-□4-□/□ HA430-□□-□□-□*□□-□4-□/□	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4線式) ※4	設定例 7 (23 ページ)	結線図 10 (177 ページ)

シリーズ	CPU※1	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
MA900 ※3※5	MA900-4□□□□-□□-□*□□□□-□5/□ MA901-8□□□□-□□-□*□□□□-□5/□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 8 (25 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
	MA900-4□□□□-□□-□*□□□□-□4/□ MA901-8□□□□-□□-□*□□□□-□4/□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 9 (27 ページ)	結線図 10 (177 ページ)
	MA900-4□□□□-□□-□*□□□□-□1/□ MA901-8□□□□-□□-□*□□□□-□1/□	コントローラ上の端子台	RS232C	設定例 10 (29 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
SRV	V-TIO-A-□□□□-□□*□□□□-□□-□□ V-TIO-C-□□□□-□□*□□□□-□□-□□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 14 (37 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
SRX	X-TIO-A-□□-□□*□□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 15 (39 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
SA100	SA100□□□□-□□-□*□□-5□/□□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 16 (41 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
SA200	SA200□□□□-□□-□*□□-5□/□□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 17 (43 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
SR Mini HG(H- PCP-A/B)	H-PCP-□-□1N-□*□□	コントローラ上のモジュラーコネクタ 1	RS232C	設定例 38 (85 ページ)	結線図 11 (184 ページ)
	H-PCP-□-□4N-□*□□	コントローラ上のモジュラーコネクタ	RS422/485 (4線式)	設定例 39 (87 ページ)	結線図 8 (161 ページ)
SR Mini HG(H- PCP-J)	H-PCP-J-□4□-D*□□	コントローラ上の COM.PORT1 および 2	RS422/485 (4線式)	設定例 20 (49 ページ)	結線図 4 (125 ページ)
	H-PCP-J-□5□-D*□□		RS422/485 (2線式)	設定例 21 (51 ページ)	結線図 5 (132 ページ)
	H-PCP-J-□□1-D*□□	コントローラ上の COM.PORT3	RS232C	設定例 22 (53 ページ)	結線図 12 (186 ページ)
	H-PCP-J-□□4-D*□□		RS422/485 (4線式)	設定例 20 (49 ページ)	結線図 6 (143 ページ)
	H-PCP-J-□□5-D*□□		RS422/485 (2線式)	設定例 21 (51 ページ)	結線図 7 (150 ページ)
REX- F9000	F9000-□□□□-□*□□/□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 13 (35 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
REX-F	F400□□□□-□□*□□-□□□□-1□ F700□□□□-□□*□□-□□□□-1□ F900□□□□-□□*□□-□□□□-1□	コントローラ上の端子台	RS232C	設定例 23 (55 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	F400□□□□-□□*□□-□□□□-4□ F700□□□□-□□*□□-□□□□-4□ F900□□□□-□□*□□-□□□□-4□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 24 (57 ページ)	結線図 10 (177 ページ)
	F400□□□□-□□*□□-□□□□-5□ F700□□□□-□□*□□-□□□□-5□ F900□□□□-□□*□□-□□□□-5□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 25 (59 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
REX-D	D400□-□*□□-□-4 D700□-□*□□-□-4 D900□-□*□□-□-4	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 18 (45 ページ)	結線図 3 (118 ページ)
	D100□-□□*□□-□□-5□ D400□-□*□□-□-5 D700□-□*□□-□-5 D900□-□*□□-□-5	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 19 (47 ページ)	結線図 1 (108 ページ)

シリーズ	CPU※1	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
REX-G9	G9□□□□-□*□□□□-□□-1/A	コントローラ上の端子台	RS232C	設定例 26 (61 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	G9□□□□-□*□□□□-□□-4/A	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 27 (63 ページ)	結線図 10 (177 ページ)
	G9□□□□-□*□□□□-□□-2/A	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 28 (65 ページ)	結線図 9 (166 ページ)
REX-P300	P300□□□□-□□-□*D-□□□□-1	コントローラ上の端子台	RS232C	設定例 29 (67 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	P300□□□□-□□-□*D-□□□□-4	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 30 (69 ページ)	結線図 3 (118 ページ)
	P300□□□□-□□-□*D-□□□□-5	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 31 (71 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
REX-P250	P250□□□□-□*□-□□-1	コントローラ上の端子台	RS232C	設定例 32 (73 ページ)	結線図 2 (116 ページ)
	P250□□□□-□*□-□□-2	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 33 (75 ページ)	結線図 9 (166 ページ)
REX-AD	AD410□-□*□-□-□-4/CE	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 34 (77 ページ)	結線図 3 (118 ページ)
	AD410□-□*□-□-□-5/CE	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 35 (79 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
REX-PG	PG410□□*□□-□4	コントローラ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 36 (81 ページ)	結線図 3 (118 ページ)
	PG410□□*□□-□5	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 37 (83 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
AE500	AE500□□□□-□*□□□□-5□/□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 11 (31 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
LE100	LE100-□□*□5□□-□□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 12 (33 ページ)	結線図 1 (108 ページ)
SRZ (Z-TIO)	Z-TIO-A□-□□□□/□□-□□□□ Z-TIO-B□-□□/□□□□-□□□□ Z-TIO-C□-□□□□/□□-□□□□ Z-TIO-D□-□□/□□□□-□□□□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 40 (89 ページ)	結線図 13 (188 ページ)
SRZ (Z-DIO)	Z-DIO-A□-□□/□-□□□□□□□□ Z-DIO-A□-□□/□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 41 (91 ページ)	結線図 13 (188 ページ)
SRZ (Z-CT)	Z-CT-A□/□-□□ Z-CT-A□/□	コントローラ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 42 (93 ページ)	結線図 13 (188 ページ)
SRZ (Z-COM)	Z-COM-A-4□/□□□□ Z-COM-A-4□/□	コントローラ上の COM.PORT1 COM.PORT2	RS422/485 (4 線式)	設定例 43 (95 ページ)	結線図 14 (199 ページ)
	Z-COM-A-5□/□□□□ Z-COM-A-5□/□		RS422/485 (2 線式)	設定例 44 (97 ページ)	結線図 15 (206 ページ)
	Z-COM-A-□4/□□□□ Z-COM-A-□4/□	コントローラ上の COM.PORT3 COM.PORT4	RS422/485 (4 線式)	設定例 45 (99 ページ)	結線図 14 (199 ページ)
	Z-COM-A-□5/□□□□ Z-COM-A-□5/□		RS422/485 (2 線式)	設定例 46 (101 ページ)	結線図 15 (206 ページ)

※1 モードデータ “□” はオプションのタイプによって異なります。

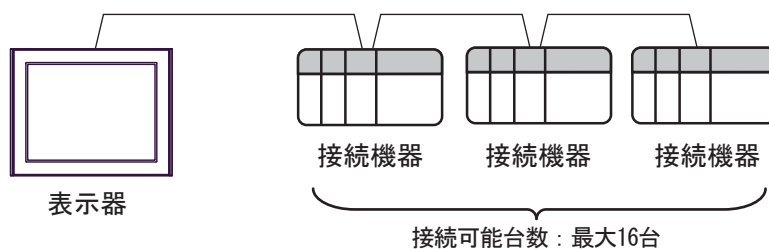
- ※2 通信ポートには、「通信 1」と「通信 2」の 2 種類があります。
「通信 1」はホスト通信として使用されます。「通信 2」は内部コントローラ通信として使用されますが、ホスト通信としても使用されます。「通信 2」がホスト通信として使用される場合、「通信 2」の
プロトコルを変更する必要があります。(RKC 通信が設定されます)
- ※3 メモリエリア番号は指定されません。「コントロールエリア」がデフォルトとして使用されます。
- ※4 「通信 2」は RS422 接続のみサポートします。
- ※5 サポートされるのはシングルモードだけです。マルチポイントモードはサポートされておりません。

■ 接続構成

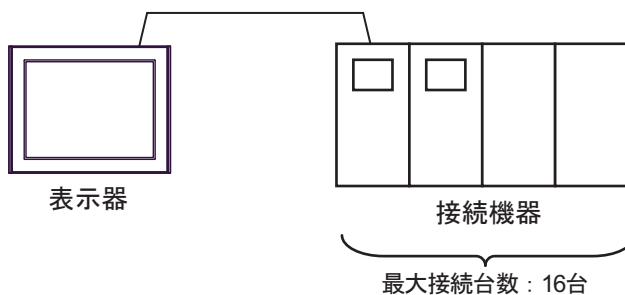
- 1 : 1 接続



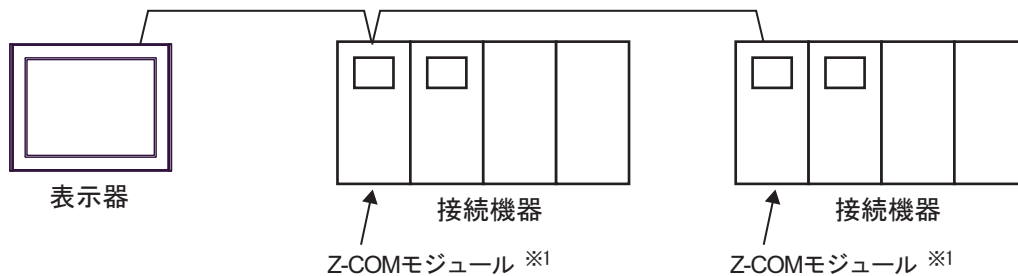
- 1 : n 接続



- 1 : n 接続 (SRZ(Z-TIO)、SRZ(Z-DIO)、SRZ(Z-CT) シリーズの場合)



- 1 : n 接続 (SRZ(Z-COM) シリーズの場合)



※1 Z-COM モジュールの最大接続台数は 16 台です。

■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

シリーズ	使用可能ポート		
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)
PS-2000B	COM1 ^{※1} 、COM2、 COM3 ^{※1} 、COM4	-	-
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 ^{※1※2}	COM2 ^{※1※2}	COM2 ^{※1※2}
PS-3650A(T41 機種)、 PS-3651A(T41 機種)	COM1 ^{※1}	-	-
PS-3650A(T42 機種)、 PS-3651A(T42 機種)	COM1 ^{※1※2} 、COM2	COM1 ^{※1※2}	COM1 ^{※1※2}
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{※1} 、COM2 ^{※1} 、 COM3 ^{※2} 、COM4	COM3 ^{※2}	COM3 ^{※2}
PS-3711A	COM1 ^{※1} 、COM2 ^{※2}	COM2 ^{※2}	COM2 ^{※2}
PS4000 ^{※3}	COM1、COM2	-	-
PL3000	COM1 ^{※1※2} 、 COM2 ^{※1} 、COM3、 COM4	COM1 ^{※1※2}	COM1 ^{※1※2}

※1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

※2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

※3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみサポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでください。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。

ディップスイッチの設定：RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF ^{※1}	予約 (常時 OFF)
2	OFF	通信方式：RS-232C
3	OFF	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード：常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡：しない
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡：しない
9	OFF	RS(RTS) 自動制御モード：無効
10	OFF	

※1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定：RS-422/485（4線式）

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約（常時 OFF）
2	ON	通信方式：RS-422/485
3	ON	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード：常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡：しない
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡：しない
9	OFF	RS(RTS) 自動制御モード：無効
10	OFF	

ディップスイッチの設定：RS-422/485（2線式）

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約（常時 OFF）
2	ON	通信方式：RS-422/485
3	ON	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード：常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡：する
8	ON	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡：する
9	ON	RS(RTS) 自動制御モード：有効
10	ON	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。



設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1～4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「理化工業（株）」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種（シリーズ）と接続方法を選択します。「温度調節計」を選択します。 「温度調節計」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ☞「1 システム構成」(3 ページ)
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
システムエリアを使用する	本ドライバでは使用できません。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1 [接続機器変更](#)

概要
 メーカー シリーズ ポート
 文字列データモード [変更](#)

通信設定
 通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)
 通信速度
 データ長 7 8
 パリティ なし 偶数 奇数
 ストップビット 1 2
 フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF
 タイムアウト (sec)
 リトライ
 送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。


機器別設定
 接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=0B,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

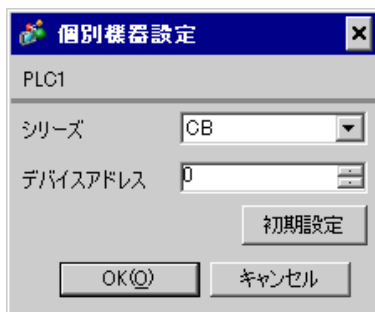
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを押して PV/SV 表示モードから通信設定モードに移行します。
2. SET キーを押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押して通信設定モードから PV/SV 表示モードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	2
bIT	0

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.2 設定例 2

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=FB,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

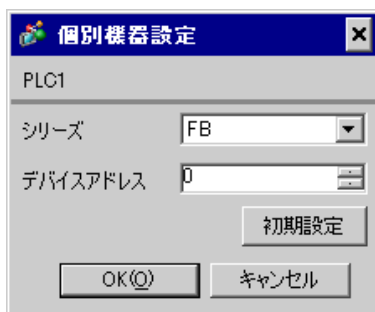
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを長押しして PV/SV 表示モードからエンジニアリングモードに移行します。
2. アップキーを数回押して F60 を指定し、SET キーを押します。
3. CMP1 に 0 を設定します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押してエンジニアリングモードから PV/SV 表示モードに移行します。
5. SET キーを押しながらシフトキーを押して PV/SV 表示モードからセットアップ設定モードに移行します。
6. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
7. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
8. SET キーを押しながらシフトキーを押してセットアップ設定モードから PV/SV 表示モードに移行します。
9. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add1	0
bPS1	19.2
bIT1	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.3 設定例 3

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1 [接続機器変更](#)

概要
 メーカー シリーズ ポート
 文字列データモード [変更](#)

通信設定
 通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)
 通信速度
 データ長 7 8
 パリティ なし 偶数 奇数
 ストップビット 1 2
 フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF
 タイムアウト (sec)
 リトライ
 送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。


機器別設定
 接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=FB,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

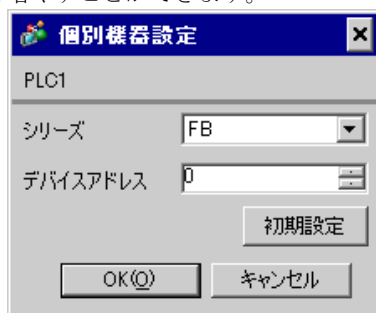
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを長押しして PV/SV 表示モードからエンジニアリングモードに移行します。
2. アップキーを数回押して F60 を指定し、SET キーを押します。
3. CMP1 に 0 を設定します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押してエンジニアリングモードから PV/SV 表示モードに移行します。
5. SET キーを押しながらシフトキーを押して PV/SV 表示モードからセットアップ設定モードに移行します。
6. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
7. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
8. SET キーを押しながらシフトキーを押してセットアップ設定モードから PV/SV 表示モードに移行します。
9. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add1	0
bPS1	19.2
bIT1	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.4 設定例 4

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=FB,デバイスアドレス=0"/>	+

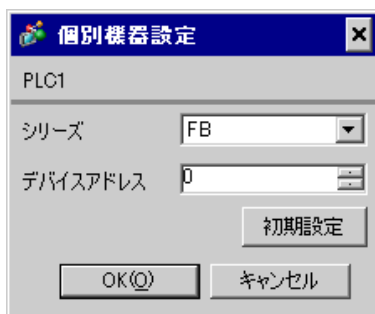
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを長押しして PV/SV 表示モードからエンジニアリングモードに移行します。
2. アップキーを数回押して F60 を指定し、SET キーを押します。
3. CMP1 に 0 を設定します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押してエンジニアリングモードから PV/SV 表示モードに移行します。
5. SET キーを押しながらシフトキーを押して PV/SV 表示モードからセットアップ設定モードに移行します。
6. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
7. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
8. SET キーを押しながらシフトキーを押してセットアップ設定モードから PV/SV 表示モードに移行します。
9. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add1	0
bPS1	19.2
bIT1	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.5 設定例 5

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=HA,デバイスアドレス=0"/>	+

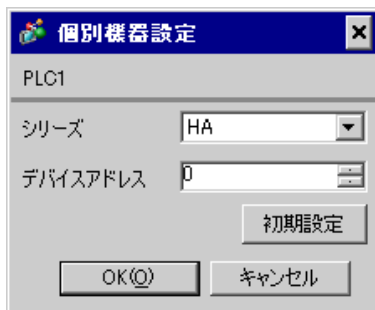
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを押して SV 設定&モニタモードからセットアップ設定モードに移行します。
2. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押してセットアップ設定モードから SV 設定&モニタモードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add1	0
bPS1	9.6
bIT1	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.6 設定例 6

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=HA,デバイスアドレス=0"/>	+

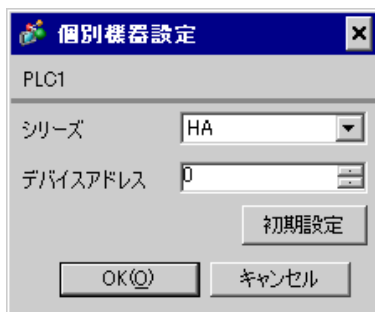
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを押して SV 設定&モニタモードからセットアップ設定モードに移行します。
2. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押してセットアップ設定モードから SV 設定&モニタモードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add1	0
bPS1	9.6
bIT1	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.7 設定例 7

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=HA,デバイスアドレス=0"/>	+

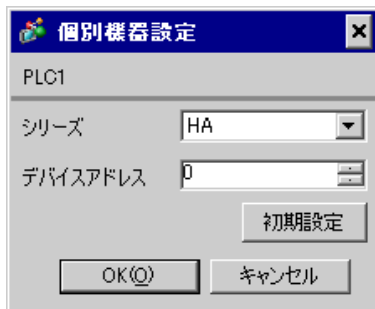
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを押して SV 設定&モニタモードからセットアップ設定モードに移行します。
2. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押してセットアップ設定モードから SV 設定&モニタモードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add1	0
bPS1	9.6
bIT1	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.8 設定例 8

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=MA,デバイスアドレス=0	+

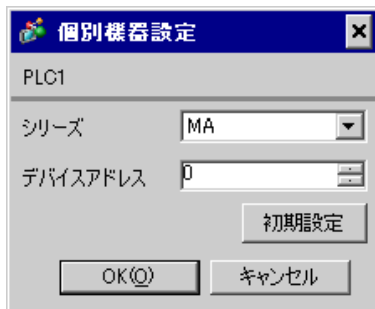
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながら <R/S キーを押して PV/SV モニタモードからセットアップ設定モードに移行します。
2. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
3. ダウン / アップキーおよび <R/S キーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながら <R/S キーを押してセットアップ設定モードから PV/SV モニタモードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	960
bIT	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.9 設定例 9

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=MA,デバイスアドレス=0"/>	+

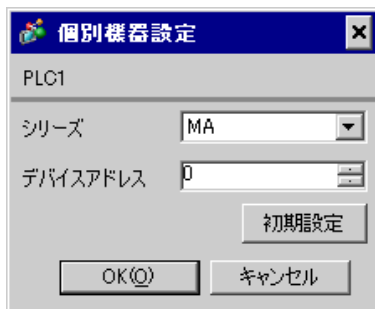
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながら <R/S キーを押して PV/SV モニタモードからセットアップ設定モードに移行します。
2. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーおよび <R/S キーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながら <R/S キーを押してセットアップ設定モードから PV/SV モニタモードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	960
bIT	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.10 設定例 10

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=MA,デバイスアドレス=0"/>	+

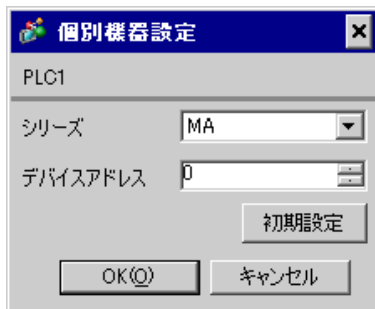
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながら <R/S キーを押して PV/SV モニタモードからセットアップ設定モードに移行します。
2. SET キーを数回押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーおよび<R/S キーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながら <R/S キーを押してセットアップ設定モードから PV/SV モニタモードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	960
bIT	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.11 設定例 11

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。


機器別設定

接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

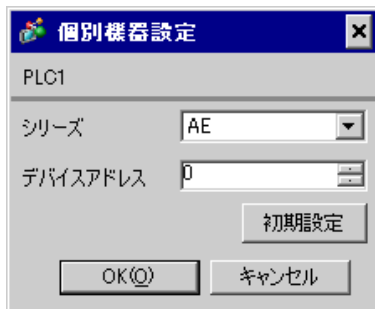
No.	機器名	設定	間接機器 追加	
<input type="button" value="👤"/>	1	PLC1	<input type="text" value="シリーズ=AE,デバイスアドレス=0"/>	<input 138="" 196="" 657="" 672"="" data-label="Section-Header" type="button" value="+</input></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="/> MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. シフトキーを押しながら SET キーを押して PV 表示モードから通信設定モードに移行します。
設定項目のデバイスアドレスが表示されます。
2. SET キーを押して設定したい通信設定項目を表示します。
SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
3. シフトキーを押して設定値表示に移行します。ダウン/アップキーを押して設定値を入力します。
4. SET キーを押して入力した値を登録します。
5. シフトキーを押しながら SET キーを押して通信設定モードから PV 表示モードに移行します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	2
bIT	0

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.12 設定例 12

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=LE,デバイスアドレス=0"/>	+

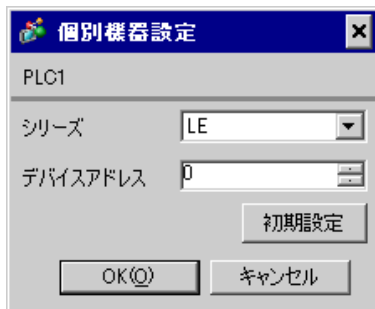
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。
詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. ダウンキーを押しながら SET キーを押して PV 表示モードから計器環境設定モードに移行します。
通信パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押して通信パラメータグループ「PG10」を表示します。
3. SET キーを押して設定したい通信設定項目を表示します。
SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して通信設定を行います。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	2
bIT	0

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.13 設定例 13

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/RTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="1"/>	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-F9000,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

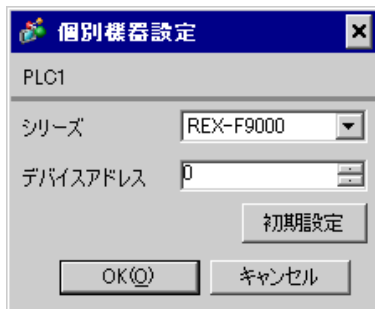
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 接続機器を制御停止状態 (STOP) にします。
MODE キーを押して「制御の実行 / 停止切換」を表示し、ダウンキーを押してモードを STOP にします。
2. SET キーを押して SV 設定モードからオペレータ設定モードに移行します。
3. SET キーを長押し (5 秒以上) してオペレータ設定モードからセットアップモードに移行します。
4. アップキーを押して「PG24」を表示します。
5. SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
設定する項目を表示し、ダウン / アップキーやシフトキーで設定内容を選択します。
6. SET キーを押して選択内容を確定します。
7. MODE キーを押して「制御の実行 / 停止切換」を表示し、アップキーを押してモードを RUN にします。

◆ 設定値

Add	0
bPS	3
bIT	0
CMPS	0

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.14 設定例 14

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="削除"/>	1	PLC1	<input type="button" value="設定"/>
		シリーズ=SRV.デバイスアドレス=0	<input type="button" value="追加"/>

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のロータリスイッチ、および調節計内部のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のロータリスイッチでモジュールアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成を設定します。

◆ 設定値

ロータリスイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW1	ON	通信速度
SW2	OFF	
SW3	ON	データビット構成
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	プロトコル選択
SW7	OFF	固定
SW8	OFF	

3.15 設定例 15

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SRXデバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

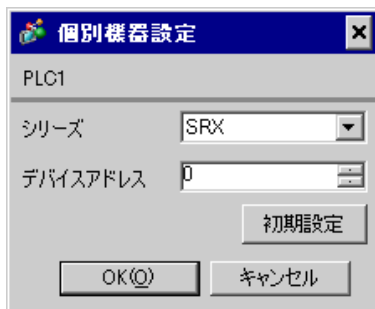
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のロータリスイッチ、および調節計内部のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のロータリスイッチでモジュールアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成を設定します。

◆ 設定値

ロータリスイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW1	ON	通信速度
SW2	OFF	
SW3	ON	データビット構成
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	プロトコル選択
SW7	OFF	固定
SW8	OFF	

3.16 設定例 16

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=SA,デバイスアドレス=0	+

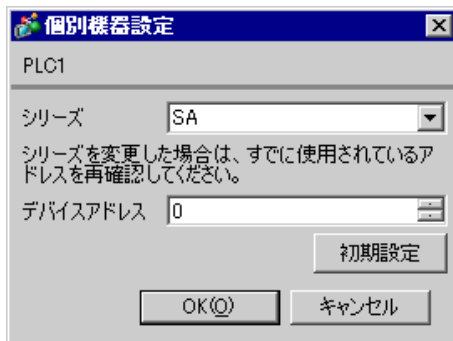
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを押して PV/SV 表示モードから通信設定モードに移行します。
2. SET キーを押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押して通信設定モードから PV/SV 表示モードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	960
bIT	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.17 設定例 17

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SA,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

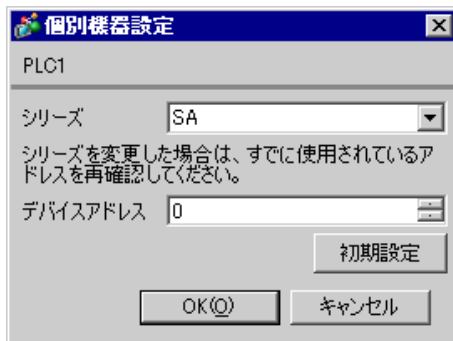
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを押しながらシフトキーを押して PV/SV 表示モードから通信設定モードに移行します。
2. SET キーを押してパラメータを選択します。
3. ダウン/アップキーを押して設定を変更します。
4. SET キーを押しながらシフトキーを押して通信設定モードから PV/SV 表示モードに移行します。
5. 設定を確定するために調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

Add	0
bPS	960
bIT	8n1

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.18 設定例 18

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-D,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

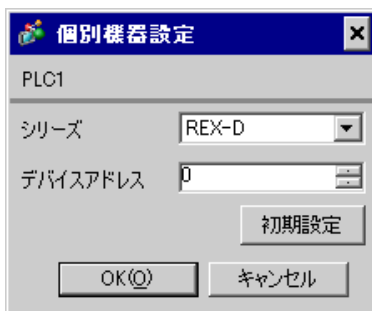
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MONI/MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SEL キーを長押し (2 秒間) して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG8」を表示します。
3. SEL キーを押して設定項目を表示します。SEL キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
5. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
6. モニタ/モードキーと SEL キーを同時に押して PV 表示モードから SETUP 設定モードに移行します。
7. SEL キーを数回押して Add を表示します。
8. ダウン/アップキーを押して設定値を入力し、SEL キーを押して入力値を確定します。
9. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
10. 接続機器の電源を OFF し、再投入します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	3
bIT	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.19 設定例 19

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-D,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

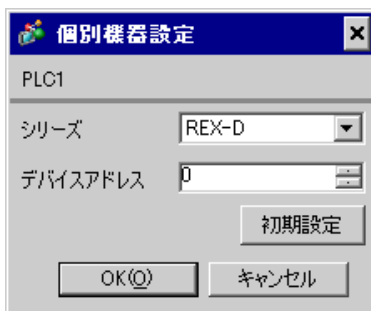
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MONI/MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SEL キーを長押し (2 秒間) して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG8」を表示します。
3. SEL キーを押して設定項目を表示します。SEL キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
5. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
6. モニタ/モードキーと SEL キーを同時に押して PV 表示モードから SETUP 設定モードに移行します。
7. SEL キーを数回押して Add を表示します。
8. ダウン/アップキーを押して設定値を入力し、SEL キーを押して入力値を確定します。
9. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
10. 接続機器の電源を OFF し、再投入します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	3
bIT	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.20 設定例 20

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/RTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="1"/>	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SR-Mini-HG(H-PCP-J),デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のロータリスイッチ、および調節計内部のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のロータリスイッチでユニットアドレスを設定します。
2. 調節計をマザーブロックから外し、調節計内部のディップスイッチで通信速度、データ構成を設定します。

◆ 設定値

ロータリスイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW1	OFF	データ構成
SW2	OFF	
SW3	ON	通信速度
SW4	OFF	

3.21 設定例 21

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="✖"/>	1	PLC1	<input type="button" value="⊕"/>
		<input type="text" value="シリーズ=SR-Mini-HG(H-PCP-J),デバイスアドレス=0"/>	

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のロータリスイッチ、および調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のロータリスイッチでユニットアドレスを設定します。
2. 調節計をマザーブロックから外し、調節計内部のディップスイッチで通信速度、データ構成を設定します。

◆ 設定値

ロータリスイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW1	OFF	データ構成
SW2	OFF	
SW3	ON	通信速度
SW4	OFF	

3.22 設定例 22

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="1"/>	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SR-Mini-HG(H-PCP-J),デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のロータリスイッチ、および調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のロータリスイッチでユニットアドレスを設定します。
2. 調節計をマザーブロックから外し、調節計内部のディップスイッチで通信速度、データ構成を設定します。

◆ 設定値

ロータリスイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW1	OFF	データ構成
SW2	OFF	
SW3	ON	通信速度
SW4	OFF	

3.23 設定例 23

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/RTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=REX-F,デバイスアドレス=0	+

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 接続機器を制御停止状態 (STOP) にします。
MODE キーを数回押して「制御の実行 / 停止切換」(run) を表示し、ダウンキーを押してモードを STOP にします。
2. SET キーを押してセット状態のオペレータレベル 1 を呼び出します。
3. SET キーを長押し (5 秒以上) してセット状態のオペレータレベル 2 を呼び出します。
4. SET キーを長押し (5 秒以上) してエンジニアレベルを呼び出します。
5. ダウンキーを数回押して「PG24」を表示します。
6. SET キーを押して設定項目を表示します。SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
7. ダウン / アップキーで設定内容を入力し、SET キーを押します。
8. MODE キーを押して「制御の実行 / 停止切換」を表示し、アップキーを押してモードを RUN にします。

◆ 設定値

Add	0
bPS	3
bIT	11

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.24 設定例 24

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-F,デバイスアドレス=0"/>	

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 接続機器を制御停止状態 (STOP) にします。
MODE キーを数回押して「制御の実行 / 停止切換」(run) を表示し、ダウンキーを押してモードを STOP にします。
2. SET キーを押してセット状態のオペレータレベル 1 を呼び出します。
3. SET キーを長押し (5 秒以上) してセット状態のオペレータレベル 2 を呼び出します。
4. SET キーを長押し (5 秒以上) してエンジニアレベルを呼び出します。
5. ダウンキーを数回押して「PG24」を表示します。
6. SET キーを押して設定項目を表示します。SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
7. ダウン / アップキーで設定内容を入力し、SET キーを押します。
8. MODE キーを押して「制御の実行 / 停止切換」を表示し、アップキーを押してモードを RUN にします。

◆ 設定値

Add	0
bPS	3
bIT	11

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.25 設定例 25

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-F.デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

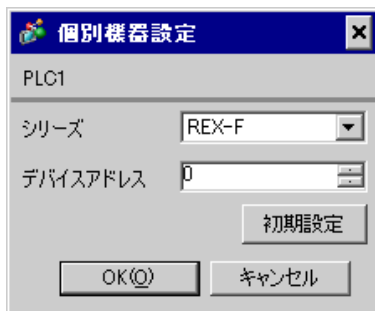
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 接続機器を制御停止状態 (STOP) にします。
MODE キーを数回押して「制御の実行 / 停止切換」(run) を表示し、ダウンキーを押してモードを STOP にします。
2. SET キーを押してセット状態のオペレータレベル 1 を呼び出します。
3. SET キーを長押し (5 秒以上) してセット状態のオペレータレベル 2 を呼び出します。
4. SET キーを長押し (5 秒以上) してエンジニアレベルを呼び出します。
5. ダウンキーを数回押して「PG24」を表示します。
6. SET キーを押して設定項目を表示します。SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
7. ダウン / アップキーで設定内容を入力し、SET キーを押します。
8. MODE キーを押して「制御の実行 / 停止切換」を表示し、アップキーを押してモードを RUN にします。

◆ 設定値

Add	0
bPS	3
bIT	11

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.26 設定例 26

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-G9,デバイスアドレス=0"/>	+

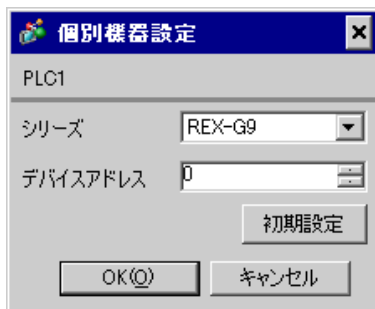
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、PARA キー、>>> キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. MODE キーを押して「運転の実行 / 停止切換」を表示します。
>>> キーを押して運転を停止状態にします。
2. PARA キーを押して「設定 (PARA) 画面」を表示します。
ダウン / アップキーを押して PARA GROUP 24 を選択し、PARA キーを押します。
3. PARA キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
設定する項目を表示し、ダウン / アップキーで設定内容を選択します。
4. 設定後、MODE キーを押して「運転の実行 / 停止画面」を表示します。
>>> キーを押して運転を運転状態にします。

◆ 設定値

Bit Format	P (パリティ) : n DT (データビット) : 8 SP (ストップビット) : 1
Device Address	0
Speed	9600

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.27 設定例 27

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-G9,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

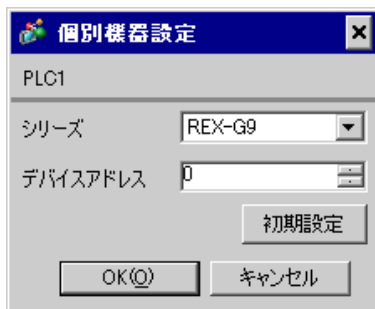
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、PARA キー、>>> キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. MODE キーを押して「運転の実行 / 停止切換」を表示します。
>>> キーを押して運転を停止状態にします。
2. PARA キーを押して「設定 (PARA) 画面」を表示します。
ダウン / アップキーを押して PARA GROUP 24 を選択し、PARA キーを押します。
3. PARA キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
設定する項目を表示し、ダウン / アップキーで設定内容を選択します。
4. 設定後、MODE キーを押して「運転の実行 / 停止画面」を表示します。
>>> キーを押して運転を運転状態にします。

◆ 設定値

Bit Format	P (パリティ) : n DT (データビット) : 8 SP (ストップビット) : 1
Device Address	0
Speed	9600

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.28 設定例 28

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/RTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=REX-G9,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

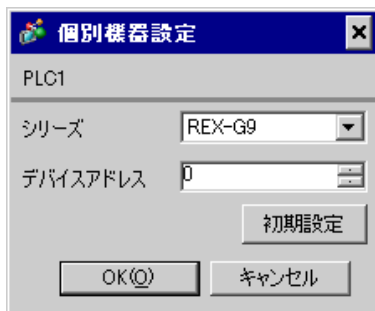
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、PARA キー、>>> キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. MODE キーを押して「運転の実行 / 停止切換」を表示します。
>>> キーを押して運転を停止状態にします。
2. PARA キーを押して「設定 (PARA) 画面」を表示します。
ダウン / アップキーを押して PARA GROUP 24 を選択し、PARA キーを押します。
3. PARA キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
設定する項目を表示し、ダウン / アップキーで設定内容を選択します。
4. 設定後、MODE キーを押して「運転の実行 / 停止画面」を表示します。
>>> キーを押して運転を運転状態にします。

◆ 設定値

Bit Format	P (パリティ) : n DT (データビット) : 8 SP (ストップビット) : 1
Device Address	0
Speed	9600

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.29 設定例 29

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-P300,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

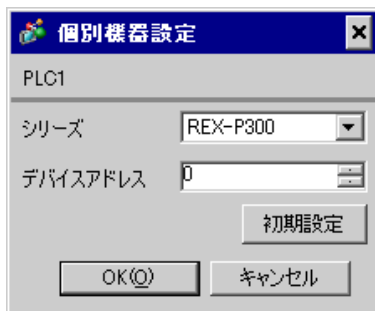
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを長押し (2 秒以上) して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG60」を表示します。
3. SET キーを押して設定項目を表示します。SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SET キーを押します。
5. リセットキーを押して接続機器をリセット状態にします。
6. モニタ/モードキーと SET キーを同時に押して SETUP 設定モードに移行します。
7. SET キーを数回押して Add を表示します。
8. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SET キーを押します。
9. RUN/HOLD キーを押して運転モニタモードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	2
bit	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.30 設定例 30

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-P300,デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

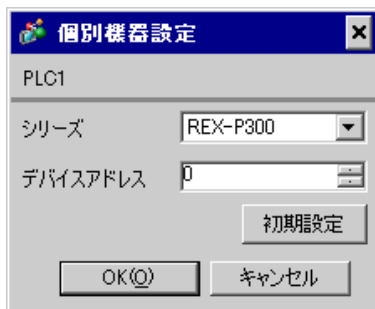
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを長押し (2 秒以上) して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG60」を表示します。
3. SET キーを押して設定項目を表示します。SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SET キーを押します。
5. リセットキーを押して接続機器をリセット状態にします。
6. モニタ/モードキーと SET キーを同時に押して SETUP 設定モードに移行します。
7. SET キーを数回押して Add を表示します。
8. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SET キーを押します。
9. RUN/HOLD キーを押して運転モニタモードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	2
bit	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.31 設定例 31

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="削除"/>	1	PLC1	<input type="button" value="設定"/>
		シリーズ=REX-P300,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="追加"/>

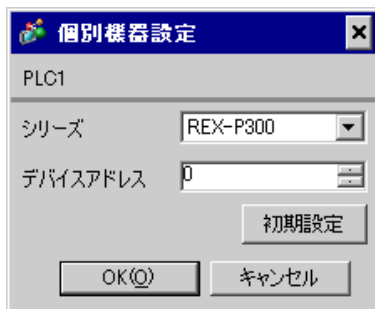
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SET キーを長押し (2 秒以上) して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG60」を表示します。
3. SET キーを押して設定項目を表示します。SET キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SET キーを押します。
5. リセットキーを押して接続機器をリセット状態にします。
6. モニタ/モードキーと SET キーを同時に押して SETUP 設定モードに移行します。
7. SET キーを数回押して Add を表示します。
8. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SET キーを押します。
9. RUN/HOLD キーを押して運転モニタモードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	2
bit	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.32 設定例 32

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=REX-P250,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

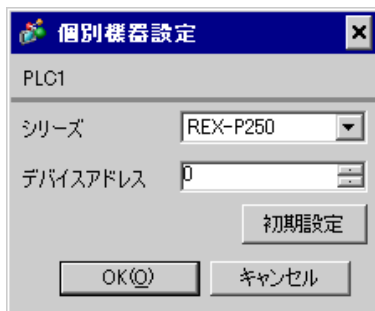
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 接続機器の下部にあるストッパーを指で押し上げながら手前へ引いてケースから引き出します。
2. 接続機器の上部にある内部スイッチ A を ON にし、ケースへ戻します。
3. SET キーを押して設定する項目を表示し、ダウン/アップキーで設定内容を選択します。
ストップビット、データビット、パリティビットは設定項目「bIT」で3桁の文字列として表示されますので、それぞれ SV 表示器の一の位、十の位、百の位をタッチしてからダウン/アップキーで設定内容を選択します。
4. SET キーを押して設定内容を確定します。
5. 接続機器をケースから引き出し、2. の内部スイッチ A を OFF にしてからケースへ戻します。

◆ 設定値

bPS	4800
bIT	072
Add	0

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.33 設定例 33

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=REX-P250,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

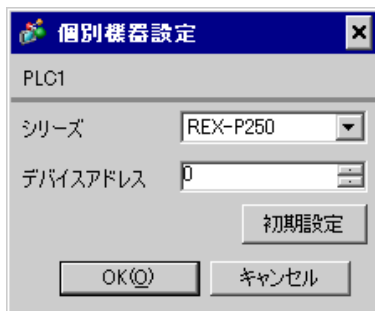
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 接続機器の下部にあるストッパーを指で押し上げながら手前へ引いてケースから引き出します。
2. 接続機器の上部にある内部スイッチ A を ON にし、ケースへ戻します。
3. SET キーを押して設定する項目を表示し、ダウン/アップキーで設定内容を選択します。
ストップビット、データビット、パリティビットは設定項目「bIT」で3桁の文字列として表示されますので、それぞれ SV 表示器の一の位、十の位、百の位をタッチしてからダウン/アップキーで設定内容を選択します。
4. SET キーを押して設定内容を確定します。
5. 接続機器をケースから引き出し、2. の内部スイッチ A を OFF にしてからケースへ戻します。

◆ 設定値

bPS	4800
bIT	072
Add	0

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.34 設定例 34

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	PLC1	シリーズ=REX-AD,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SEL キーを長押し（2 秒間）して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG9」を表示します。
3. SEL キーを押して設定項目を表示します。SEL キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
5. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
6. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
7. モニタ/モードキーと SEL キーを同時に押して PV 表示モードから SETUP 設定モードに移行します。
8. SEL キーを数回押して Add を表示します。
9. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
10. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
11. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	3
bIT	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.35 設定例 35

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=REX-AD,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

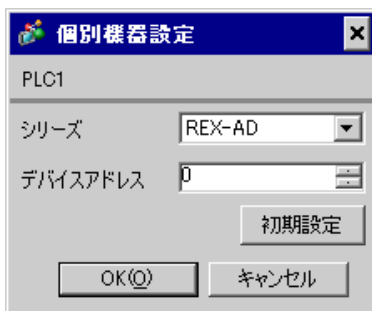
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SEL キーを長押し（2 秒間）して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG9」を表示します。
3. SEL キーを押して設定項目を表示します。SEL キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
5. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
6. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
7. モニタ/モードキーと SEL キーを同時に押して PV 表示モードから SETUP 設定モードに移行します。
8. SEL キーを数回押して Add を表示します。
9. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
10. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
11. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	3
bIT	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.36 設定例 36

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=REX-PG,デバイスアドレス=0"/>	+

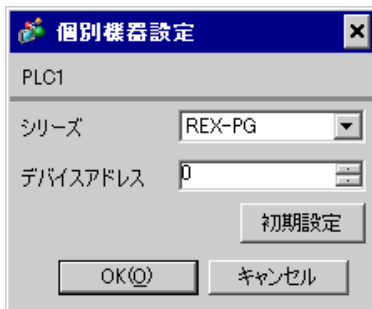
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SEL キーを長押し（2 秒間）して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG6」を表示します。
3. SEL キーを押して設定項目を表示します。SEL キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
5. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
6. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
7. モニタ/モードキーと SEL キーを同時に押して PV 表示モードから SETUP 設定モードに移行します。
8. SEL キーを数回押して Add を表示します。
9. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
10. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
11. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	3
bIT	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.37 設定例 37

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=REX-PG,デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. SEL キーを長押し（2 秒間）して PV 表示モードからエンジニア設定モードに移行します。
パラメータグループが表示されます。
2. ダウン/アップキーを押してパラメータグループ「PG9」を表示します。
3. SEL キーを押して設定項目を表示します。SEL キーを押すごとに設定項目が切り換ります。
4. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
5. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
6. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。
7. モニタ/モードキーと SEL キーを同時に押して PV 表示モードから SETUP 設定モードに移行します。
8. SEL キーを数回押して Add を表示します。
9. ダウン/アップキーを押して設定値を表示します。
10. ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL キーを押します。
11. モニタ/モードキーを押して PV 表示モードに移行します。

◆ 設定値

エンジニア設定モード

bPS	3
bIT	0

SETUP 設定モード

Add	0
-----	---

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.38 設定例 38

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
<input type="button" value="1"/>	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SR-Mini-HG(H-PCP-A/B)デバイスアドレス:"/>	<input type="button" value="+"/>

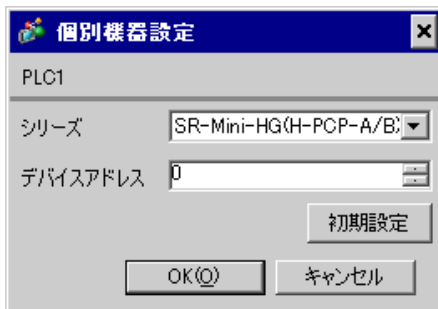
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のスレーブアドレス設定スイッチおよび調節計内部のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のスレーブアドレス設定スイッチで上位リンク用のスレーブアドレスを設定します。
設定した値に 1 を足した数字がスレーブアドレスになります。
2. 調節計をマザーブロックから外し、調節計内部のディップスイッチで通信速度、データ構成を設定します。

◆ 設定値

スレーブアドレス設定スイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
1	ON	データ構成
2	ON	
3	ON	通信速度
4	OFF	

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.39 設定例 39

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SR-Mini-HG(H-PCP-A/B),デバイスアドレス:"/>	+

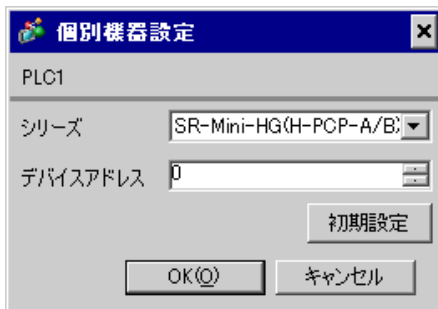
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のスレーブアドレス設定スイッチおよび調節計内部のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のスレーブアドレス設定スイッチで上位リンク用のスレーブアドレスを設定します。
設定した値に 1 を足した数字がスレーブアドレスになります。
2. 調節計をマザーブロックから外し、調節計内部のディップスイッチで通信速度、データ構成を設定します。

◆ 設定値

スレーブアドレス設定スイッチ

上位桁設定	0
下位桁設定	0

ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
1	ON	データ構成
2	ON	
3	ON	通信速度
4	OFF	

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.40 設定例 40

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	PLC1	シリーズ=SRZ(G-TIO);デバイスアドレス=0	+

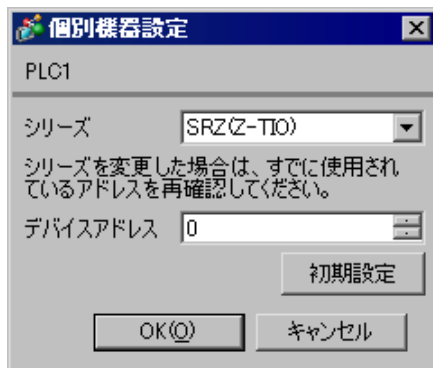
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
1	OFF	通信速度：19200 bps
2	ON	
3	OFF	データビット構成：データ長 8 ビット、 パリティなし、ストップ 1 ビット
4	OFF	
5	ON	
6	OFF	通信プロトコル：RKC 通信
7	OFF	固定
8	OFF	固定

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.41 設定例 41

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SRZ(2-DIO),デバイスアドレス=0"/>	<input type="button" value="+"/>

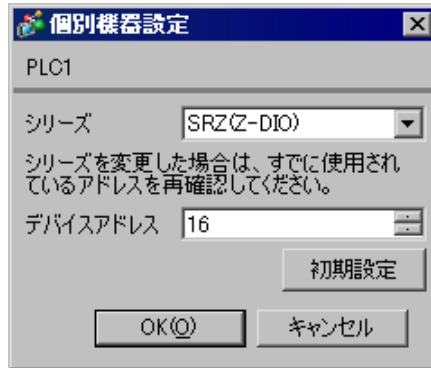
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
設定した値に 16 を足した数字がスレーブアドレスになります。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
1	OFF	通信速度 : 19200 bps
2	ON	
3	OFF	データビット構成 : データ長 8 ビット、 パリティなし、ストップ 1 ビット
4	OFF	
5	ON	
6	OFF	通信プロトコル : RKC 通信
7	OFF	固定
8	OFF	固定

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.42 設定例 42

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SRZ(CT),デバイスアドレス=0"/>	+

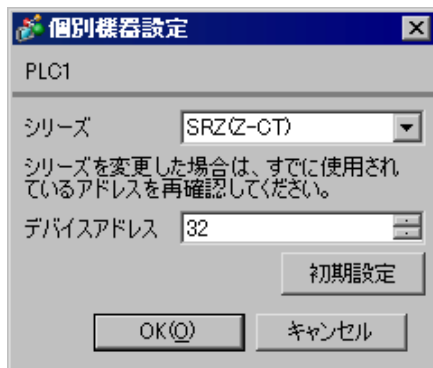
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
設定した値に 32 を足した数字がスレーブアドレスになります。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
1	OFF	通信速度 : 19200 bps
2	ON	
3	OFF	データビット構成 : データ長 8 ビット、 パリティなし、ストップ 1 ビット
4	OFF	
5	ON	
6	OFF	通信プロトコル : RKC 通信
7	OFF	固定
8	OFF	固定

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.43 設定例 43

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	PLC1	シリーズ=SRZ(2-COM),デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

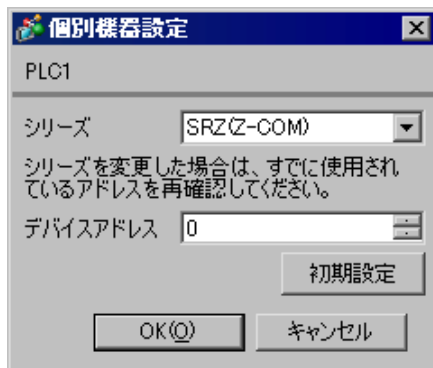
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
1	OFF	通信速度：19200 bps
2	ON	
3	OFF	通信プロトコル：ホスト通信（RKC 通信） データ長 8 ビット、パリティなし、 ストップ 1 ビット

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.44 設定例 44

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SRZ(2-COM),デバイスアドレス=0"/>	+

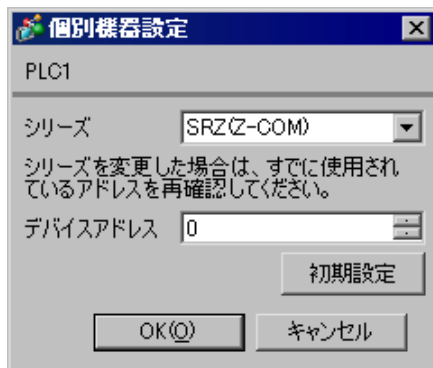
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
1	OFF	通信速度：19200 bps
2	ON	
3	OFF	通信プロトコル：ホスト通信（RKC 通信） データ長 8 ビット、パリティなし、 ストップ 1 ビット

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.45 設定例 45

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	<input type="text" value="PLC1"/>	<input type="text" value="シリーズ=SRZ(2-COM),デバイスアドレス=0"/>	+

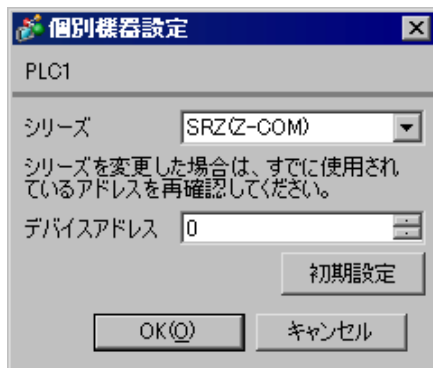
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
4	ON	通信速度：19200 bps
5	OFF	通信プロトコル：ホスト通信（RKC 通信） データ長 8 ビット、パリティなし、 ストップ 1 ビット
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	ディップスイッチ設定：有効

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.46 設定例 46

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー シリーズ ポート

文字列データモード [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/GTS) XON/XOFF

タイムアウト (sec)

リトライ

送信ウェイト (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

機器別設定


接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=SRZ (COM),デバイスアドレス=0	<input type="button" value="+"/>

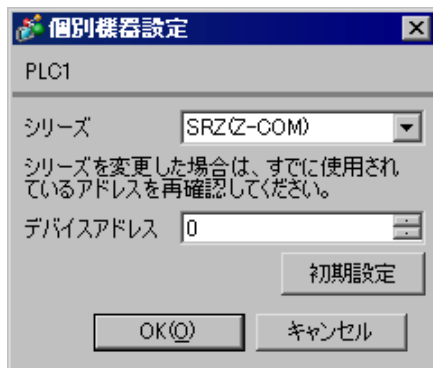
MEMO

- 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面のユニットアドレス設定スイッチおよび調節計側面のディップスイッチで設定します。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

◆ 手順

1. 調節計前面のユニットアドレス設定スイッチでスレーブアドレスを設定します。
2. 調節計側面のディップスイッチで通信速度、データビット構成および通信プロトコルを設定します。
3. 設定完了後、調節計の電源を再投入します。

◆ 設定値

ユニットアドレス設定スイッチ

スレーブアドレス設定	0
------------	---

ディップスイッチ

SW	設定	内容
4	ON	通信速度：19200 bps
5	OFF	通信プロトコル：ホスト通信（RKC 通信） データ長 8 ビット、パリティなし、 ストップ 1 ビット
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	ディップスイッチ設定：有効

MEMO

- 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。

各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

☞ 「3 通信設定例」(11 ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1 ~ 127」で入力します。


設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0～255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間（ms）を「0～255」で入力します。
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要があります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

MEMO

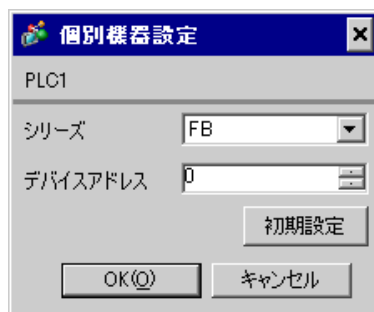
- 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい (間接機器指定)」

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



設定項目	設定内容
シリーズ	接続機器の種類を選択します。
デバイスアドレス	接続機器のデバイスアドレスを「0～99」で入力します。

4.2 オフライン画面での設定項目

MEMO

- オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してください。

参照：保守 / トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

- オフラインモードは使用する表示器によって 1 画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの [周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
温度調節計		[COM1]	Page 1/1	
通信方式	RS232C			
通信速度	9600			
データ長	<input type="radio"/> 7 <input checked="" type="radio"/> 8			
パリティ	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 偶数 <input type="radio"/> 奇数			
ストップビット	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2			
フロー制御	なし			
タイムアウト(s)	3			
リトライ	2			
送信ウェイト(ms)	0			
終了		戻る		2006/03/09 16:58:38

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式] は表示器のシリアルインターフェイスの仕様を確認し、正しく設定してください。シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保証できません。シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1～127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0～255」で入力します。

設定項目	設定内容
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0～255」で入力します。

■ 機器設定

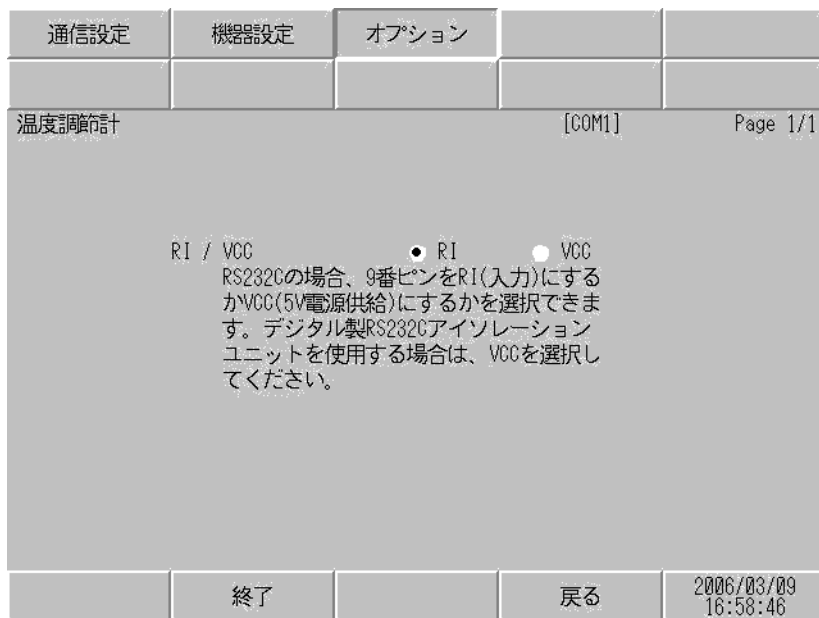
設定画面を表示するには、[周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定] をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
温度調節計		[COM1]	Page 1/1	
接続機器名	PLC1			
シリーズ	CB			
デバイスアドレス	0			
	終了	戻る	2006/03/09 16:58:42	

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ	接続機器の種類を表示します。
デバイスアドレス	接続機器のデバイスアドレスを「0～99」で入力します。

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容
RI/VCC	9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要があります。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。

MEMO

- GP-4100シリーズ、GP-4*0ITM、LT-4*0ITMおよびLT-Rear Moduleの場合、オフラインモードに[オプション]の設定はありません。

5 結線図

以下に示す結線図と理化工業（株）が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。
- RS422/485（2線式）または RS422/485（4線式）で接続する場合、調節計は 16 台まで接続できます。ただし、FB400/900 シリーズを RS422/485（4線式）で接続する場合は 15 台までになります。

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*0ITM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1)	1A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	1B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※3} (COM2)	1C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	1D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{※4}	1E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	1F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	1G	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{※5} (COM2) GP-4203T (COM1)	1H	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP4000※6 (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	II	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1※7 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	1B	自作ケーブル	
LT-4*0ITM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	IJ	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ81	ケーブル長： 200m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

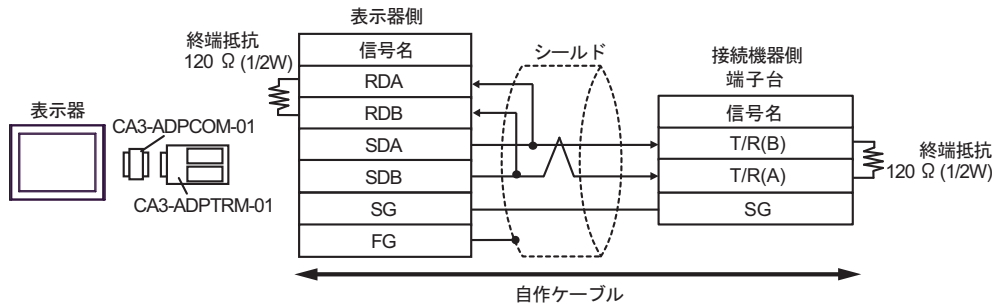
※5 GP-4203T を除く

※6 GP-4100 シリーズ、GP-4*0ITM、GP-420IT および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

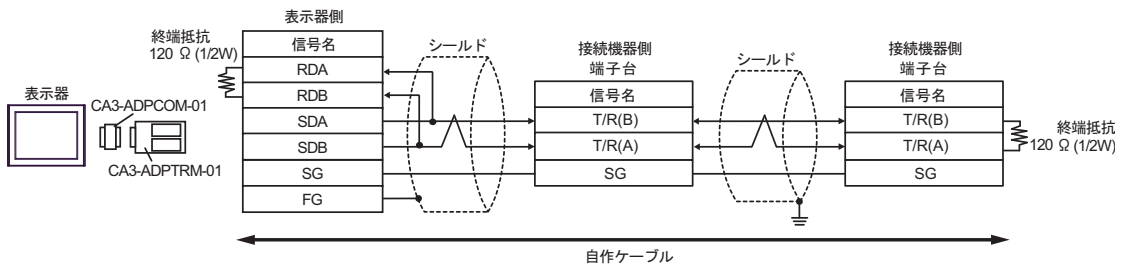
※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、1A の結線図を参照してください。

1A)

- 1 : 1 接続の場合

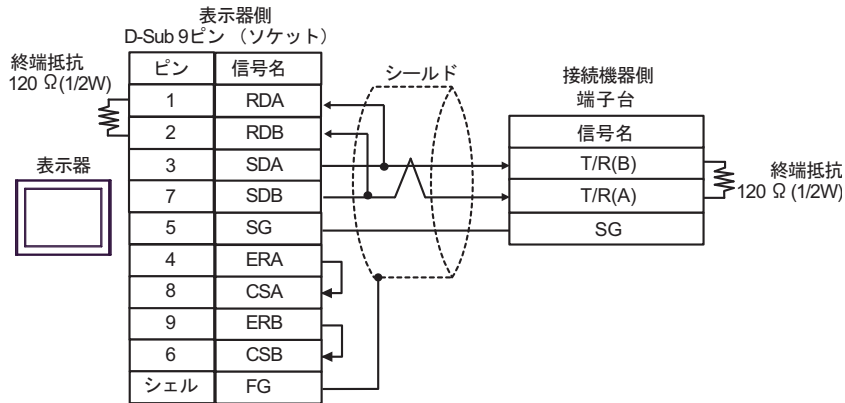


- 1 : n 接続の場合

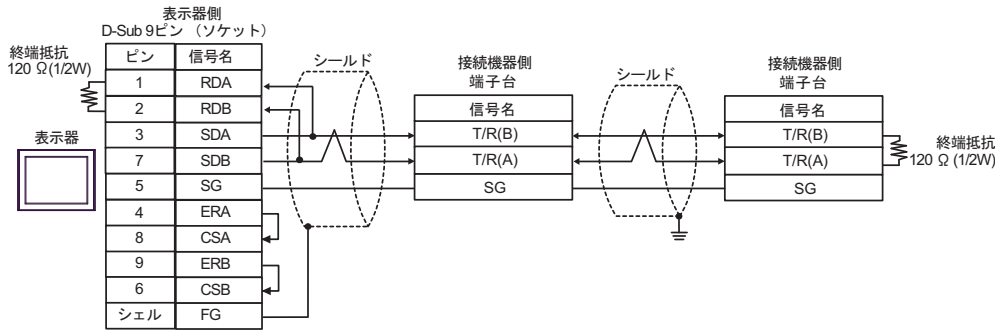


1B)

- 1 : 1 接続の場合

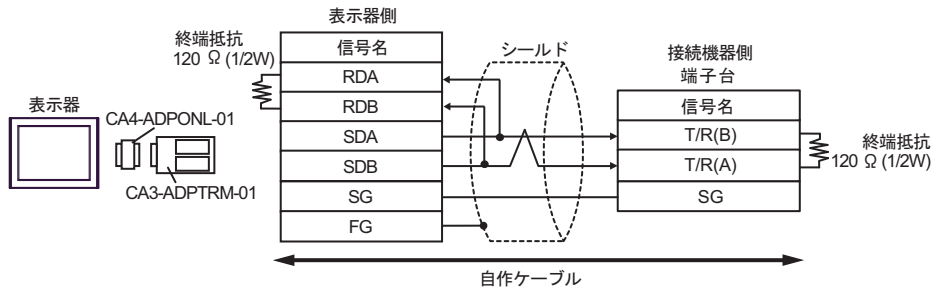


- 1 : n 接続の場合

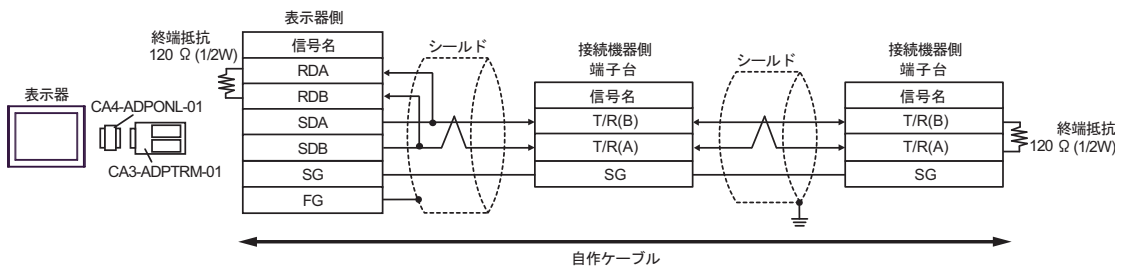


1C)

- 1 : 1 接続の場合

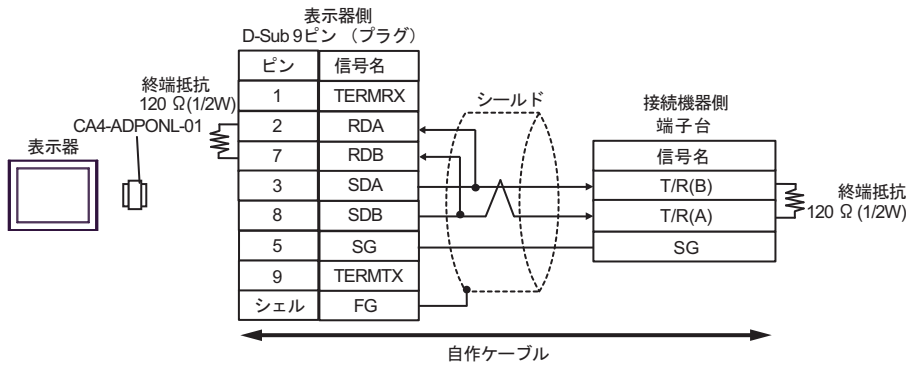


- 1 : n 接続の場合

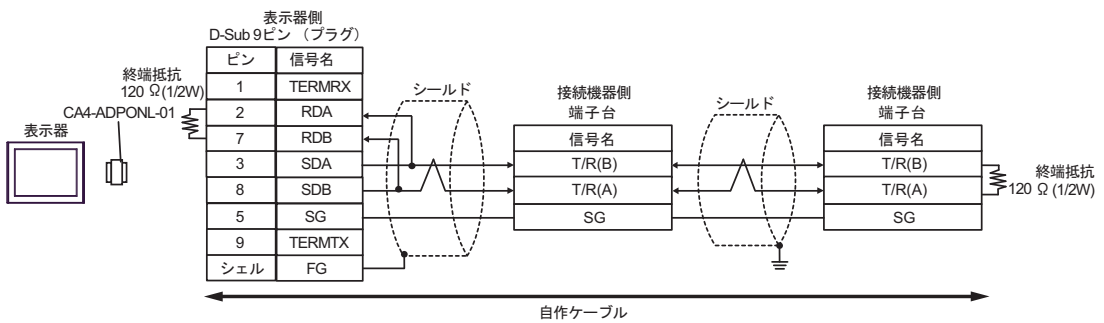


1D)

- 1 : 1 接続の場合

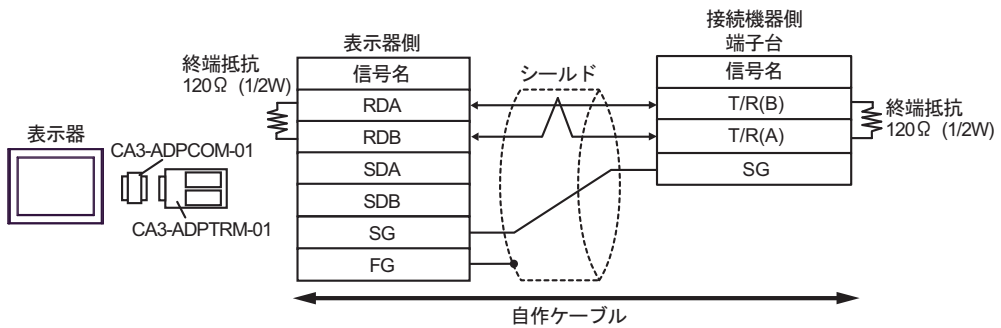


- 1 : n 接続の場合

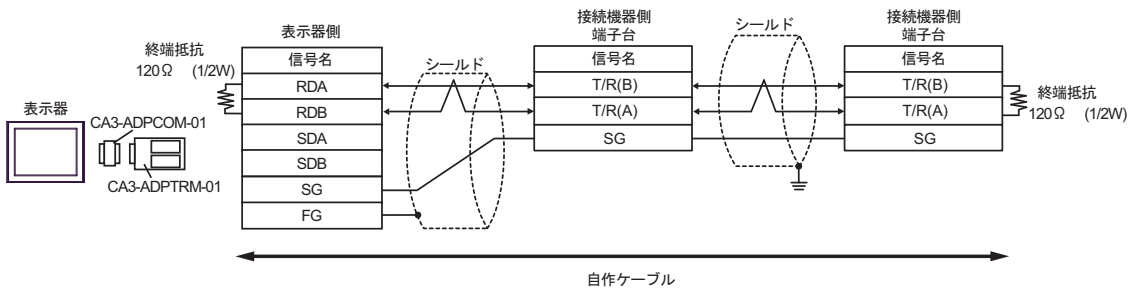


1E)

- 1 : 1 接続の場合

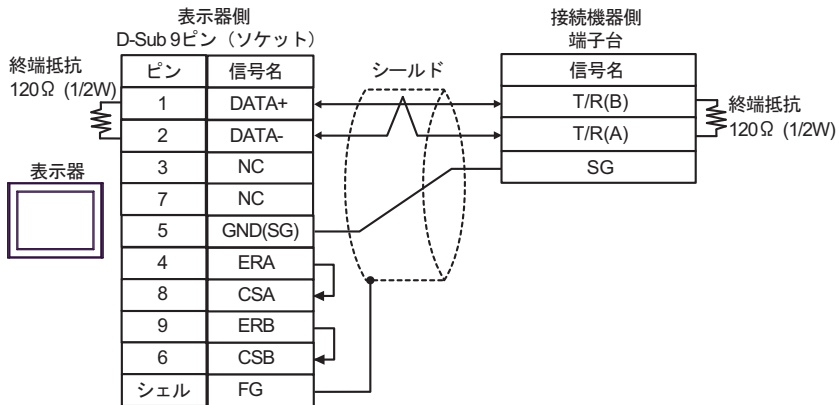


- 1 : n 接続の場合

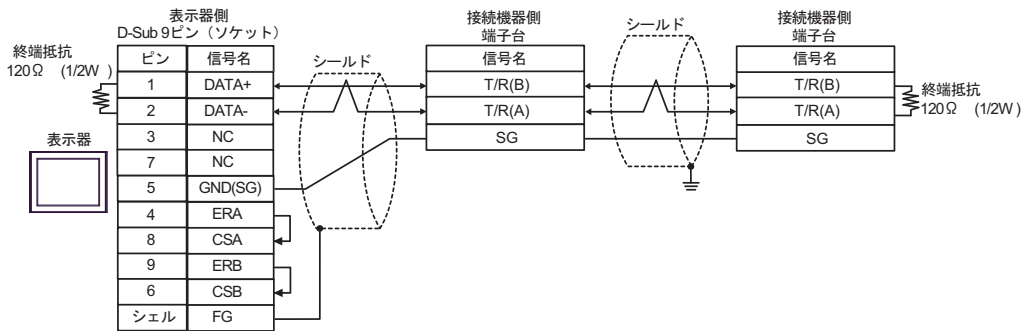


1F)

- 1 : 1 接続の場合

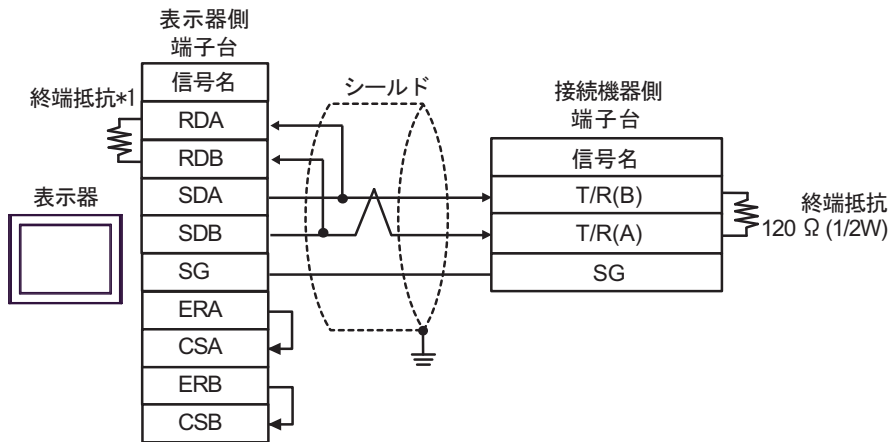


- 1 : n 接続の場合

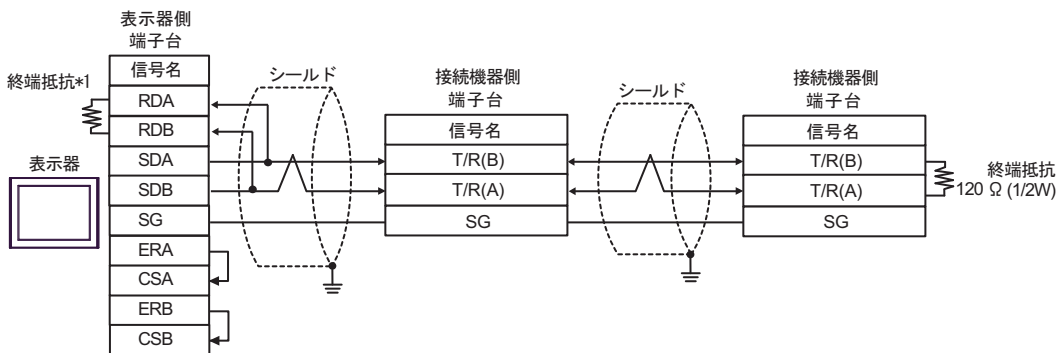


1G)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

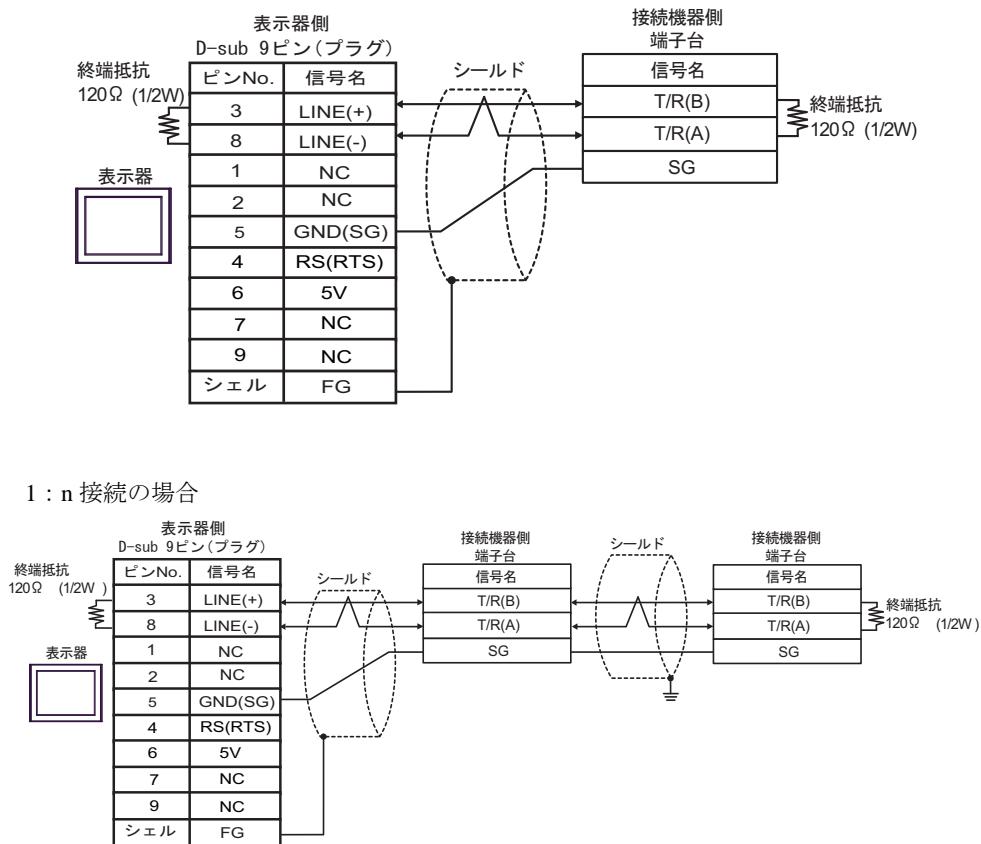


*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

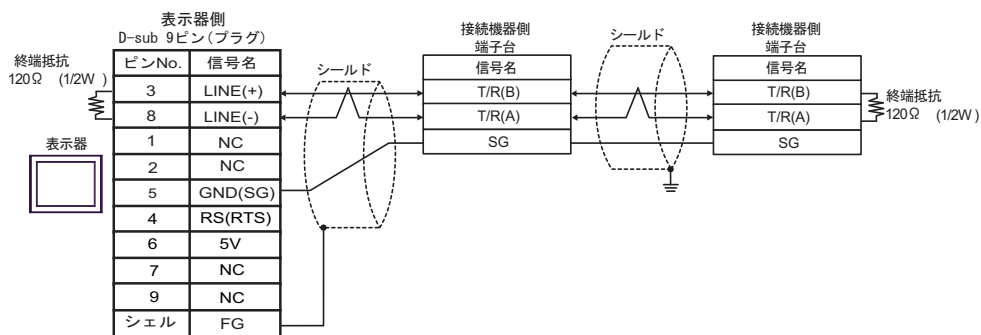
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

1H)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



重要

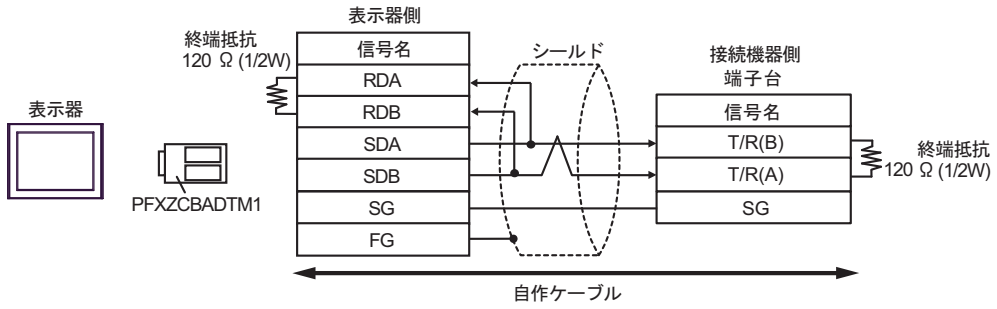
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

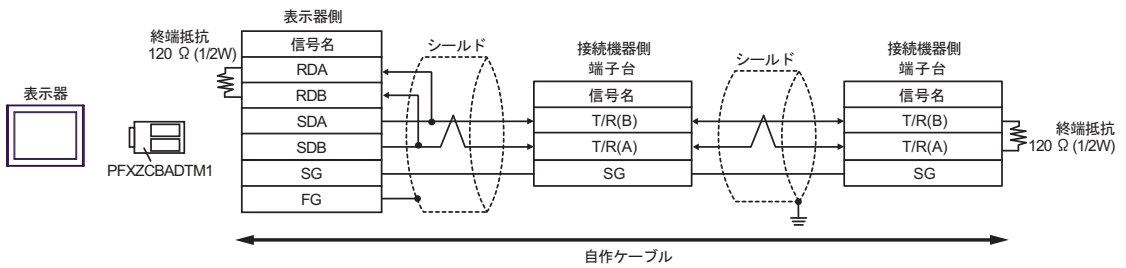
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

I)

- 1 : 1 接続の場合

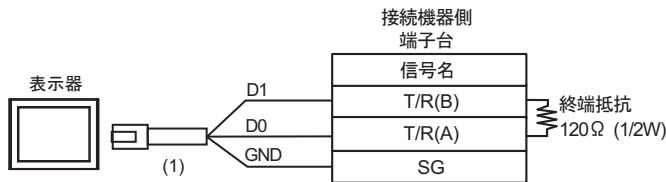


- 1 : n 接続の場合

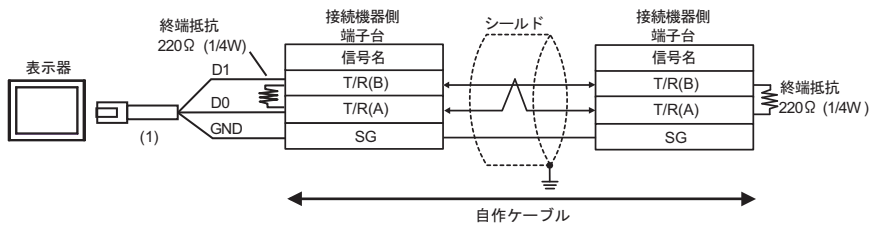


IJ)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	

結線図 2

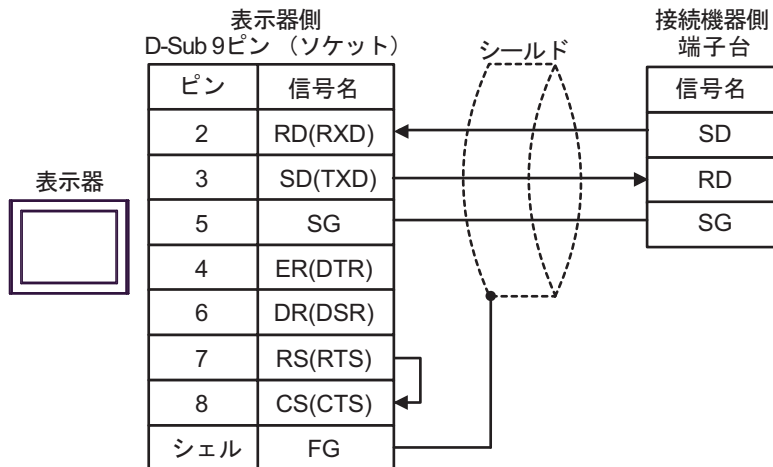
表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000※ ¹ (COM1) SP5000 (COM1/2) ST (COM1) LT3000 (COM1) IPC※ ² PC/AT	2A	自作ケーブル	ケーブル長： 15m 以内
GP-4105 (COM1)	2B	自作ケーブル	ケーブル長： 15m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	2C	(株) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ21	ケーブル長： 5m 以内

※ 1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

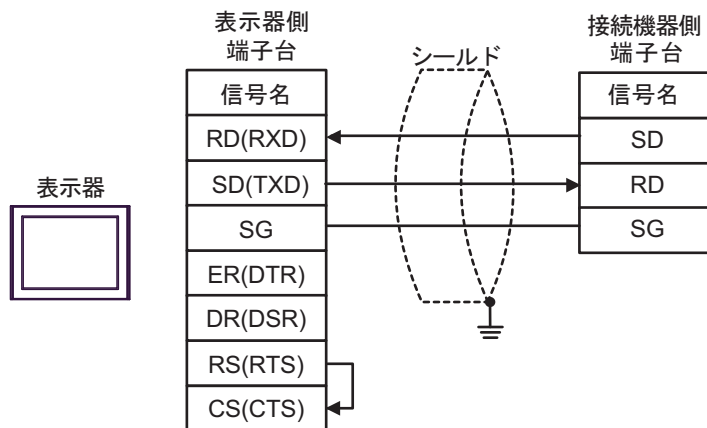
※ 2 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

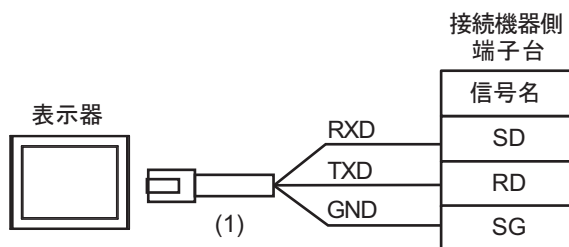
2A)



2B)



2C)



番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBJR21	


結線図 3

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{※3}	3A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	3B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※4} (COM2)	3C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	3D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	3E	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※5} (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	3F	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※6} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	3B	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

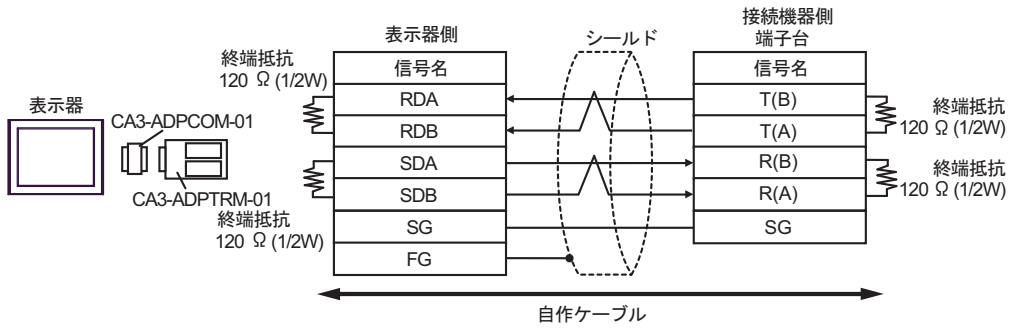
※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-420IT および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

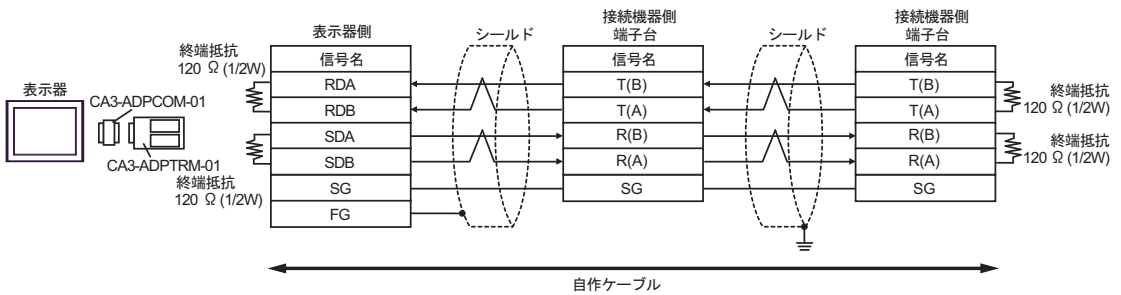
※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、3A の結線図を参照してください。

3A)

- 1 : 1 接続の場合

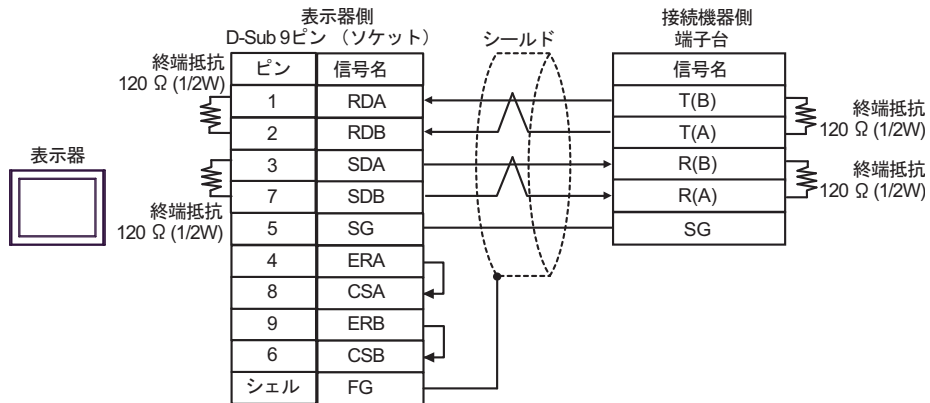


- 1 : n 接続の場合

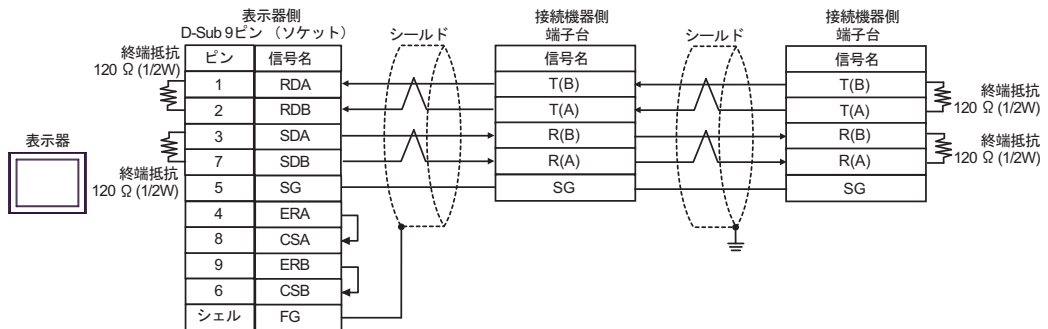


3B)

- 1 : 1 接続の場合

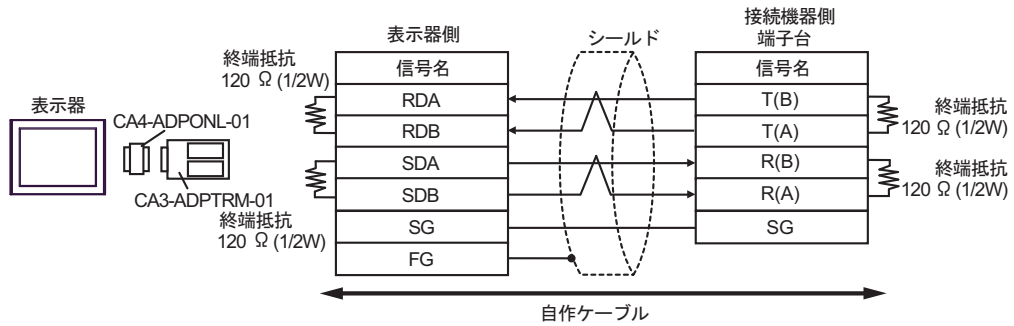


- 1 : n 接続の場合

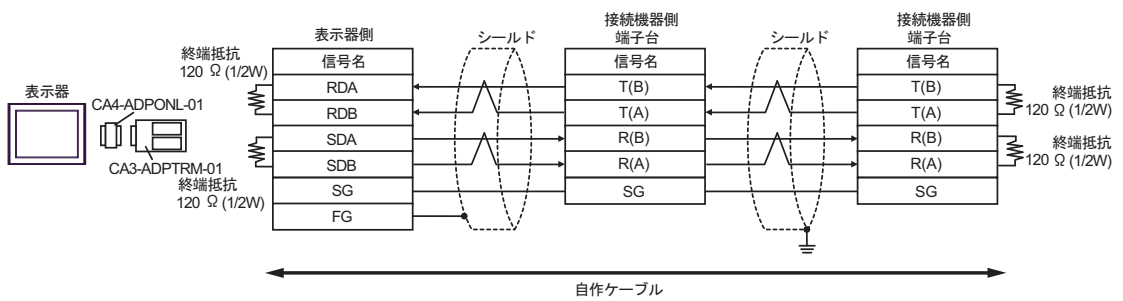


3C)

- 1 : 1 接続の場合

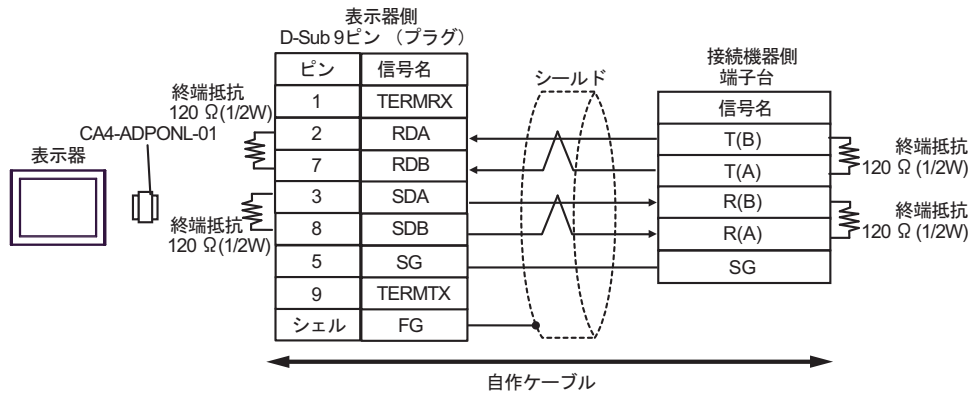


- 1 : n 接続の場合

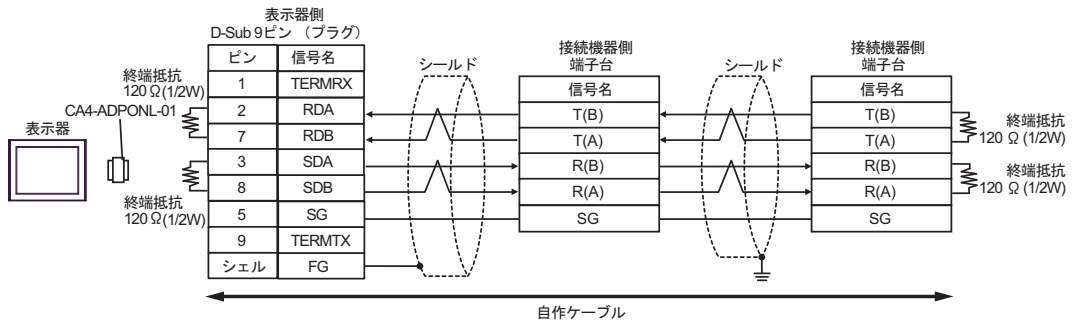


3D)

- 1 : 1 接続の場合

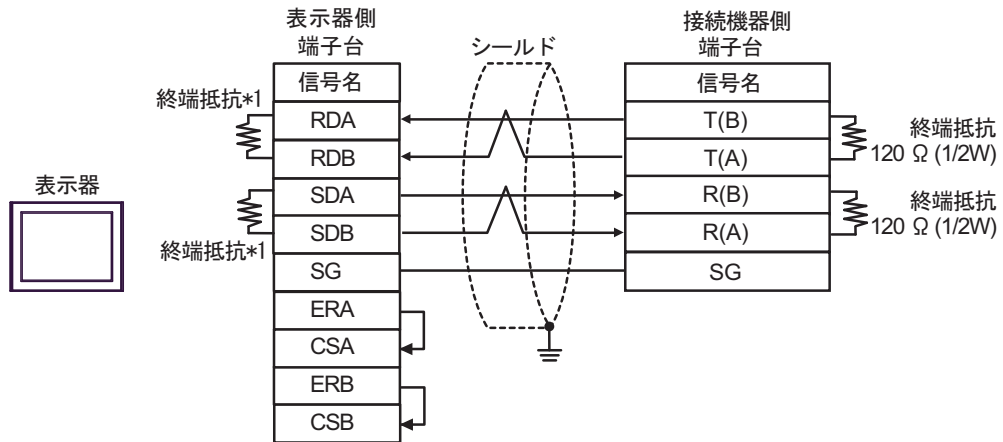


- 1 : n 接続の場合

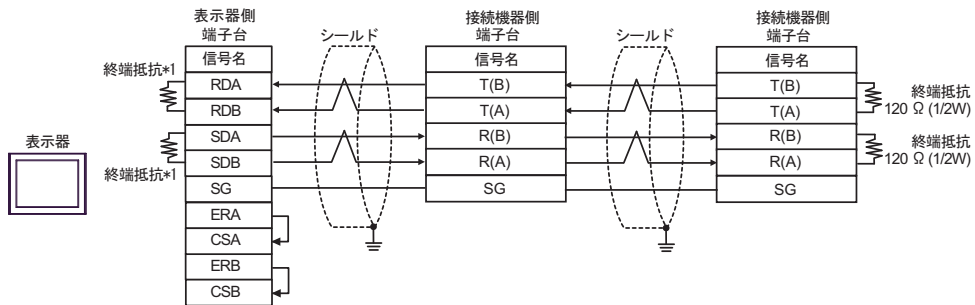


3E)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

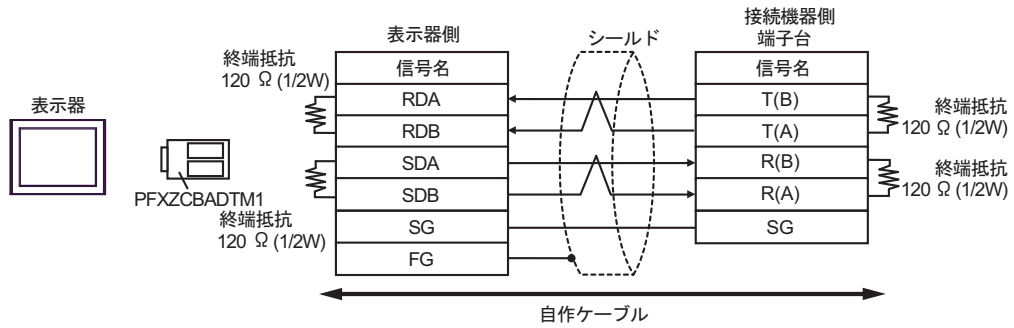


*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

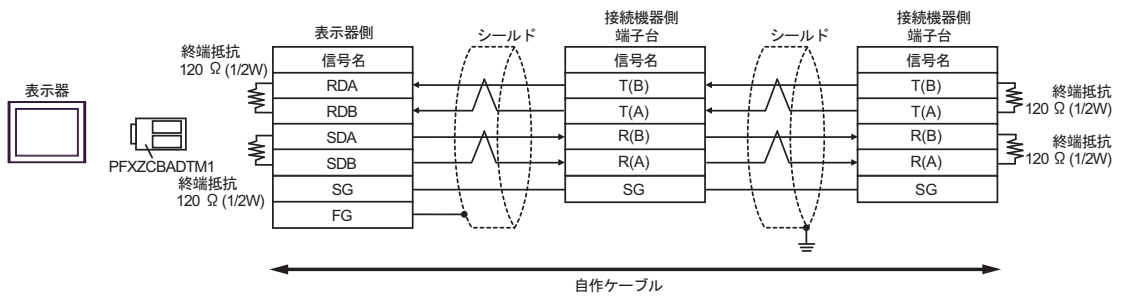
ディップスイッチ	設定内容
1	ON
2	ON
3	ON
4	ON

3F)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合




結線図 4

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{※3}	4A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	4B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※4} (COM2)	4C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	4D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	4E	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※5} (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	4F	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※6} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	4B	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

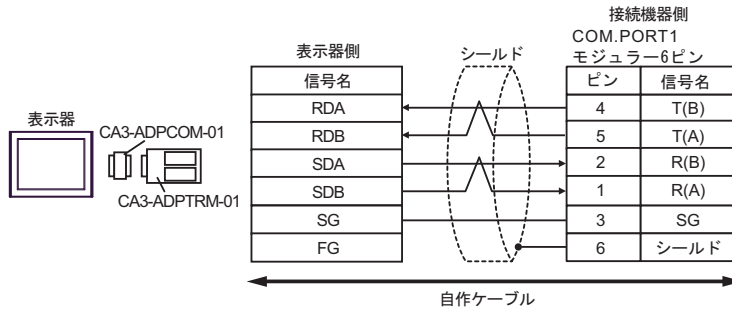
※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-420IT および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

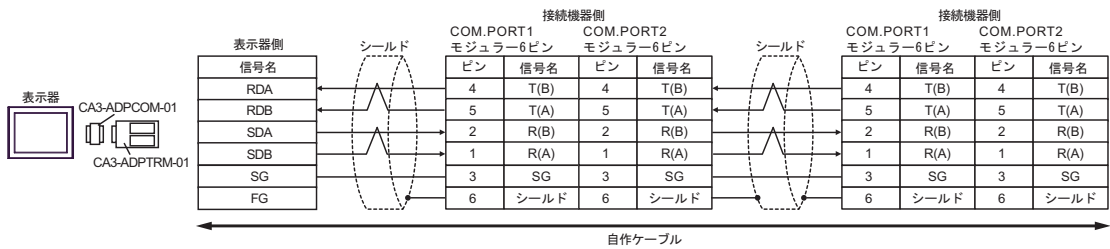
※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、4A の結線図を参照してください。

4A)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

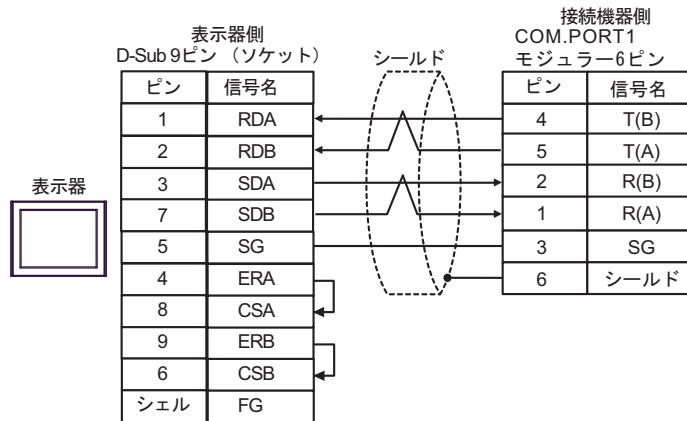


MEMO

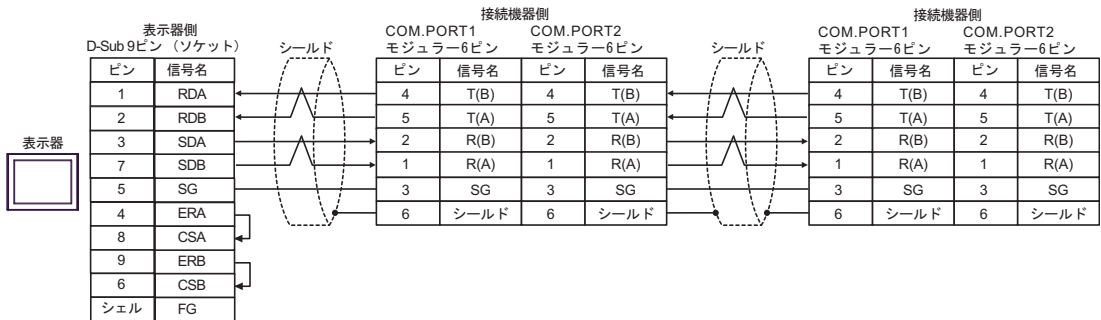
- 終端抵抗は不要です。

4B)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

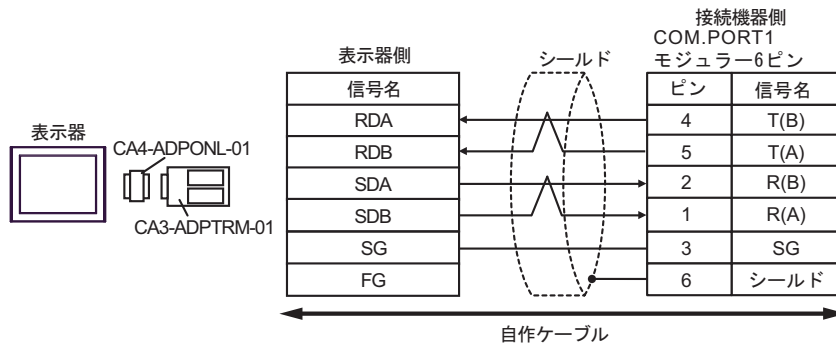


MEMO

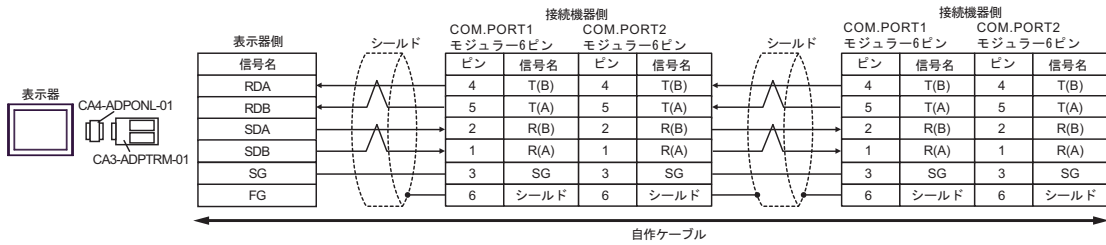
- 終端抵抗は不要です。

4C)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

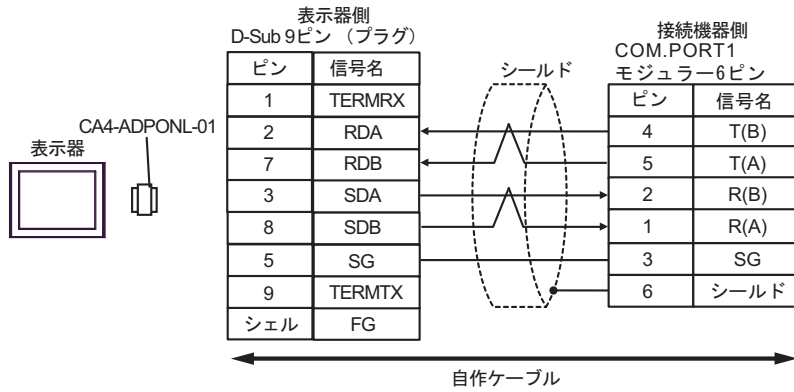


MEMO

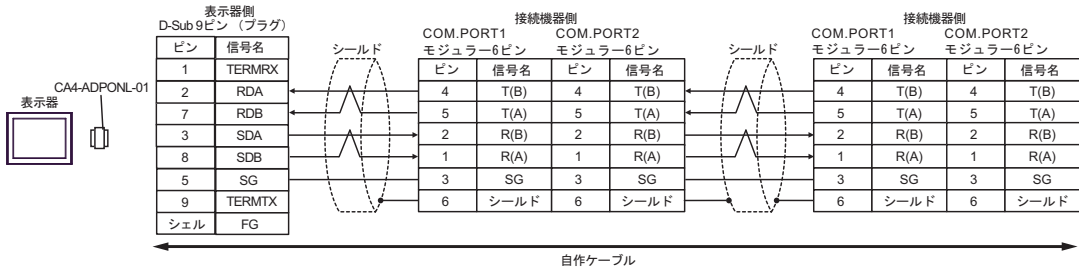
- 終端抵抗は不要です。

4D)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

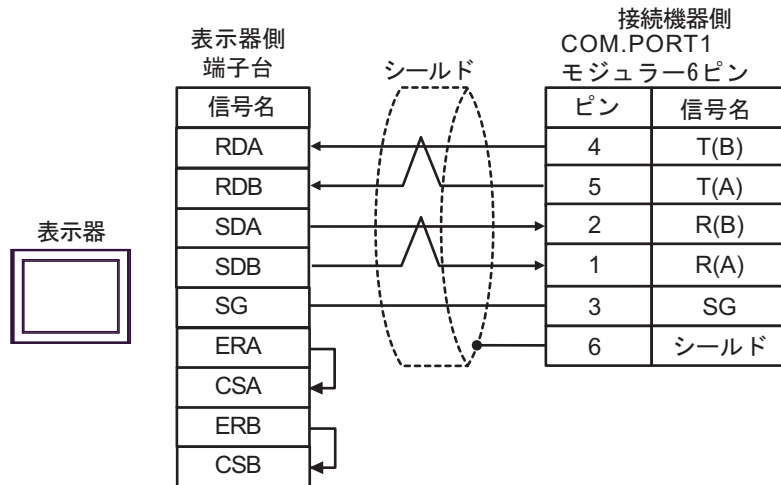


MEMO

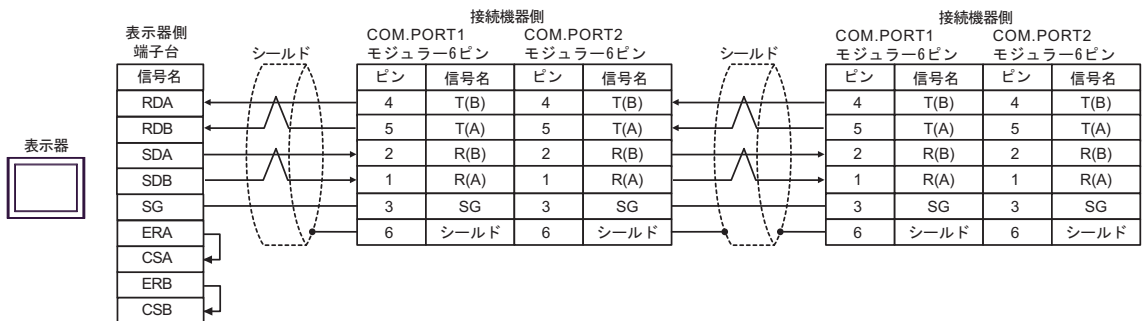
- 終端抵抗は不要です。

4E)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

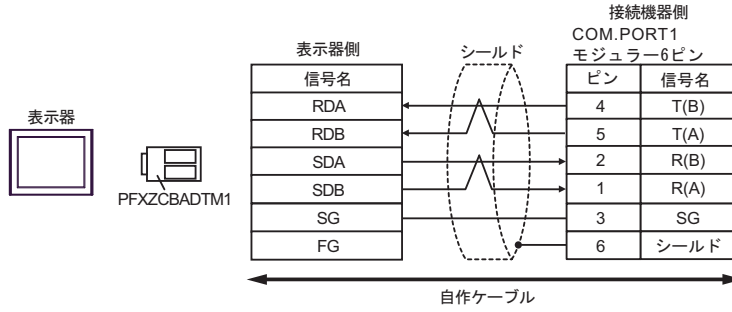


MEMO

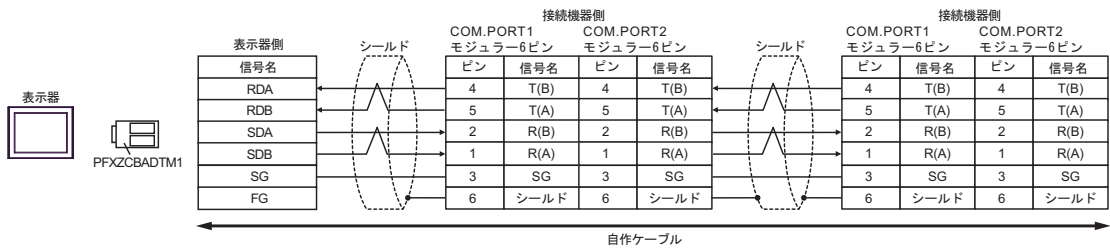
- 終端抵抗は不要です。

4F)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



MEMO

- 終端抵抗は不要です。

結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1)	5A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	5B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※3} (COM2)	5C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	5D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{※4}	5E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	5F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	5G	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{※5} (COM2) GP-4203T (COM1)	5H	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	5I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※7} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	5B	自作ケーブル	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	5J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	ケーブル長： 200m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

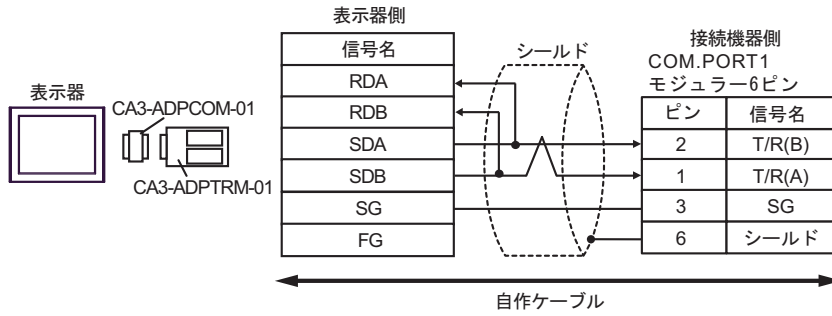
※5 GP-4203T を除く

※6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

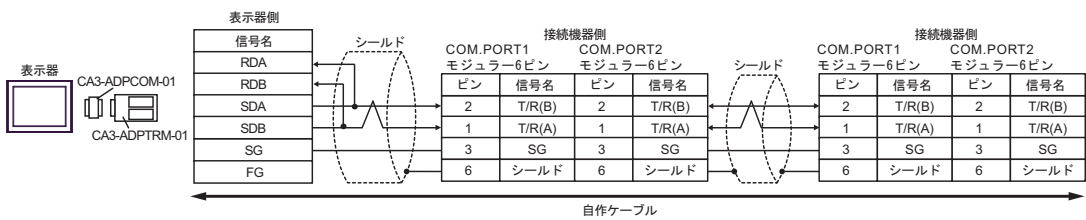
※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、5A の結線図を参照してください。

5A)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

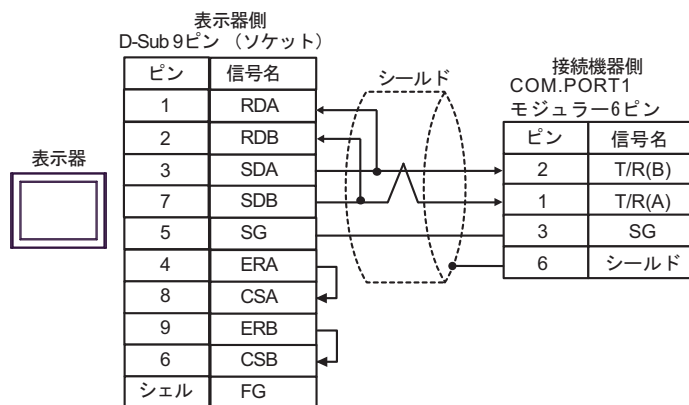


MEMO

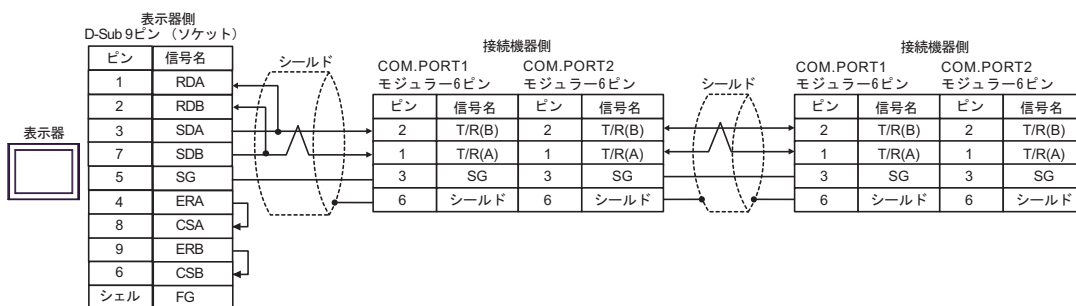
- 終端抵抗は不要です。

5B)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

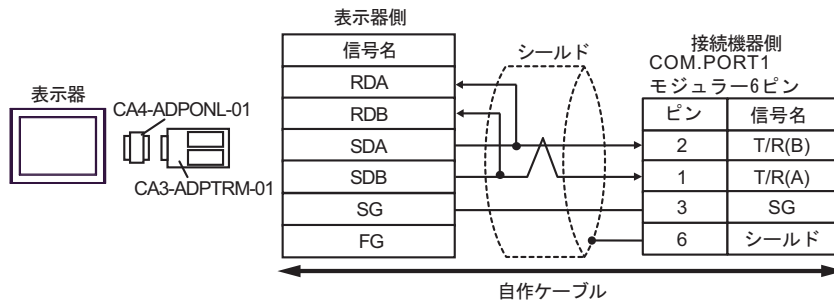


MEMO

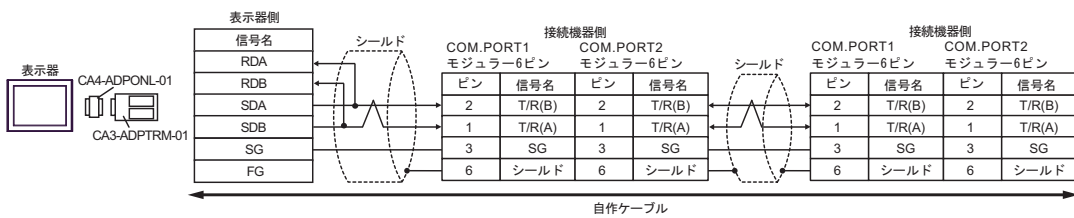
- 終端抵抗は不要です。

5C)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

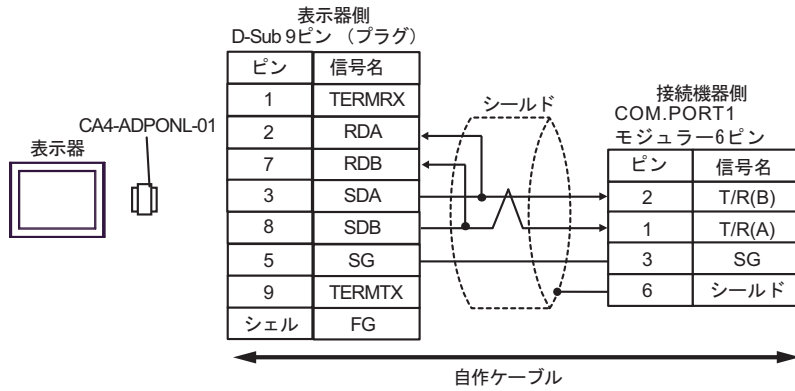


MEMO

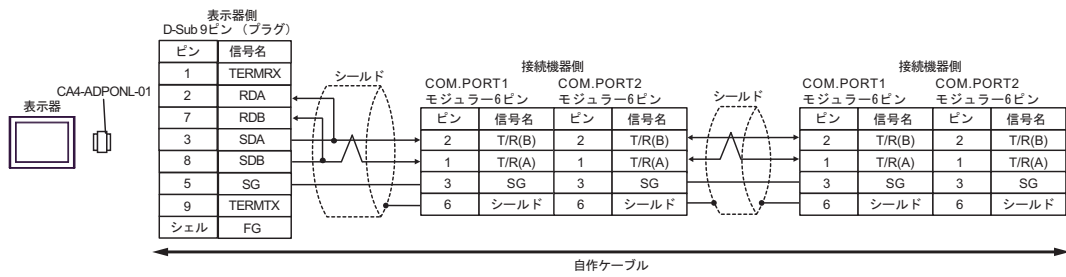
- 終端抵抗は不要です。

5D)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

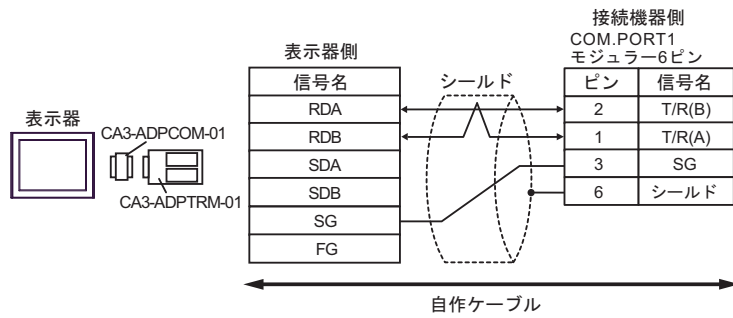


MEMO

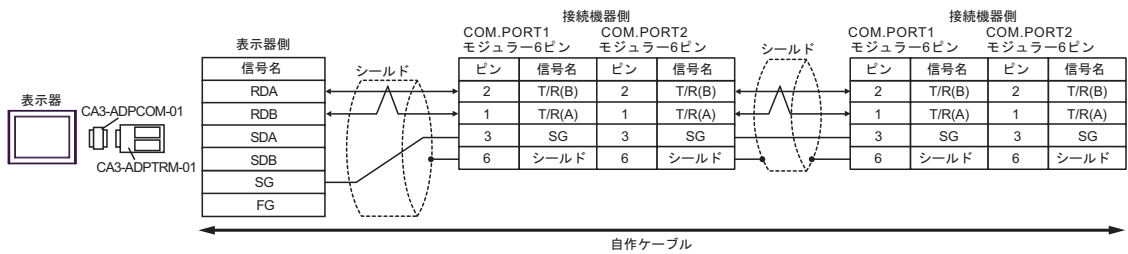
- 終端抵抗は不要です。

5E)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

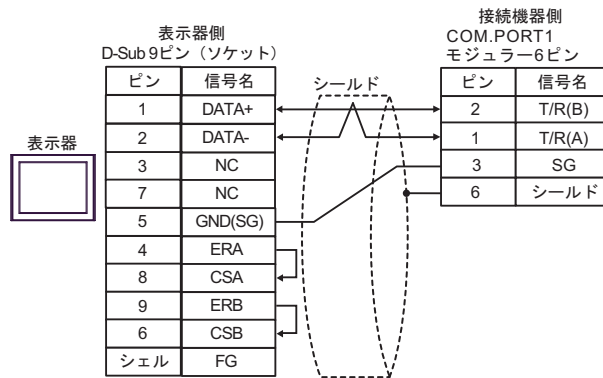


MEMO

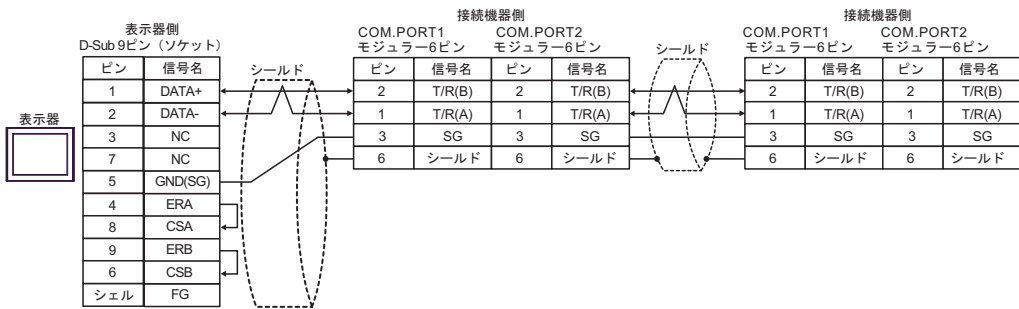
- 終端抵抗は不要です。

5F)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

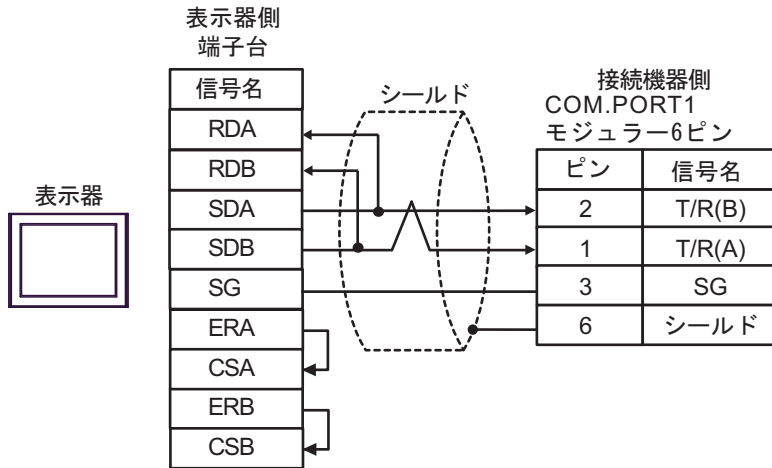


MEMO

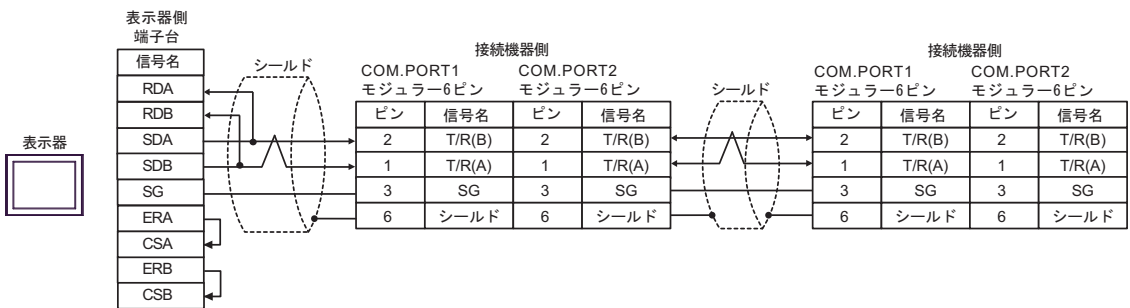
- 終端抵抗は不要です。

5G)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

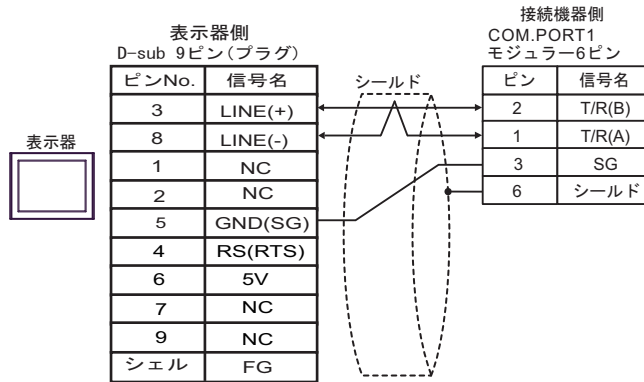


MEMO

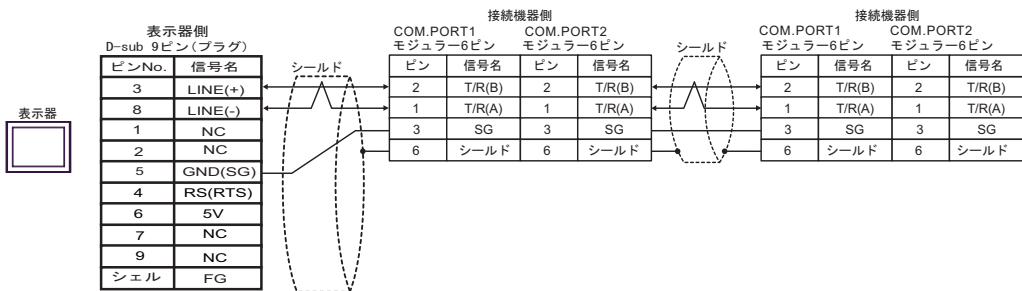
- 終端抵抗は不要です。

5H)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



重要

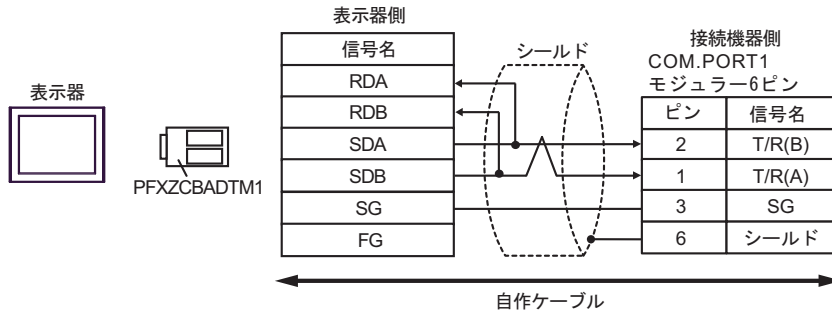
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

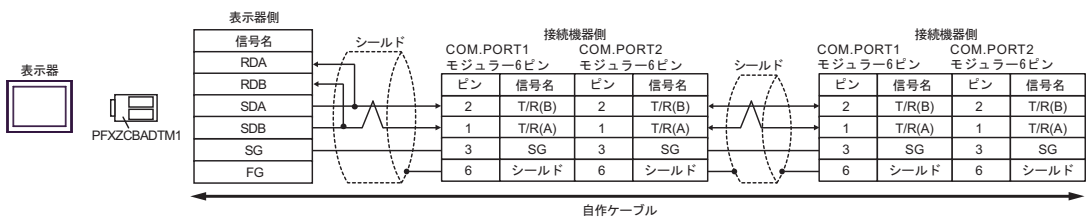
- 終端抵抗は不要です。
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

5I)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

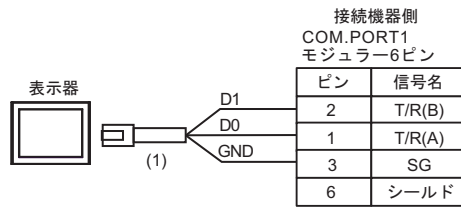


MEMO

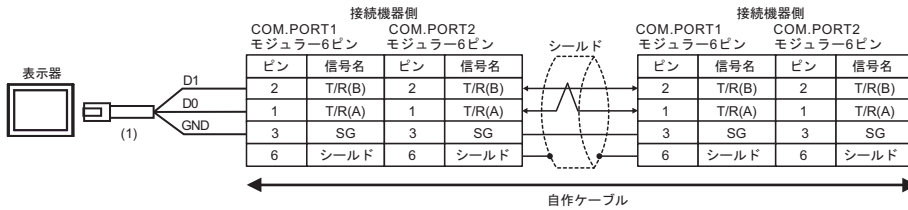
- 終端抵抗は不要です。

5J)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



MEMO

- 終端抵抗は不要です。

番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	

結線図 6

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000※ ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST※ ² (COM2) LT3000 (COM1) IPC※ ³	6A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	6B	自作ケーブル	
GP3000※ ⁴ (COM2)	6C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	6D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	6E	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000※ ⁵ (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	6F	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1※ ⁶ + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	6B	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

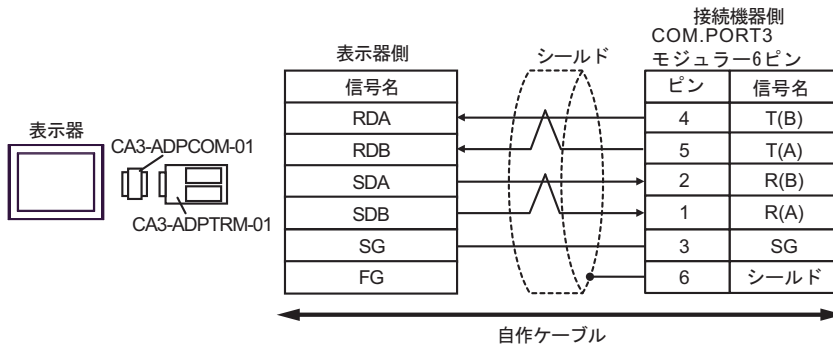
※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

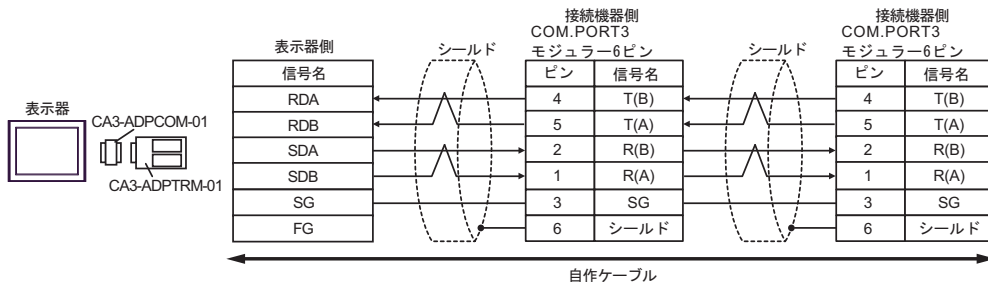
※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、6A の結線図を参照してください。

6A)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

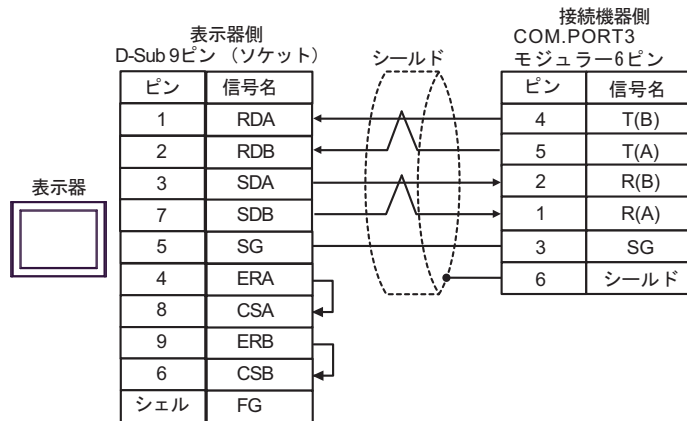


MEMO

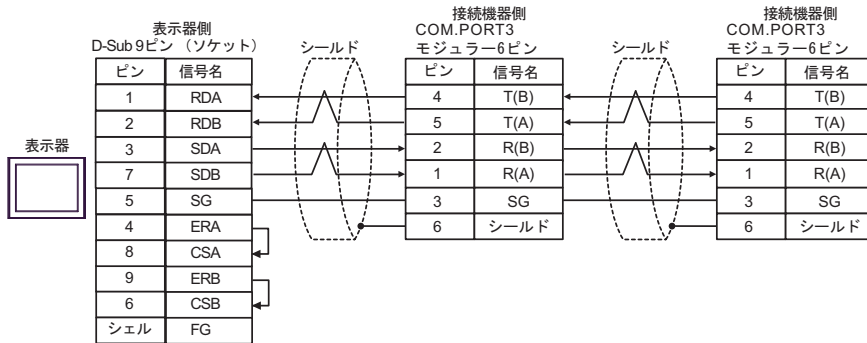
- 終端抵抗は不要です。

6B)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

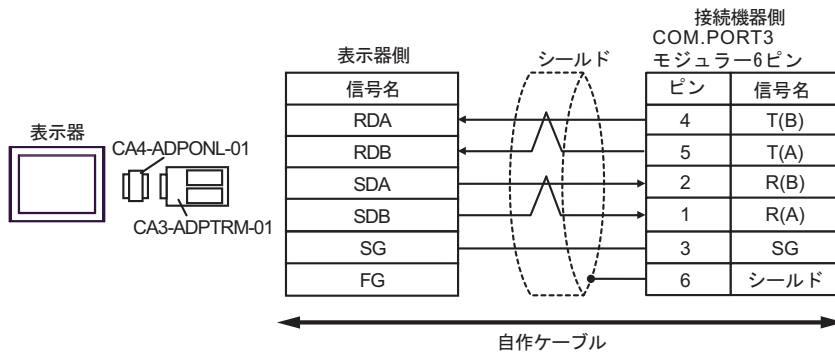


MEMO

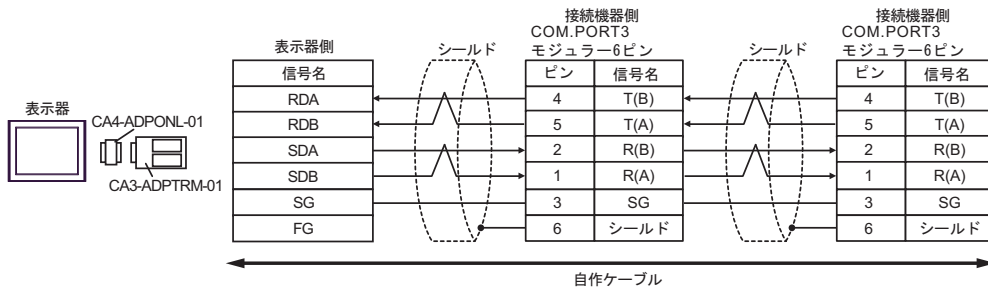
- 終端抵抗は不要です。

6C)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

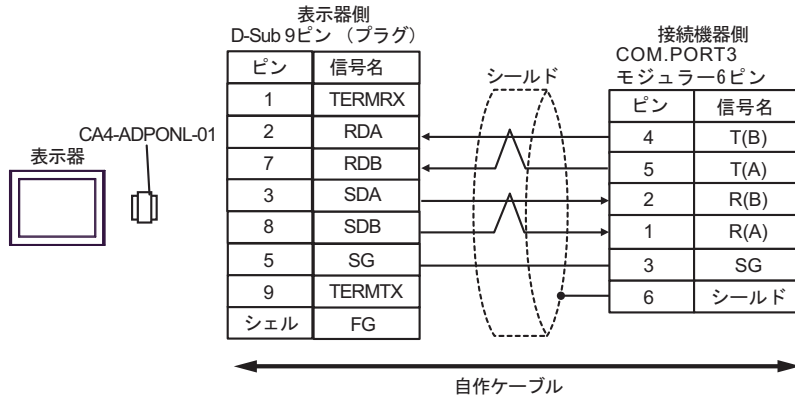


MEMO

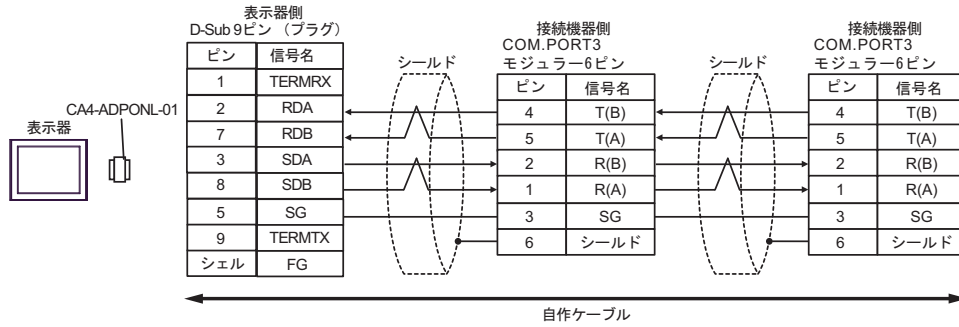
- 終端抵抗は不要です。

6D)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

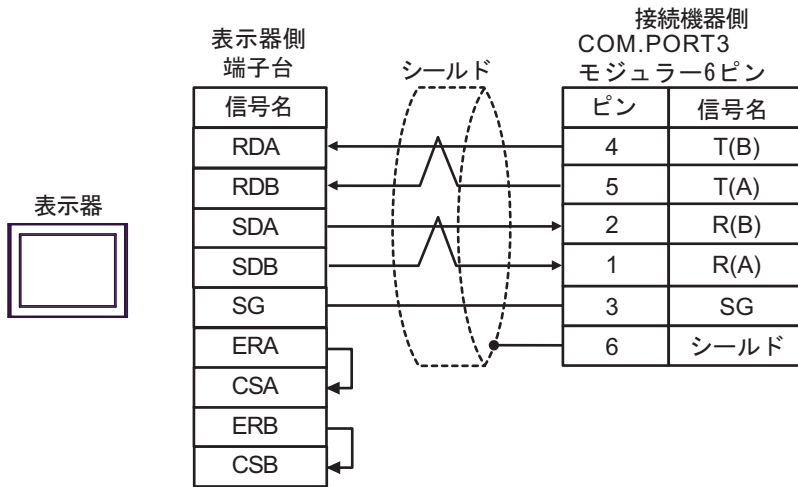


MEMO

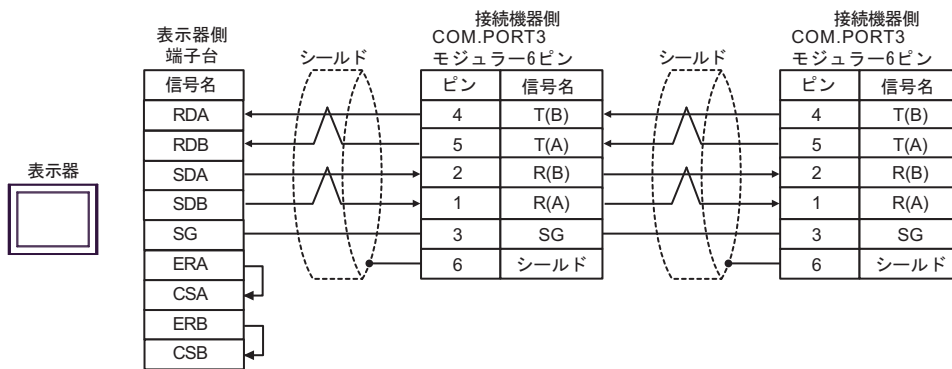
- 終端抵抗は不要です。

6E)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

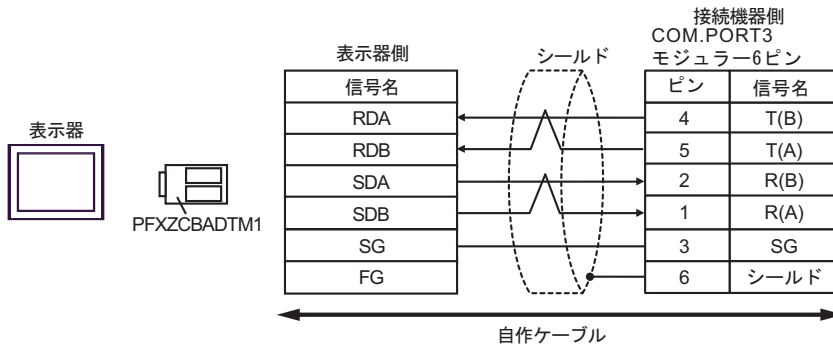


MEMO

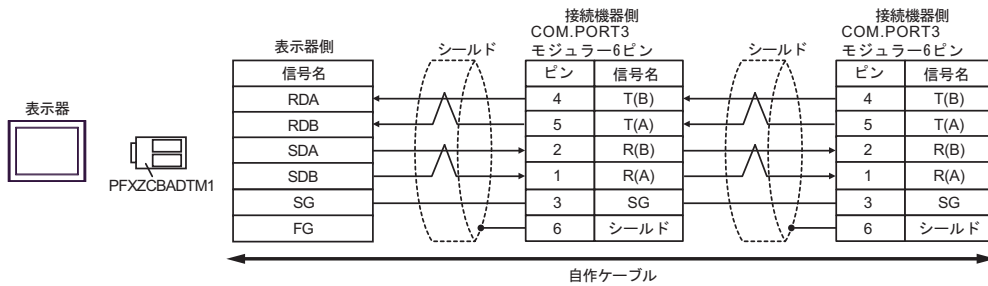
- 終端抵抗は不要です。

6F)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



MEMO

- 終端抵抗は不要です。

結線図 7

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*0ITM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1)	7A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	7B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※3} (COM2)	7C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	7D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{※4}	7E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	7F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	7G	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{※5} (COM2) GP-4203T (COM1)	7H	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※6} (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	7I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※7} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	7B	自作ケーブル	
LT-4*0ITM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	7J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	ケーブル長： 200m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

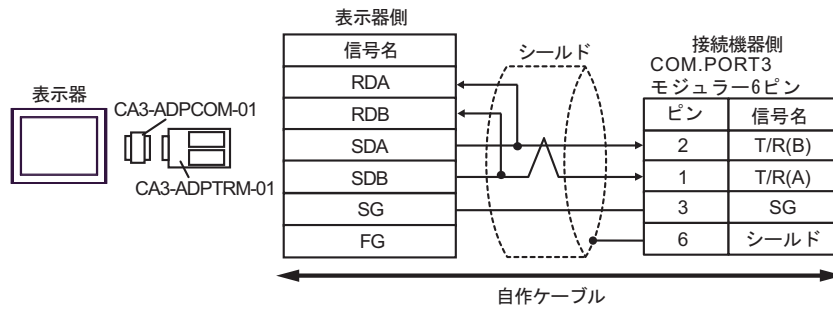
※5 GP-4203T を除く

※6 GP-4100 シリーズ、GP-4*0ITM、GP-420IT および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

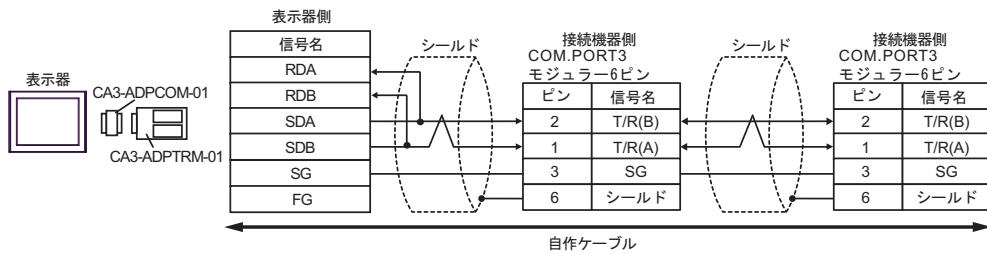
※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、7A の結線図を参照してください。

7A)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

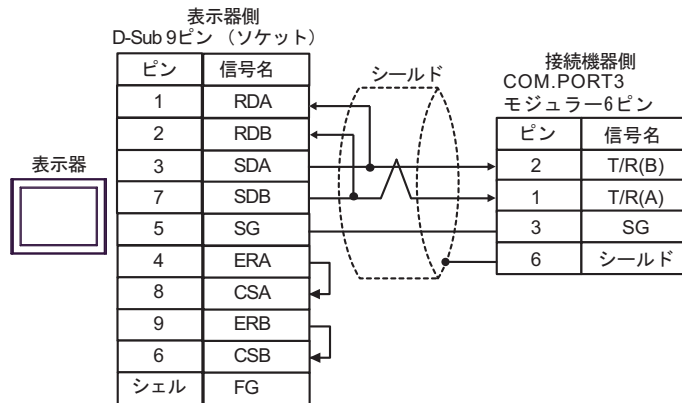


MEMO

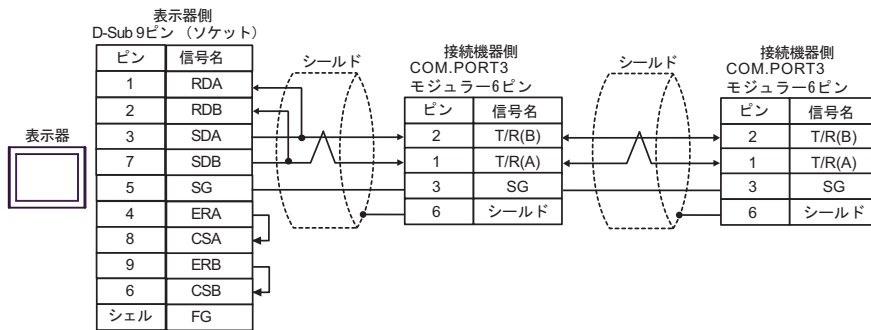
- 終端抵抗は不要です。

7B)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

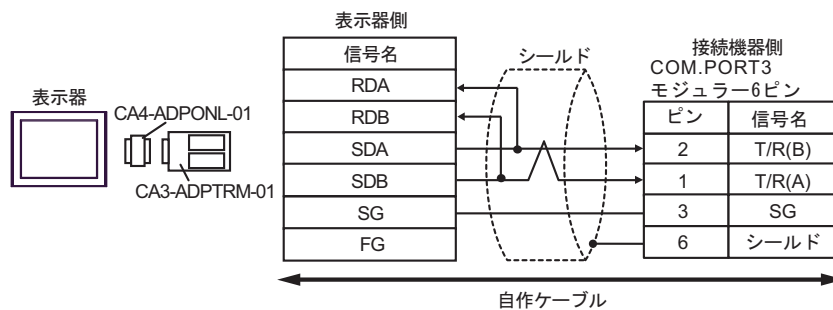


MEMO

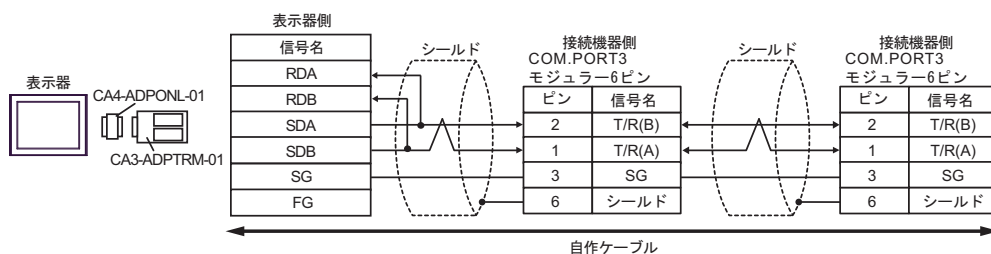
- 終端抵抗は不要です。

7C)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

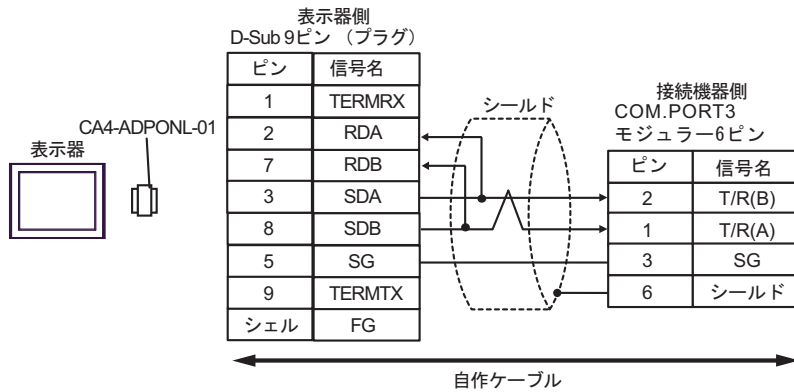


MEMO

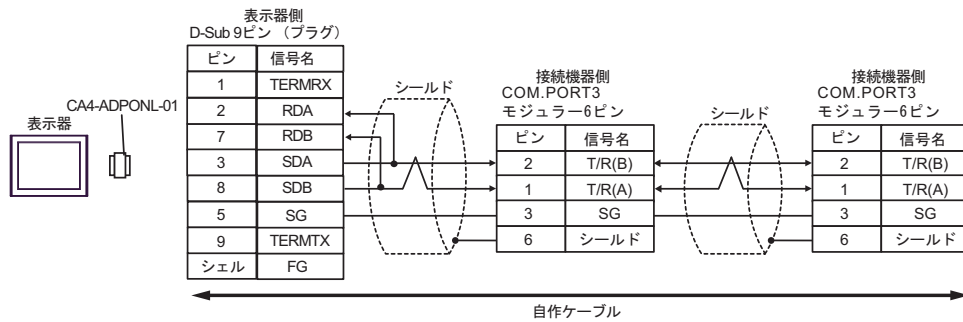
- 終端抵抗は不要です。

7D)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

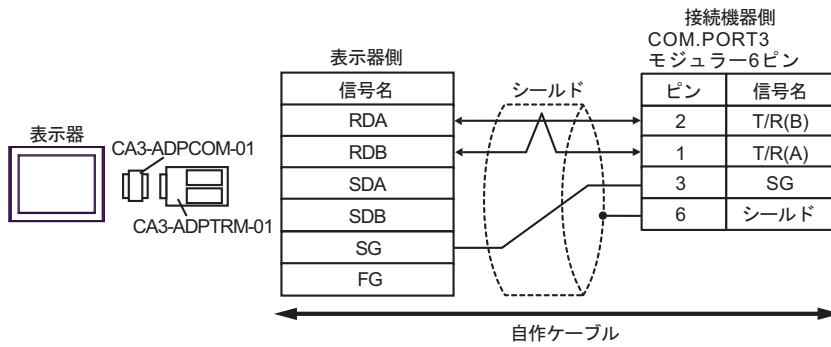


MEMO

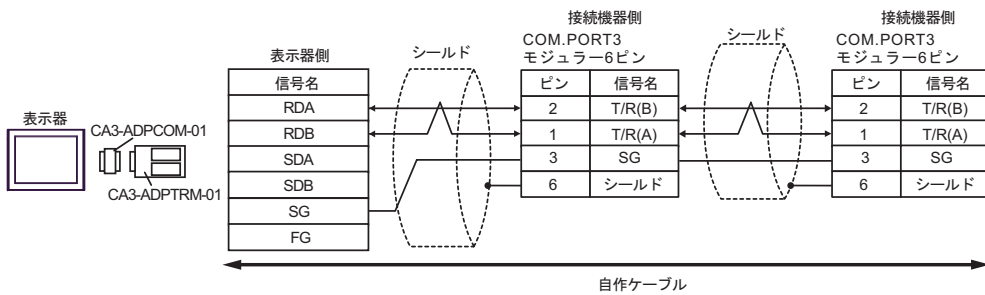
- 終端抵抗は不要です。

7E)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

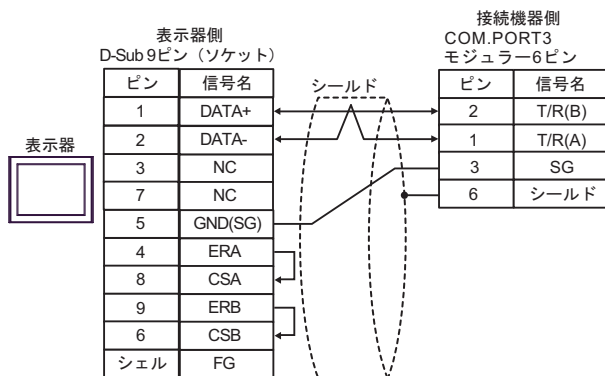


MEMO

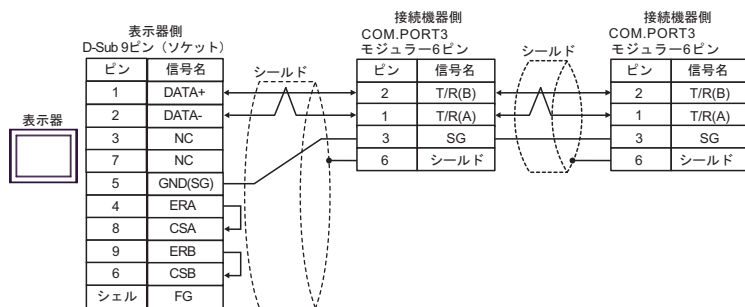
- 終端抵抗は不要です。

7F)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

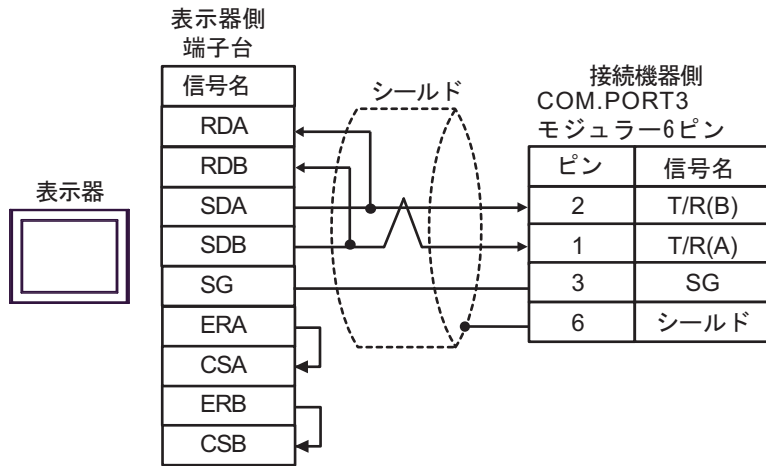


MEMO

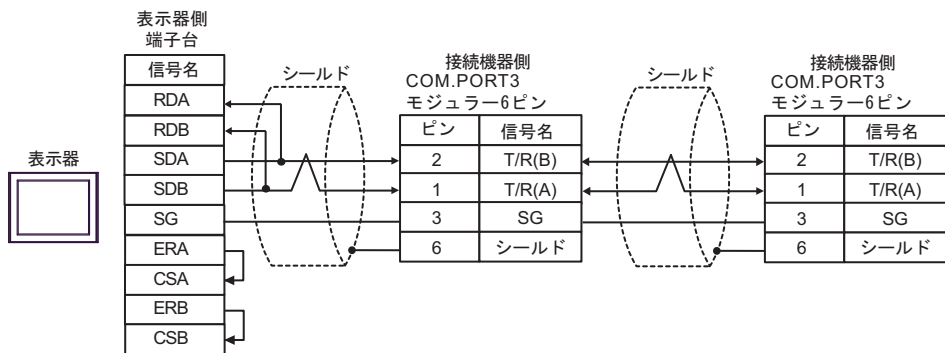
- 終端抵抗は不要です。

7G)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

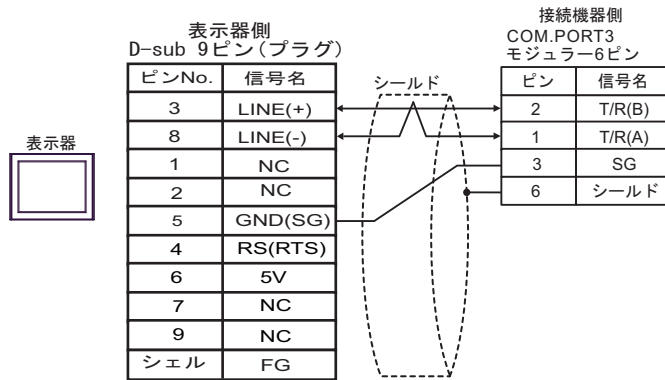


MEMO

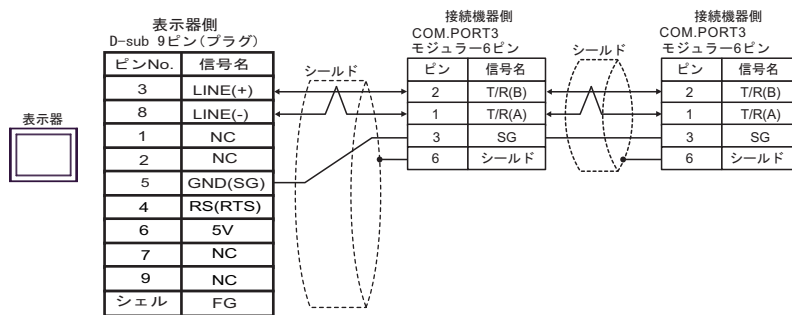
- 終端抵抗は不要です。

7H)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合



重要

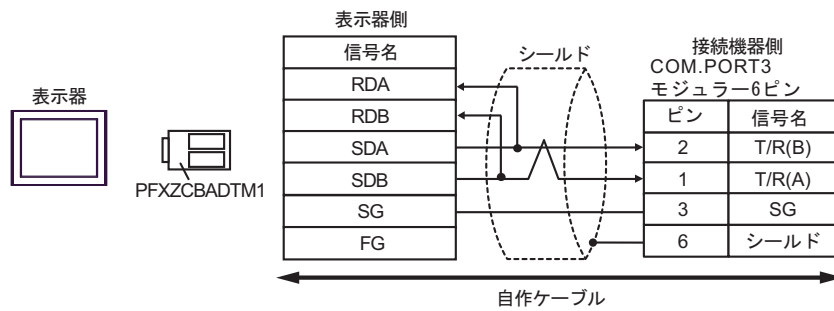
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

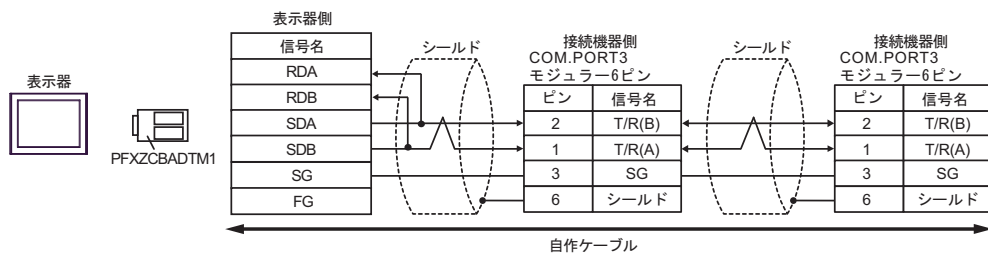
- 終端抵抗は不要です。
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

7I)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

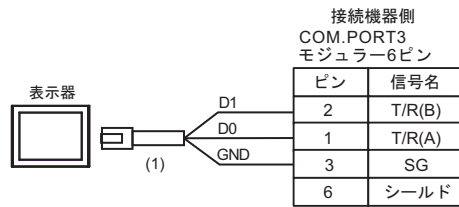


MEMO

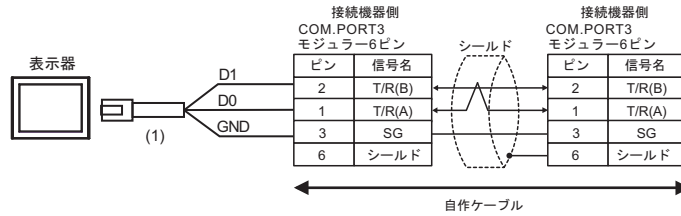
- 終端抵抗は不要です。

7J)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



MEMO

- 終端抵抗は不要です。

番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	

結線図 8

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{※3}	8A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	8B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※4} (COM2)	8C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	8D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	8E	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	8I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※6} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	8B	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

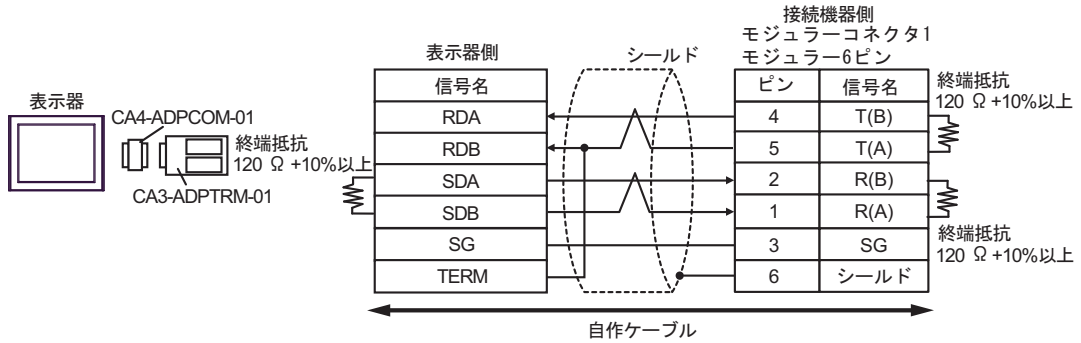
※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

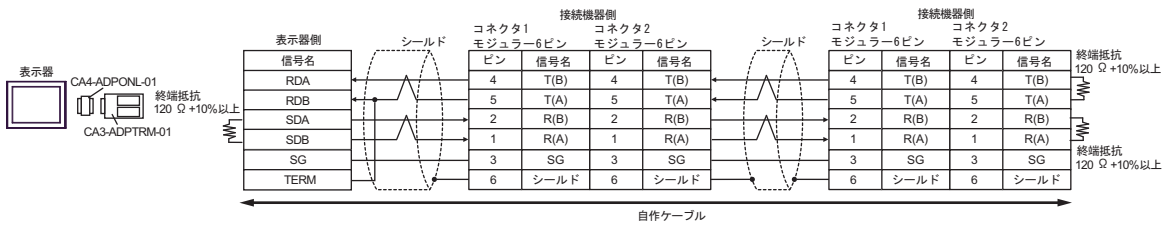
※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、8A の結線図を参照してください。

8A)

- 1 : 1 接続の場合

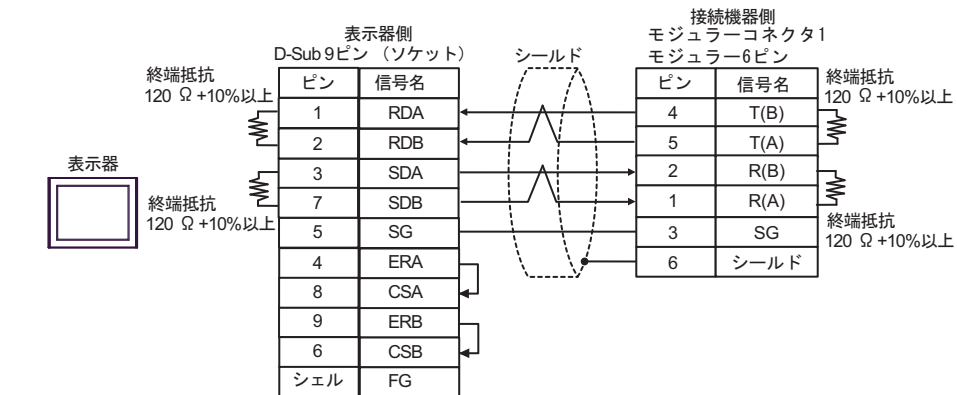


- 1 : n 接続の場合

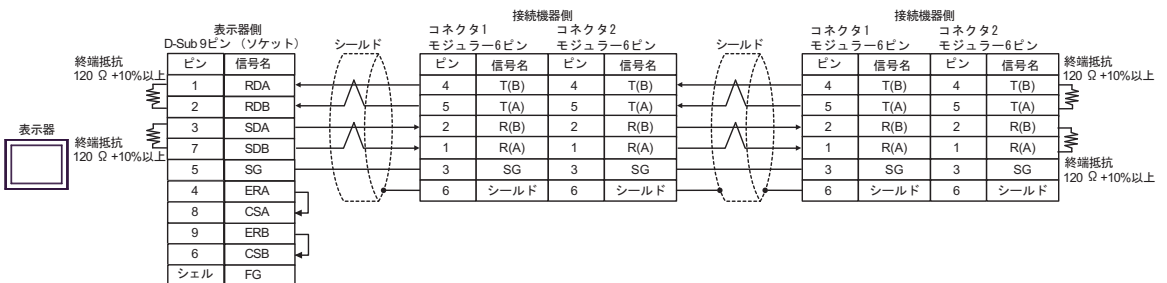


8B)

- 1 : 1 接続の場合

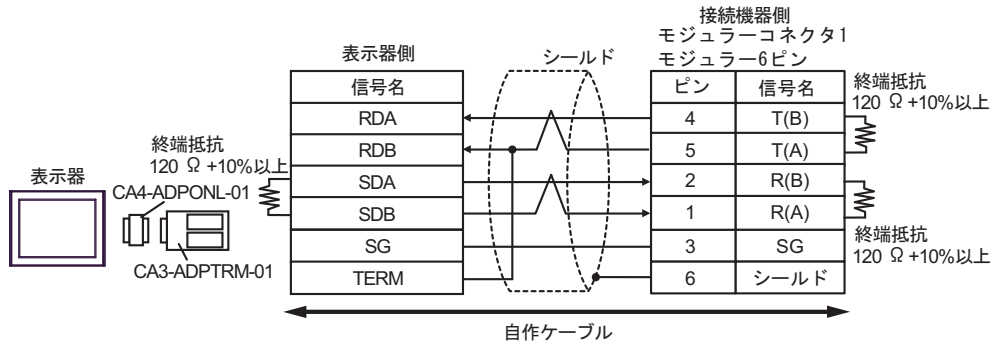


- 1 : n 接続の場合

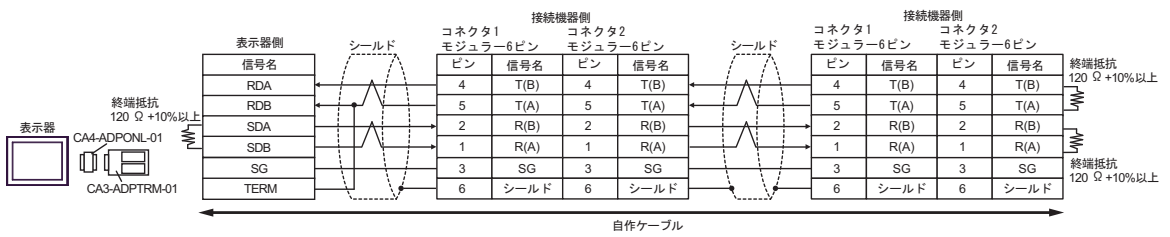


8C)

- 1 : 1 接続の場合

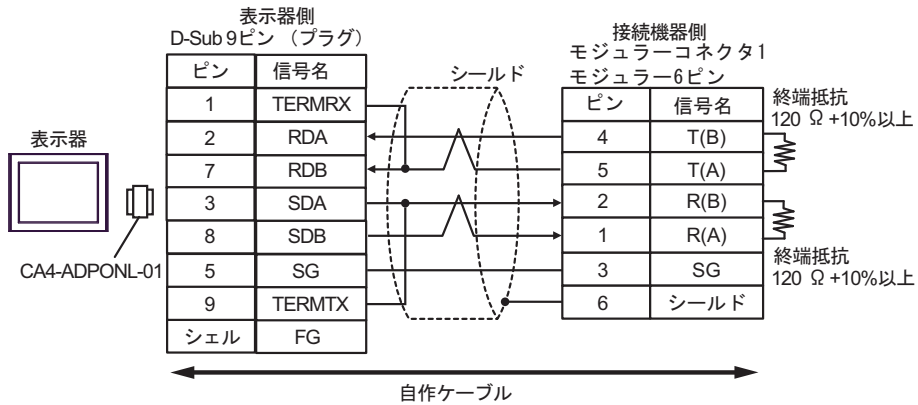


- 1 : n 接続の場合

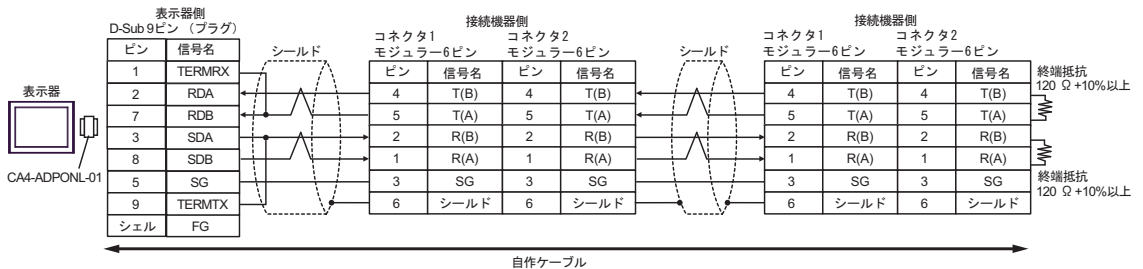


8D)

- 1 : 1 接続の場合

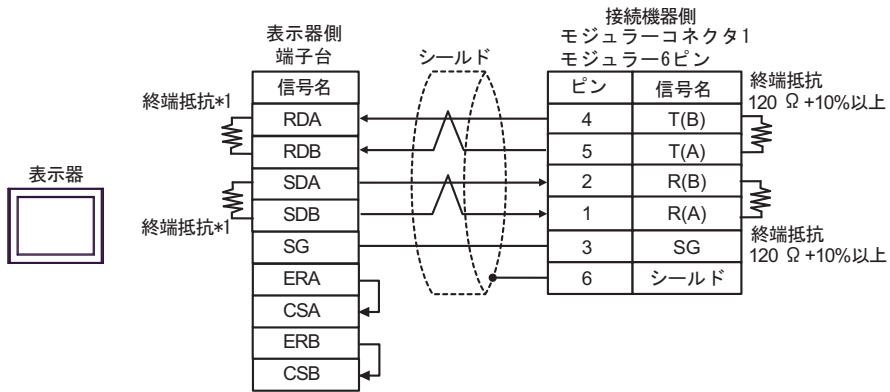


- 1 : n 接続の場合

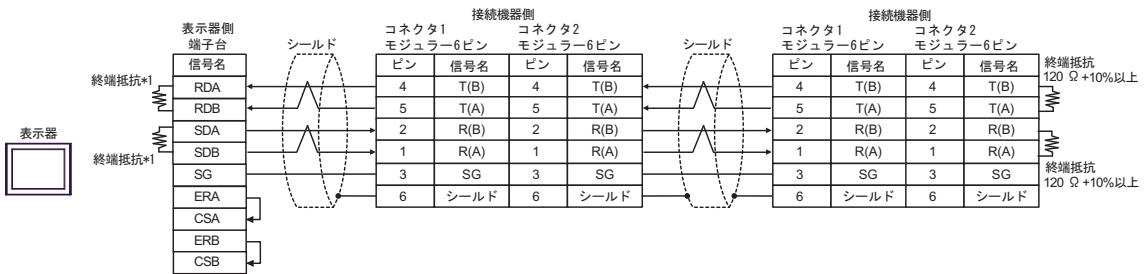


8E)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

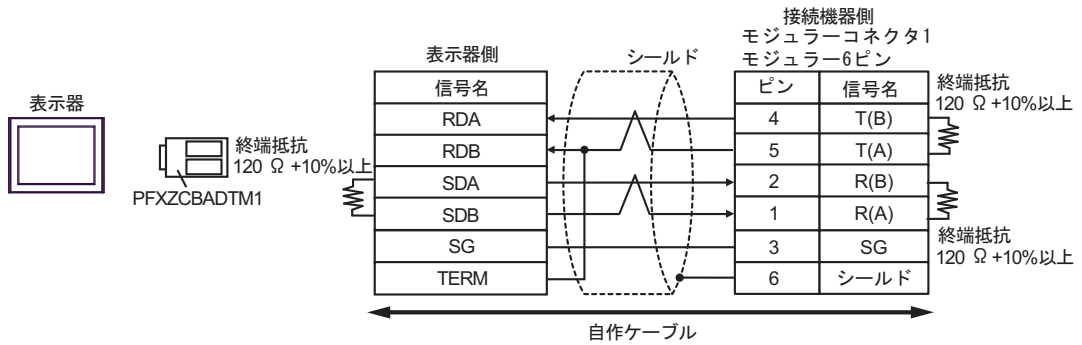


*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	ON
2	ON
3	ON
4	ON

8F)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



結線図 9


表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*0ITM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1)	9A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	9B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※3} (COM2)	9C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	9D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{※4}	9E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	9F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	9G	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{※5} (COM2) GP-4203T (COM1)	9H	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※6} (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	9I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※7} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	9B	自作ケーブル	
LT-4*0ITM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	9J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	ケーブル長： 200m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

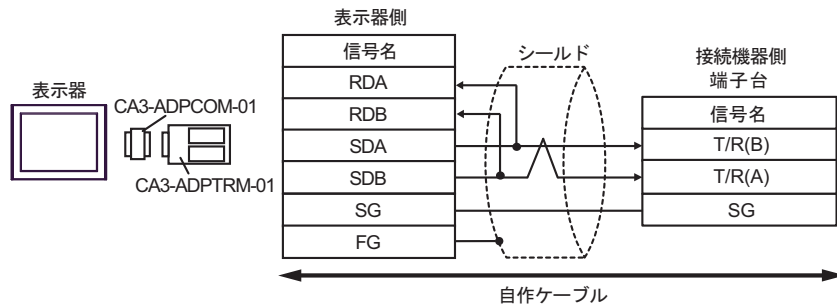
※5 GP-4203T を除く

※6 GP-4100 シリーズ、GP-4*0ITM、GP-420IT および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

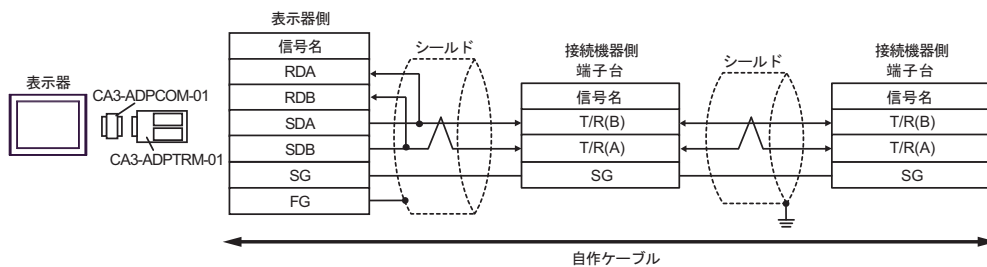
※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、9A の結線図を参照してください。

9A)

- 1 : 1 接続の場合

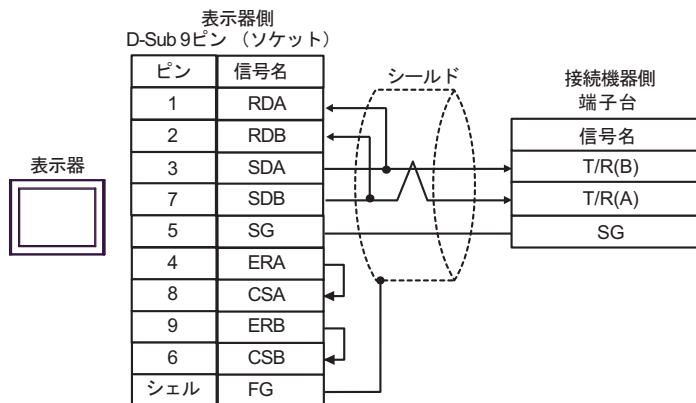


- 1 : n 接続の場合

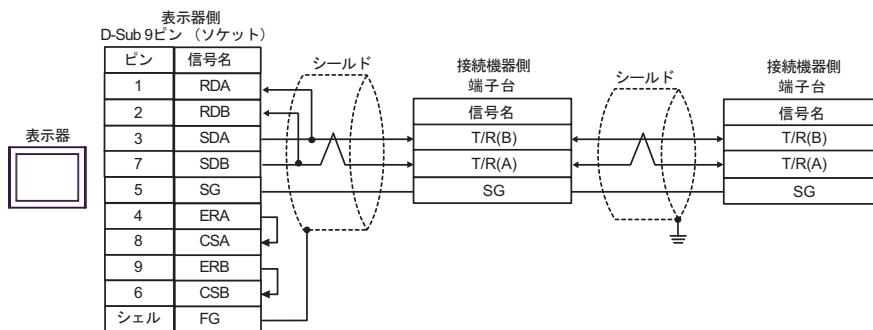


9B)

- 1 : 1 接続の場合

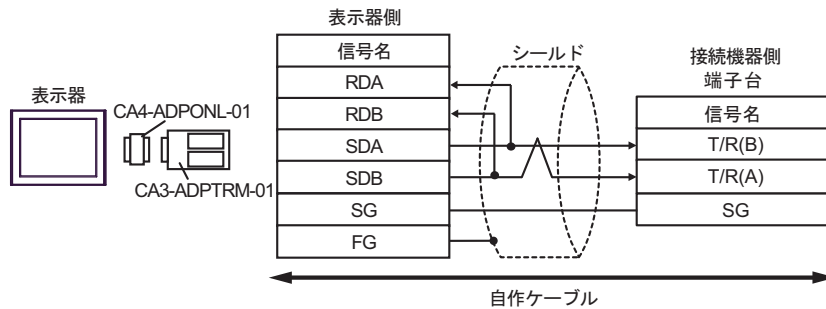


- 1 : n 接続の場合

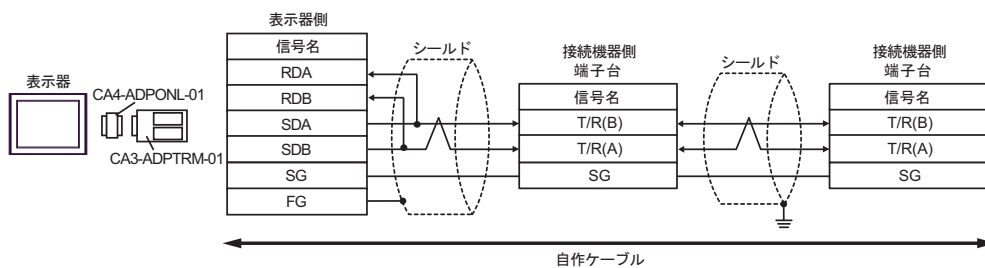


9C)

- 1 : 1 接続の場合

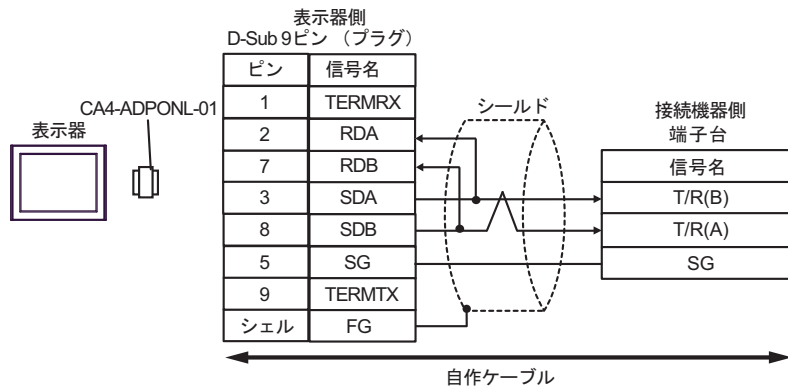


- 1 : n 接続の場合

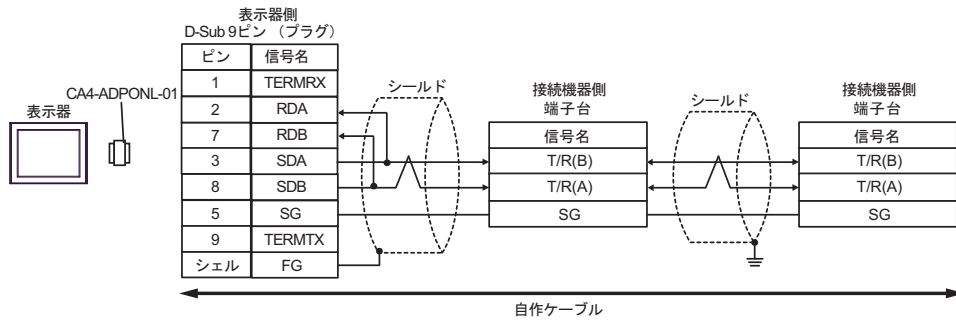


9D)

- 1 : 1 接続の場合

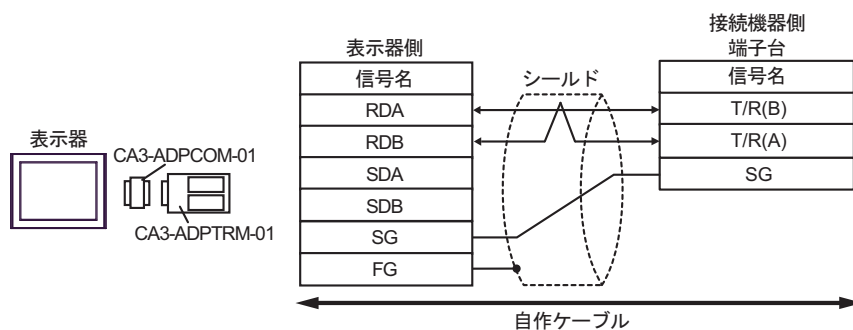


- 1 : n 接続の場合

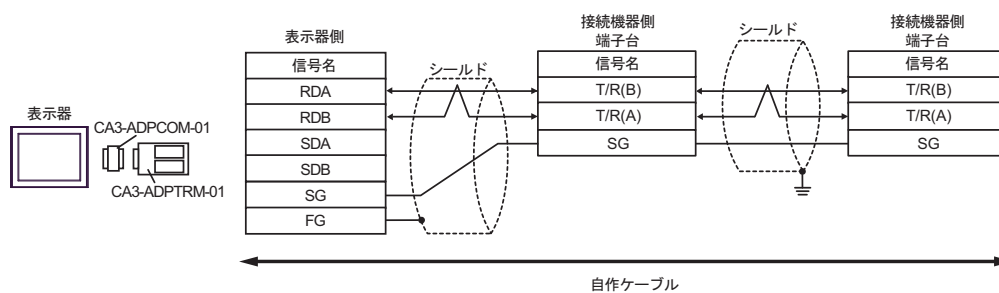


9E)

- 1:1 接続の場合

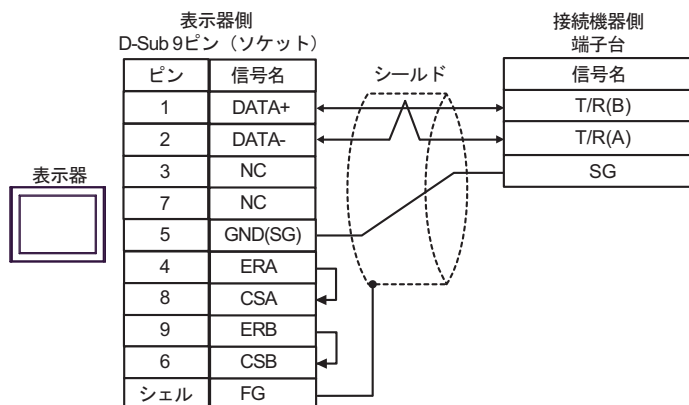


- 1:n 接続の場合

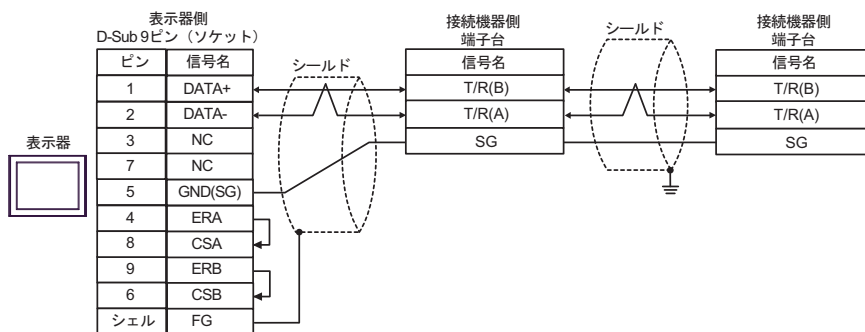


9F)

- 1 : 1 接続の場合

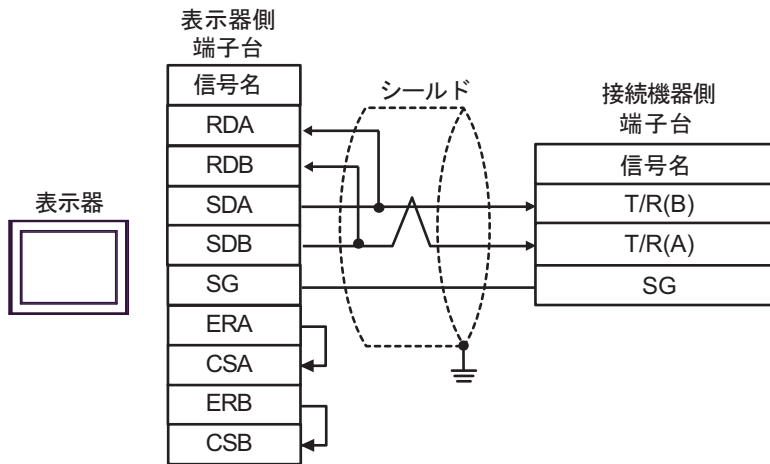


- 1 : n 接続の場合

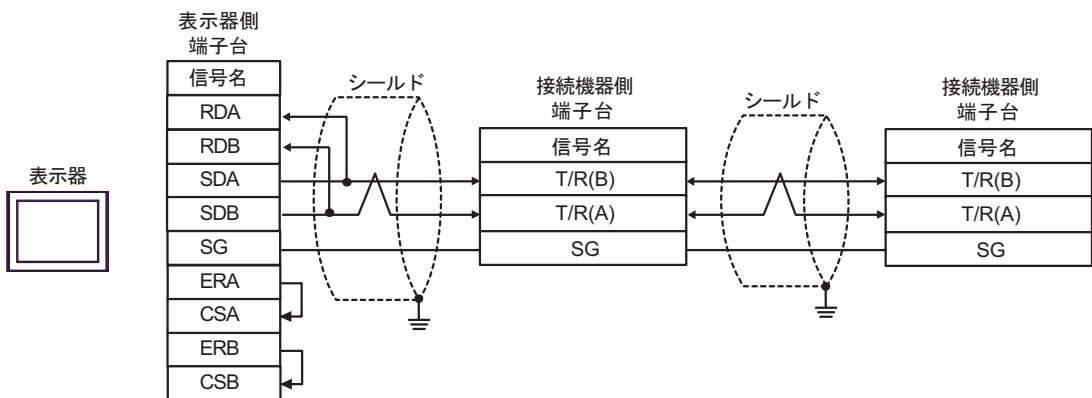


9G)

- 1:1 接続の場合

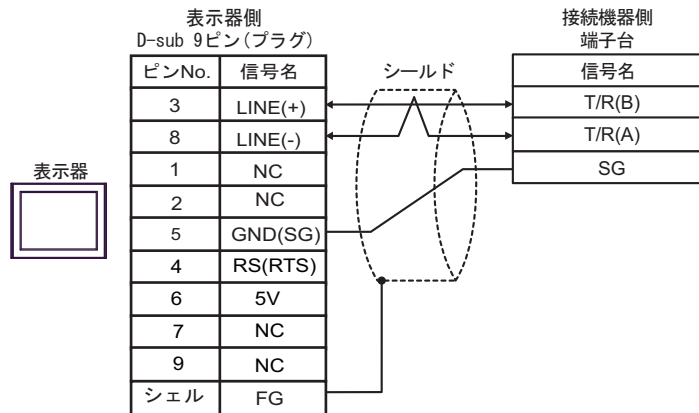


- 1:n 接続の場合

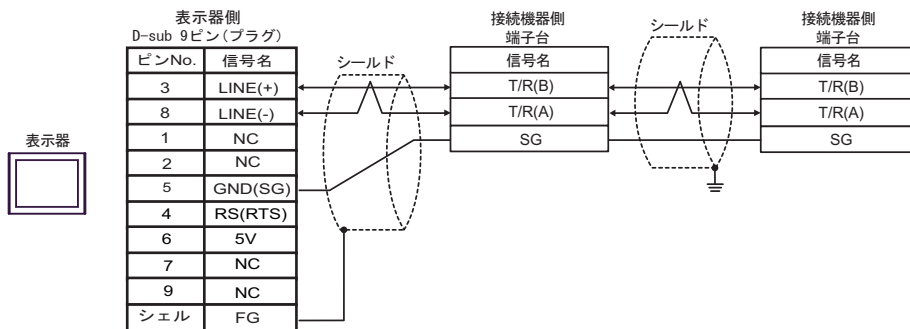


9H)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



重要

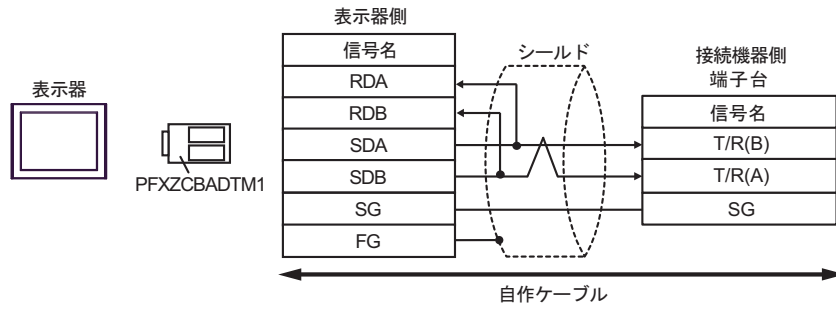
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

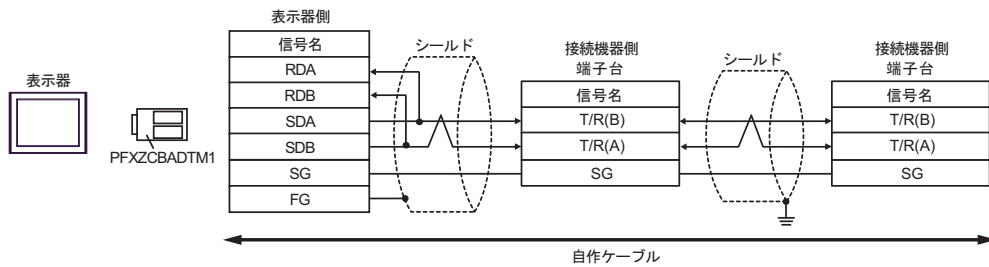
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

9I)

- 1 : 1 接続の場合

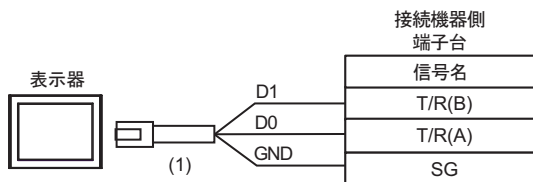


- 1 : n 接続の場合

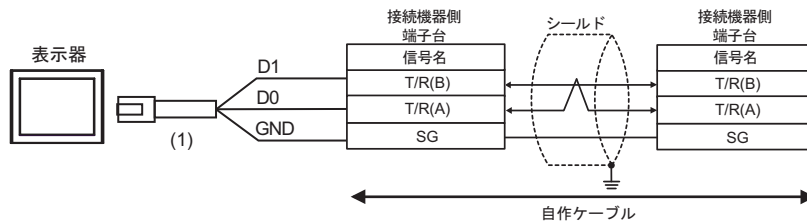


9J)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	

結線図 10

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{※3}	10A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	10B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※4} (COM2)	10C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	10D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	10E	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※5} (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	10F	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※6} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	10B	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

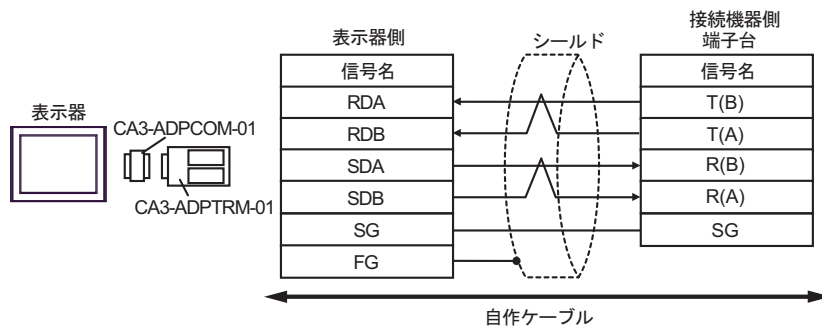
※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-420IT および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

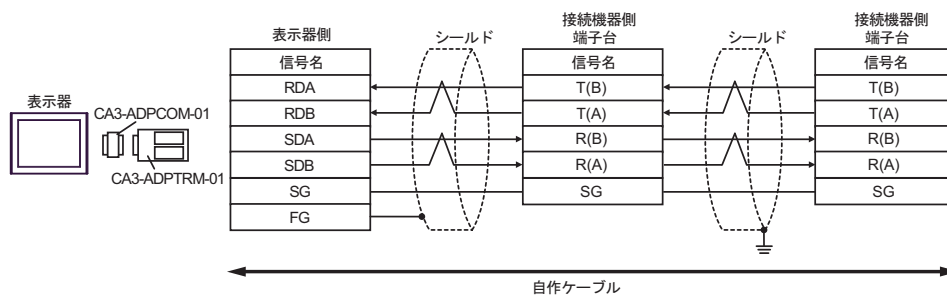
※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、10A の結線図を参照してください。

10A)

- 1 : 1 接続の場合

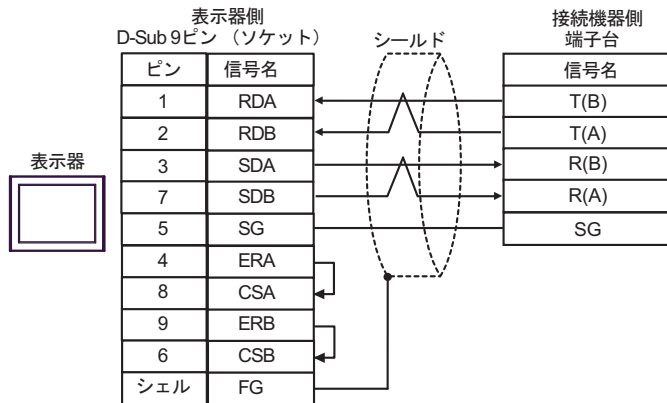


- 1 : n 接続の場合

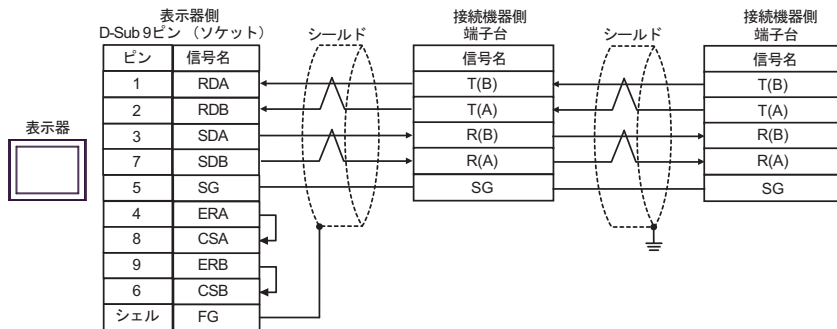


10B)

- 1 : 1 接続の場合

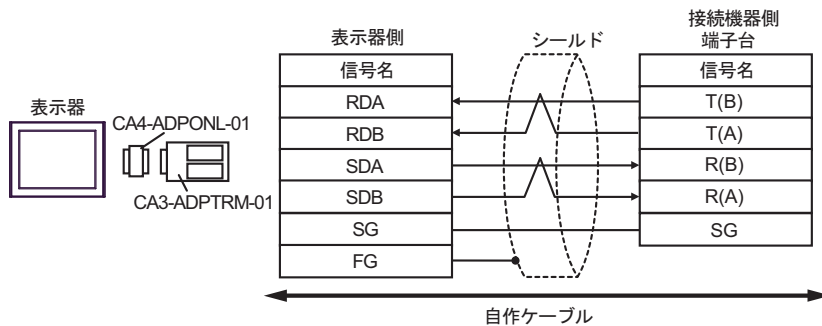


- 1 : n 接続の場合

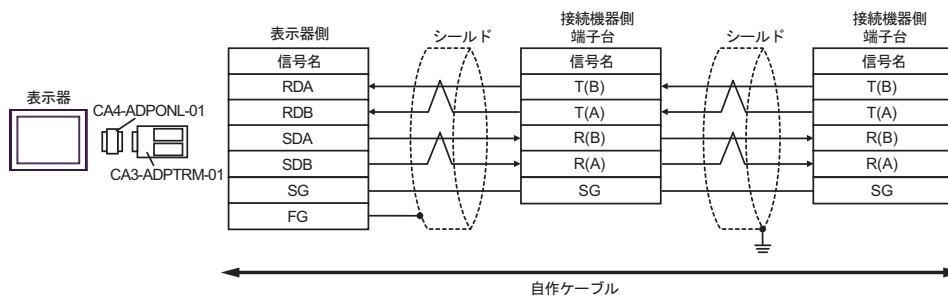


10C)

- 1 : 1 接続の場合

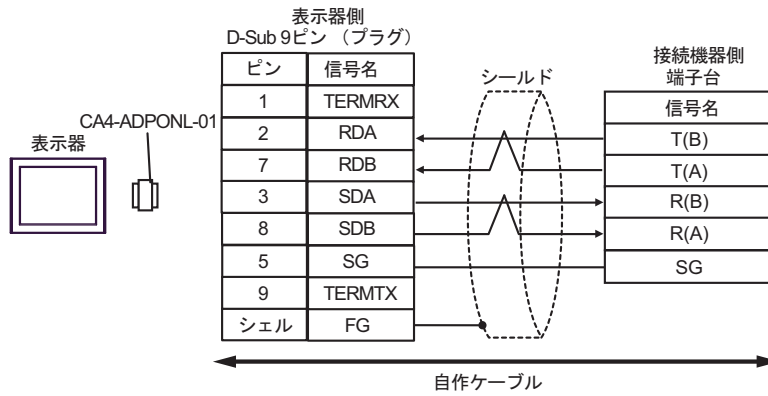


- 1 : n 接続の場合

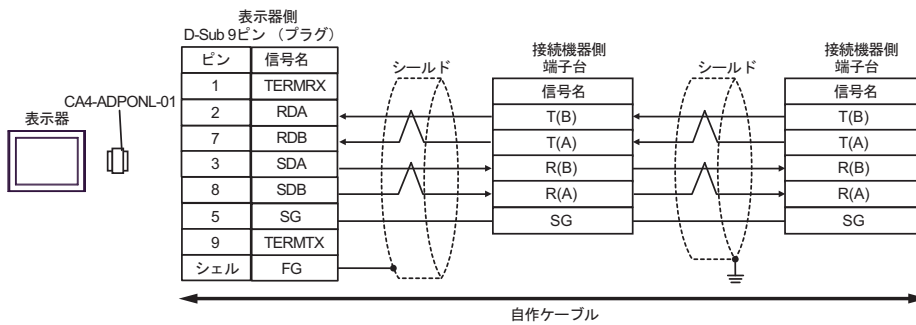


10D)

- 1 : 1 接続の場合

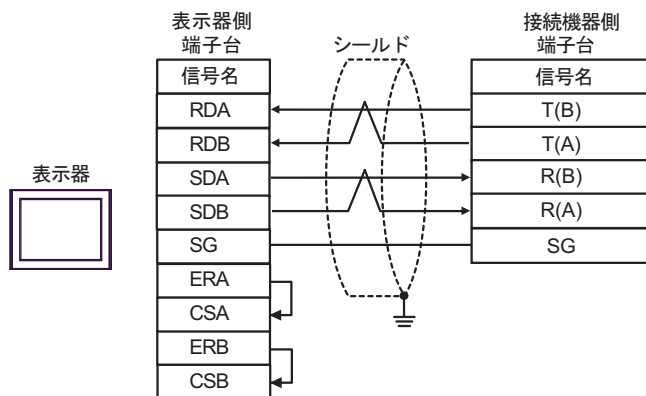


- 1 : n 接続の場合

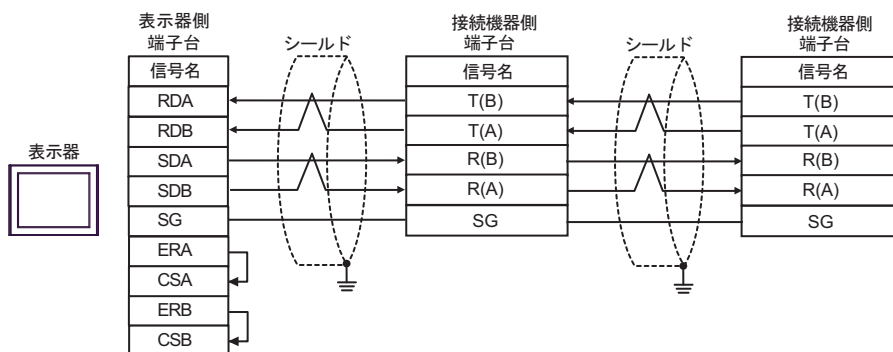


10E)

- 1 : 1 接続の場合

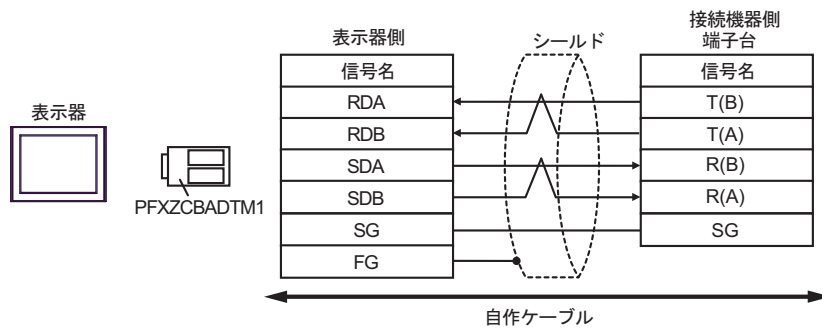


- 1 : n 接続の場合

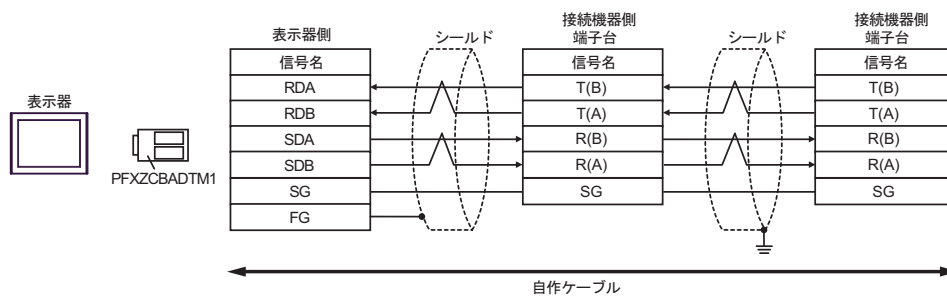


10F)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



結線図 11

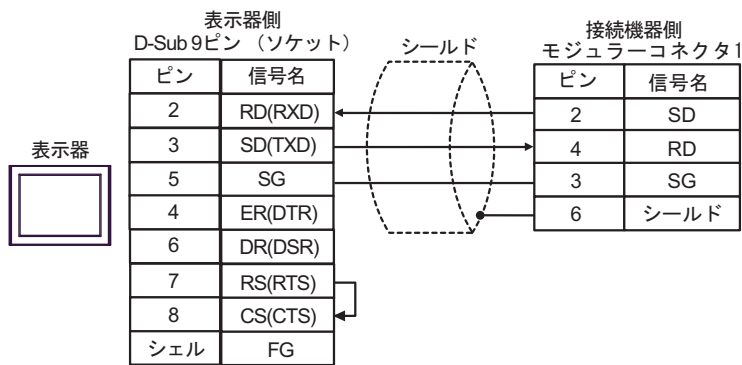
表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{※1} (COM1) SP5000 (COM1/2) ST (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{※2} PC/AT	11A	自作ケーブル	ケーブル長： 15m 以内
GP-4105 (COM1)	11B	自作ケーブル	ケーブル長： 15m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	11C	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ21	ケーブル長： 5m 以内

※1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

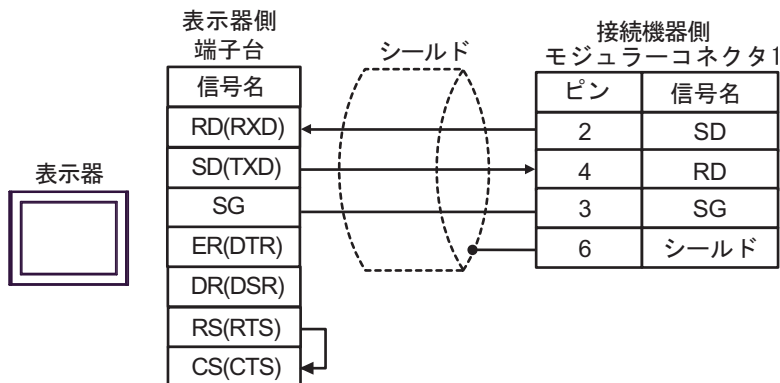
※2 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

☞ ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

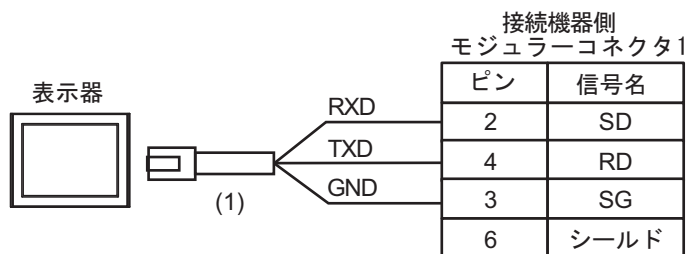
11A)



11B)



11C)




番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ21	

結線図 12

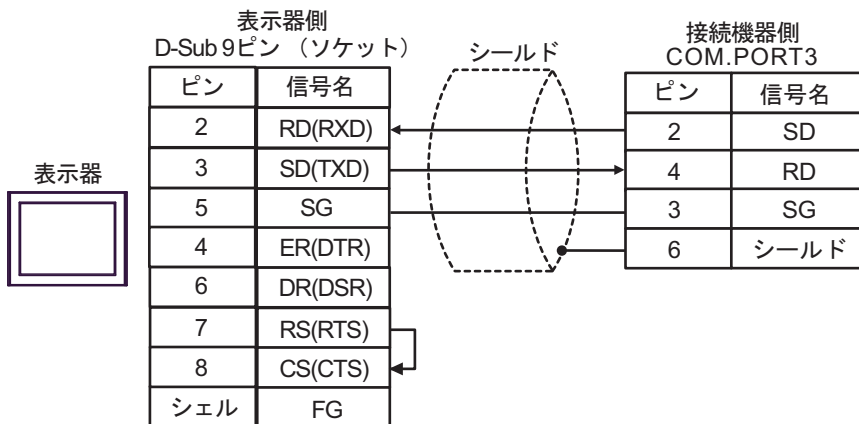
表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{※1} (COM1) SP5000 (COM1/2) ST (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{※2} PC/AT	12A	自作ケーブル	ケーブル長： 15m 以内
GP-4105 (COM1)	12B	自作ケーブル	ケーブル長： 15m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	12C	(株) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長： 5m 以内

※1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

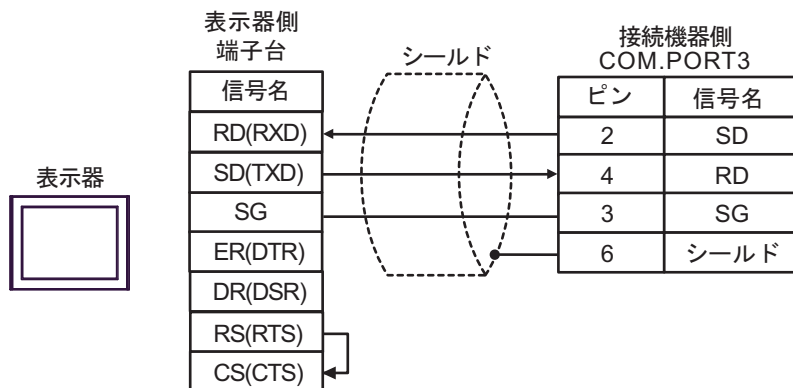
※2 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

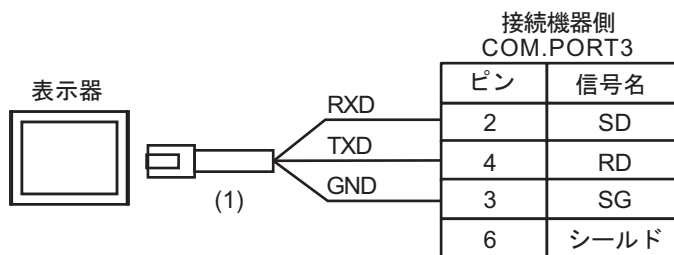
12A)



12B)



12C)



番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

結線図 13


表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1)	13A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	13B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※3} (COM2)	13C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	13D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{※4}	13E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	13F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	13G	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{※5} (COM2) GP-4203T (COM1)	13H	自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	13I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※7} + 自作ケーブル	ケーブル長： 1200m 以内
	13B	自作ケーブル	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	13J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ81	ケーブル長： 200m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

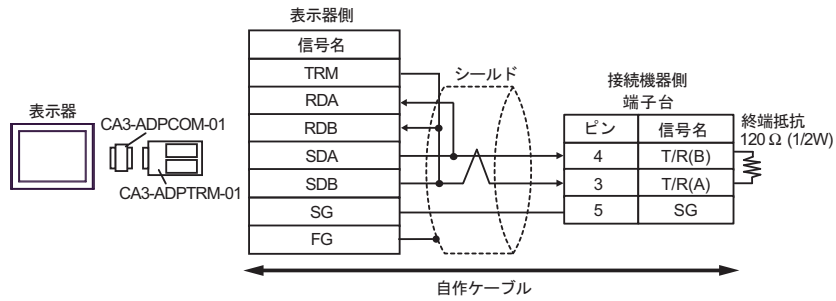
※5 GP-4203T を除く

※6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

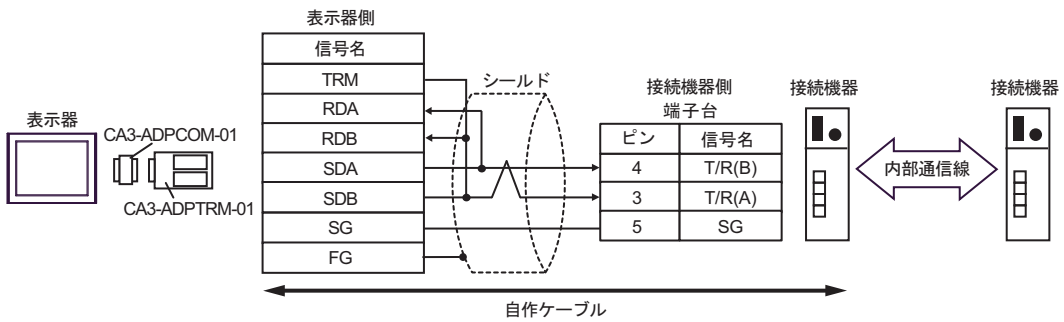
※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、13A の結線図を参照してください。

13A)

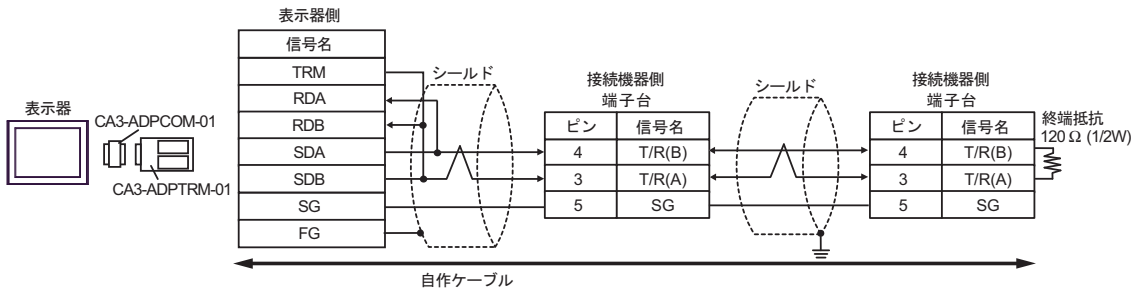
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

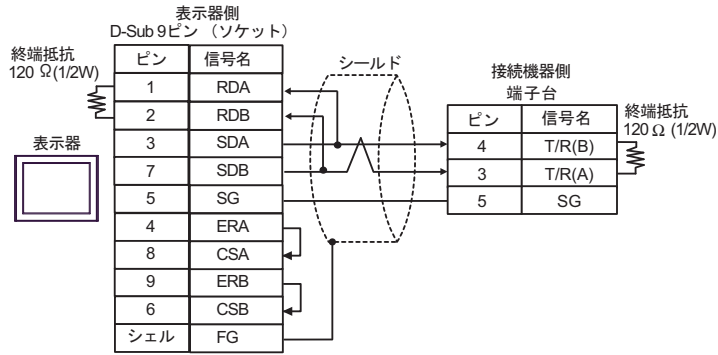


- 1 : n 接続

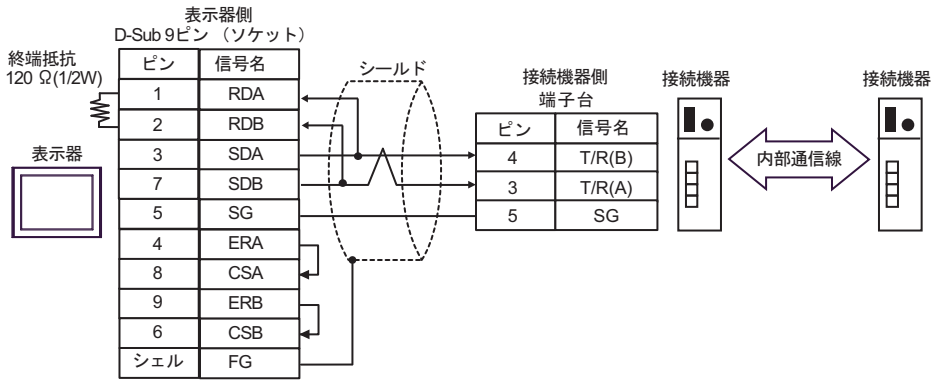


13B)

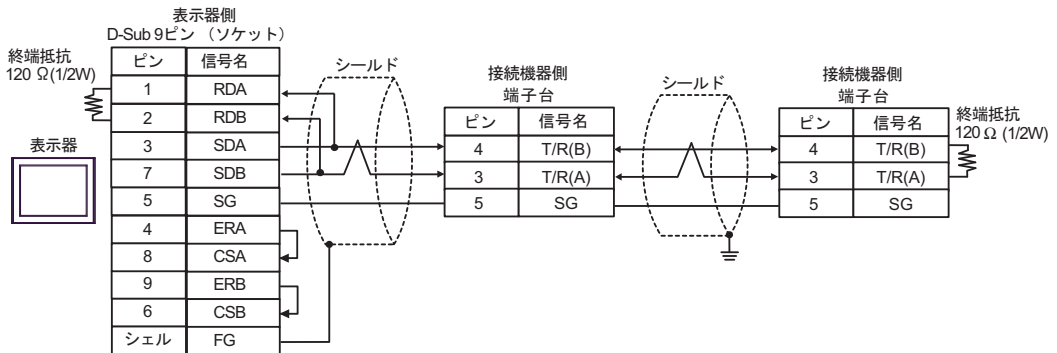
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

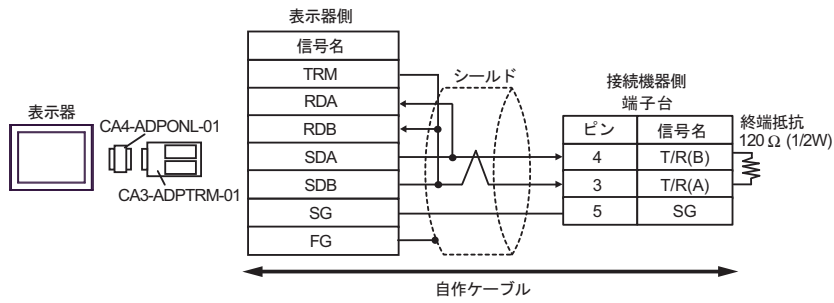


- 1 : n 接続

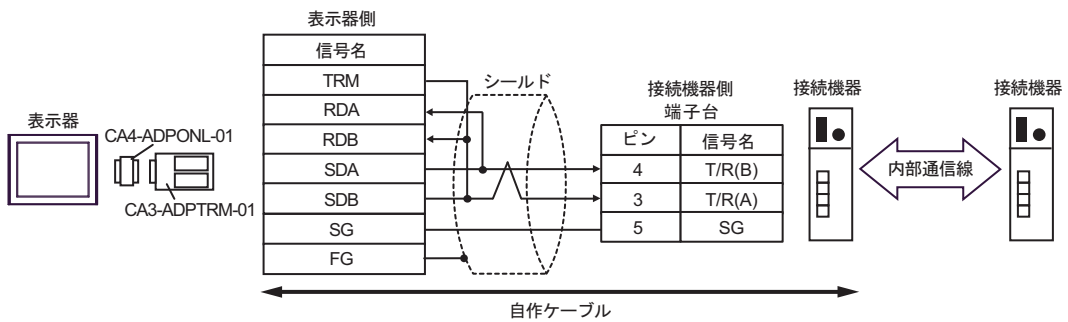


13C)

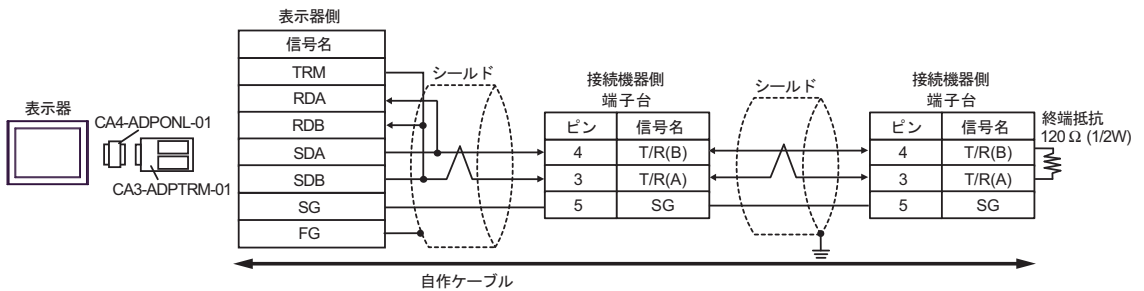
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

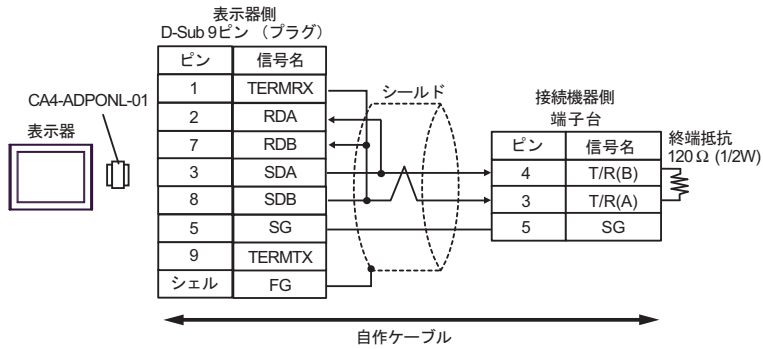


- 1 : n 接続

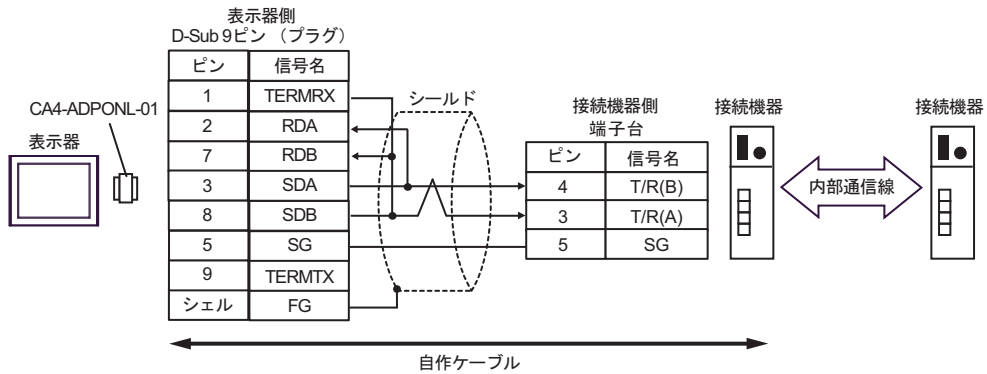


13D)

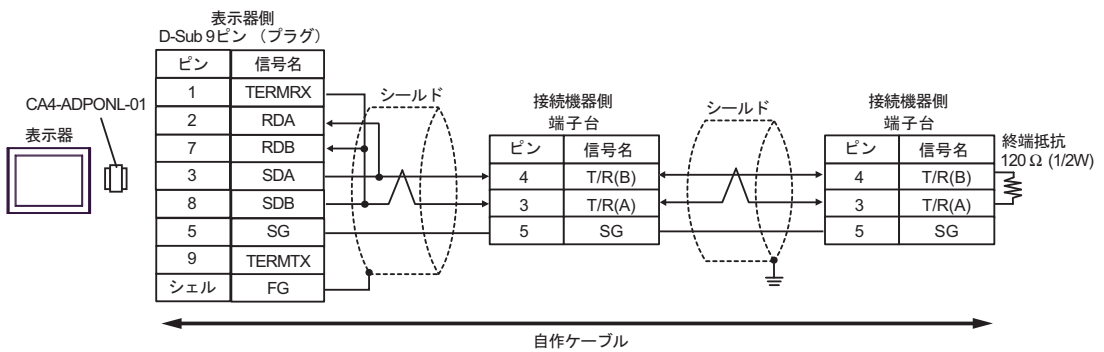
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

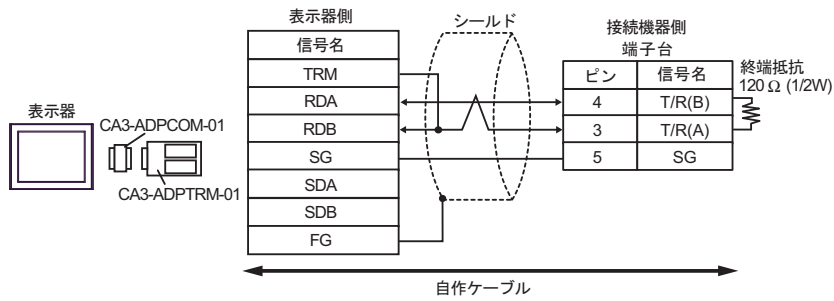


- 1 : n 接続

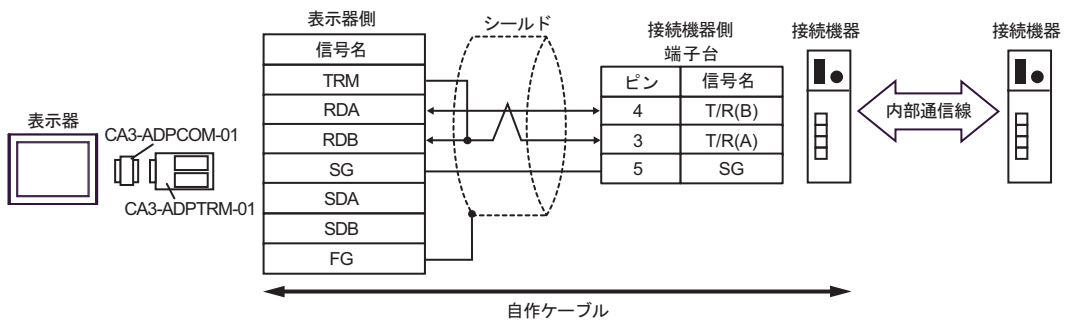


13E)

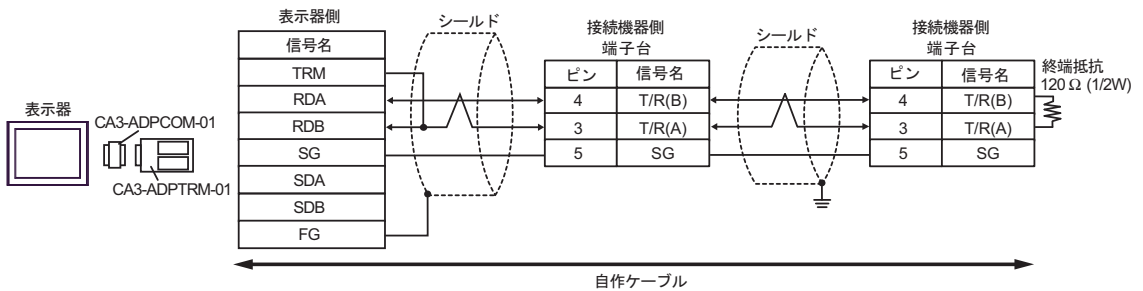
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

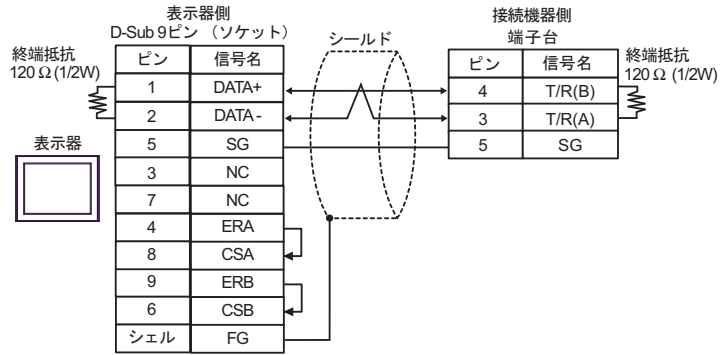


- 1 : n 接続

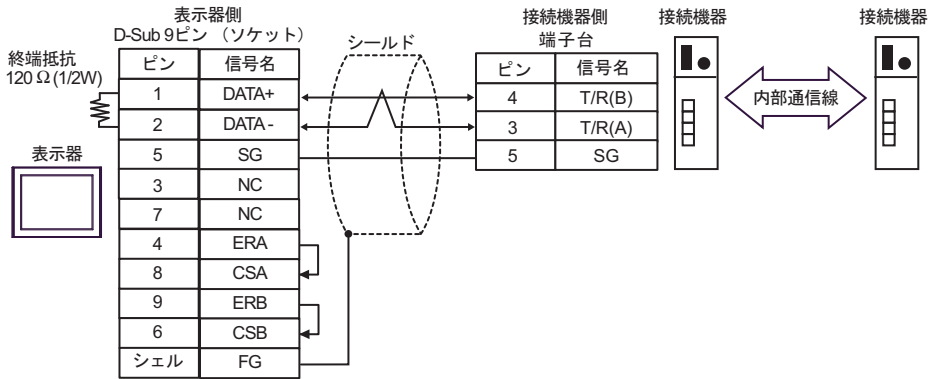


13F)

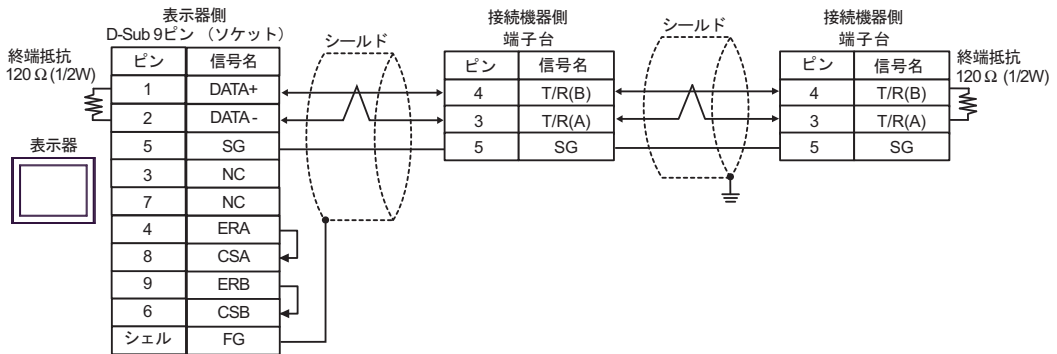
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

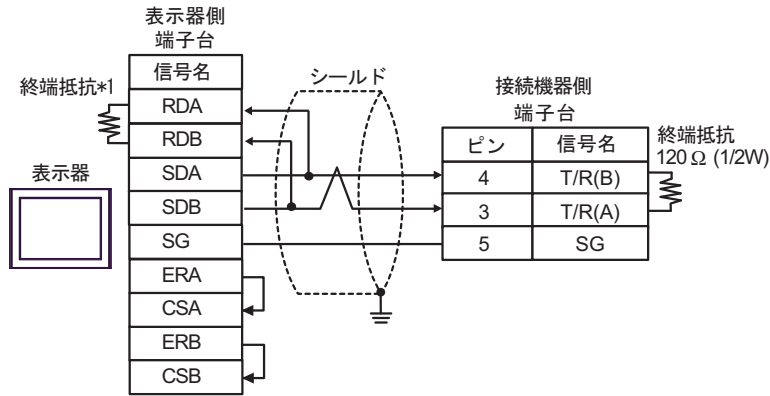


- 1 : n 接続

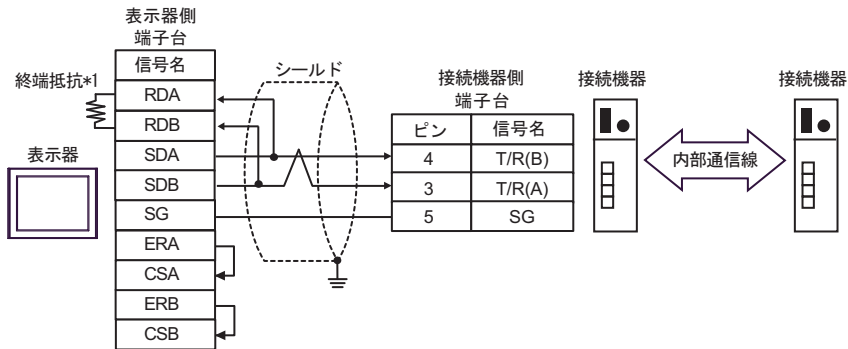


13G)

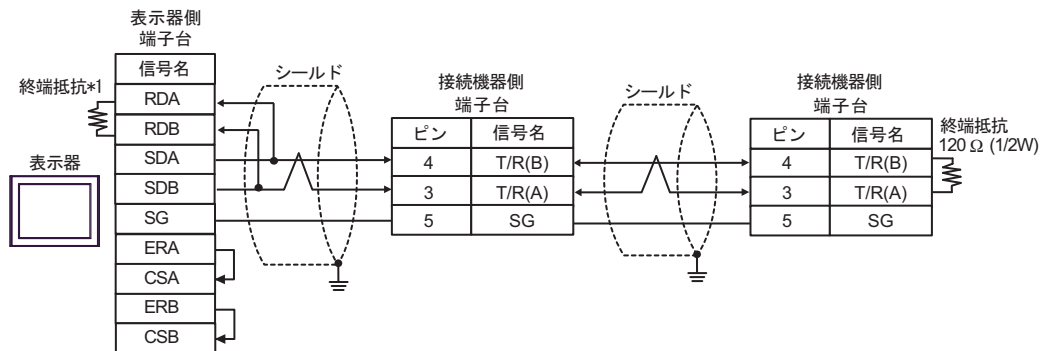
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)



- 1 : n 接続

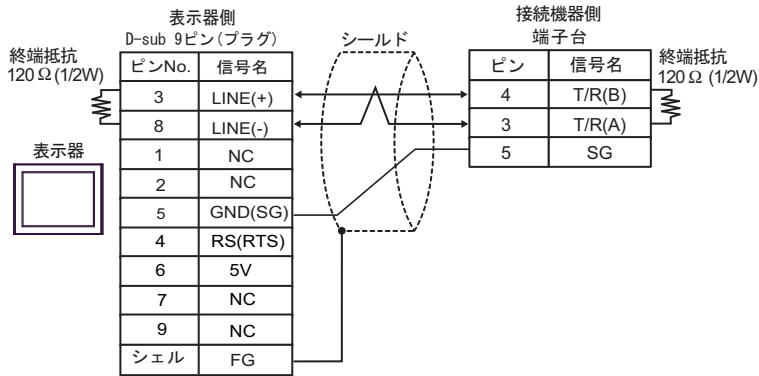


*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

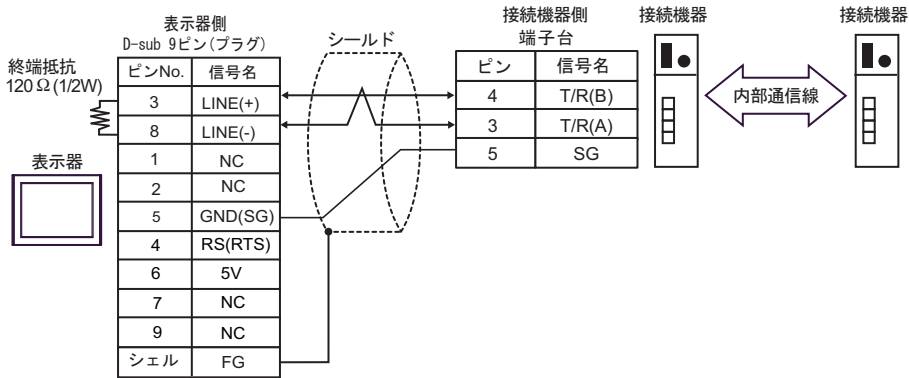
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

13H)

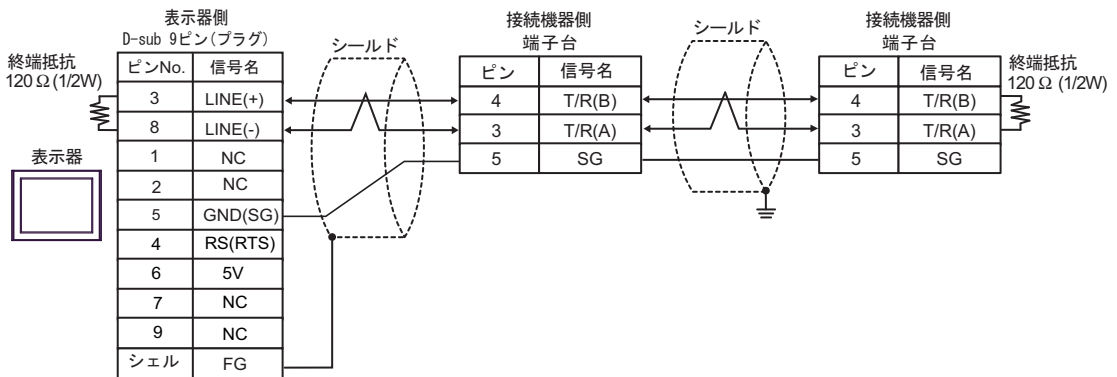
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)



- 1 : n 接続



重要

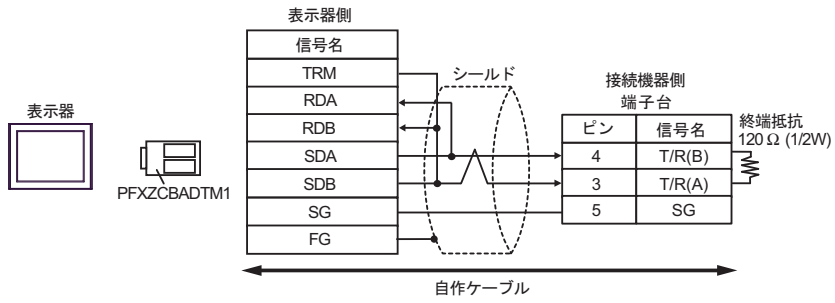
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

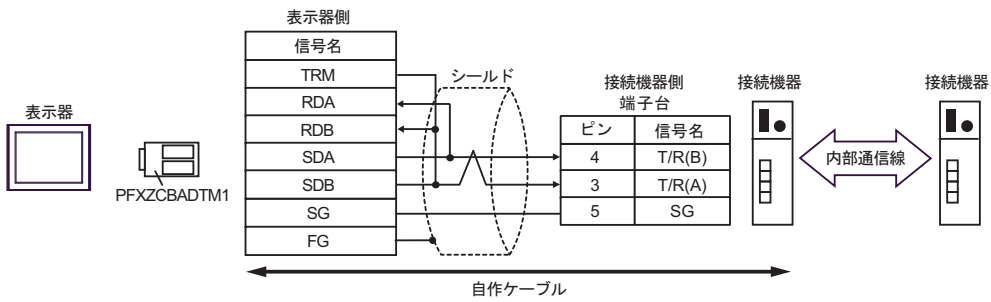
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

131)

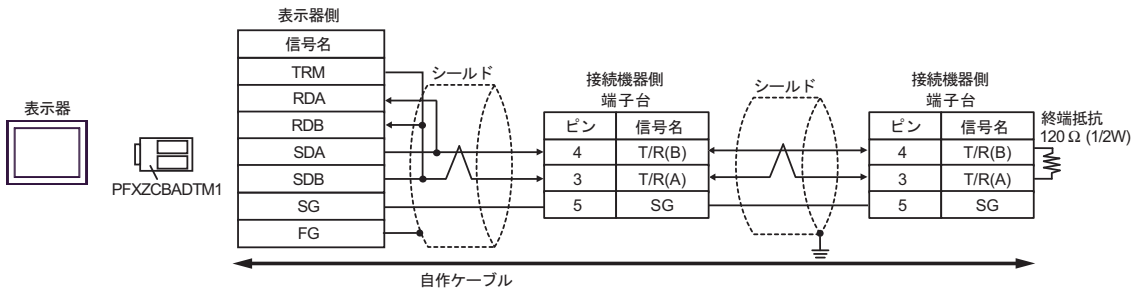
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)

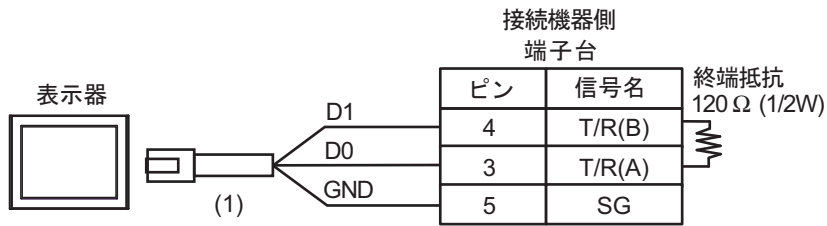


- 1 : n 接続

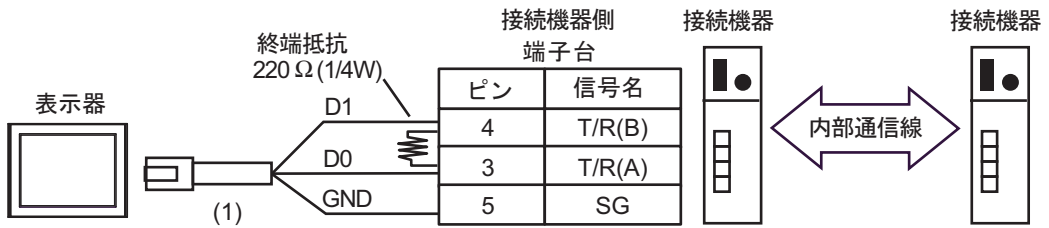


13J)

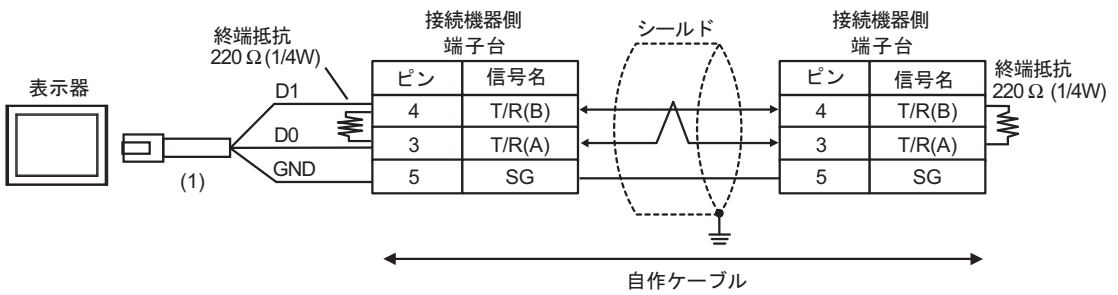
- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続 (内部通信線で接続する場合)



- 1 : n 接続



番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ81	

結線図 14

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*0ITM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT 3000 (COM1) IPC ^{※3}	14A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	14B	自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	
GP3000 ^{※4} (COM2)	14C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	14D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	
GP-4106 (COM1)	14E	自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000 ^{※6} (COM2) GP-420IT (COM1) SP5000 (COM1/2)	14F	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※7} + 自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	14B	自作ケーブル + 理化学工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 RS-422/485(4線式)で通信できるCOMポートのみ使用できます。

☞ ■ IPCのCOMポートについて (8ページ)

※4 GP-3200シリーズおよびAGP-3302Bを除く全GP3000機種

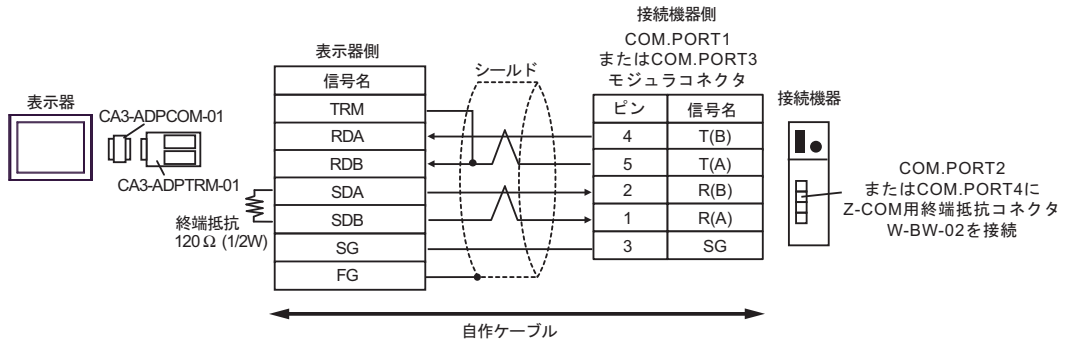
※5 接続機器を複数台使用する場合は理化工業(株)製接続ケーブルW-BF-02を使用します。

※6 GP-4100シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201TおよびGP-4*03Tを除く全GP4000機種

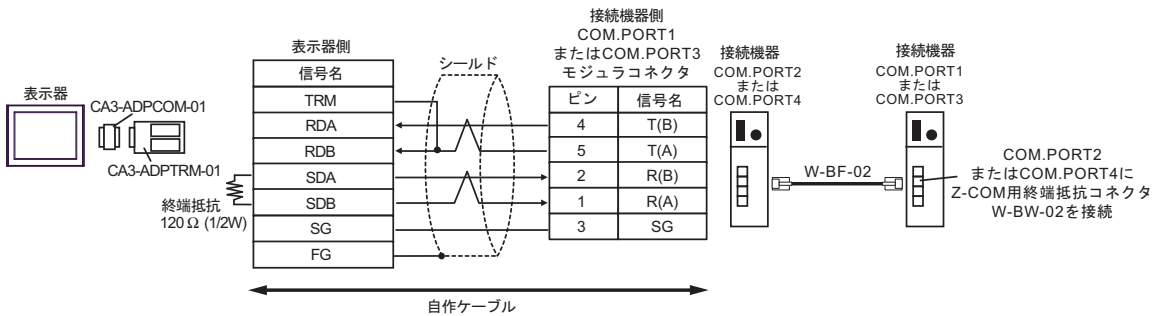
※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)を使用する場合、14Aの結線図を参照してください。

14A)

• 1:1接続



• 1:n接続

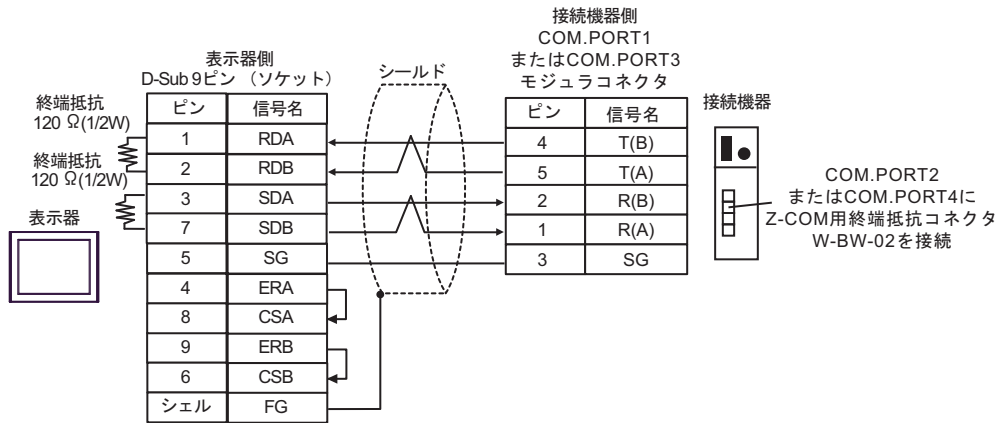


MEMO

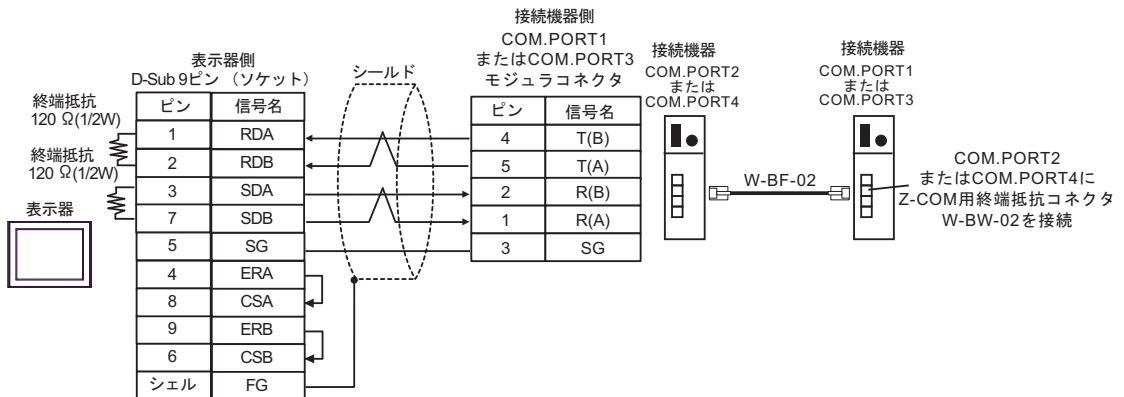
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器のCOM.PORTはCOM.PORT1とCOM.PORT2、COM.PORT3とCOM.PORT4の組み合わせで使用してください。

14B)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

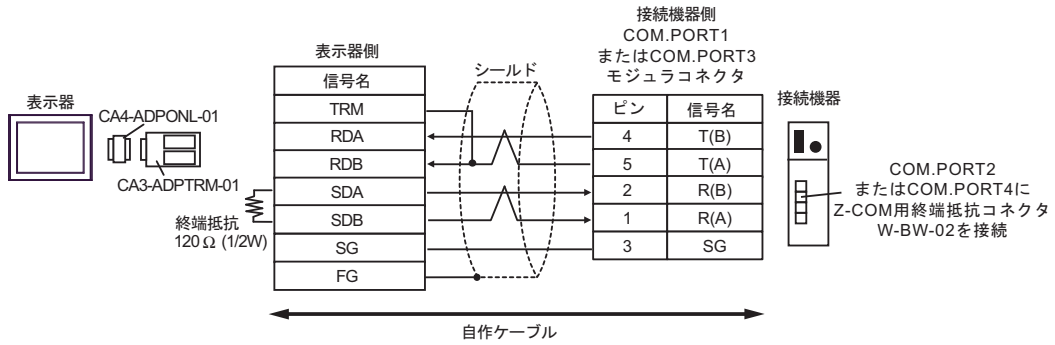


MEMO

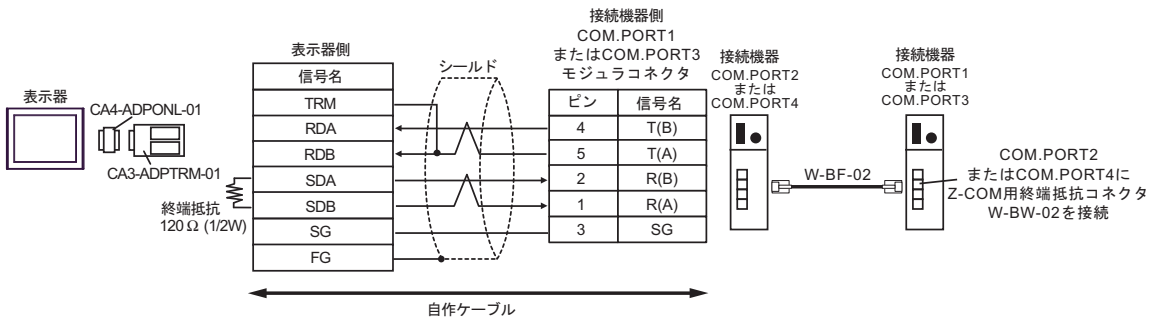
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

14C)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

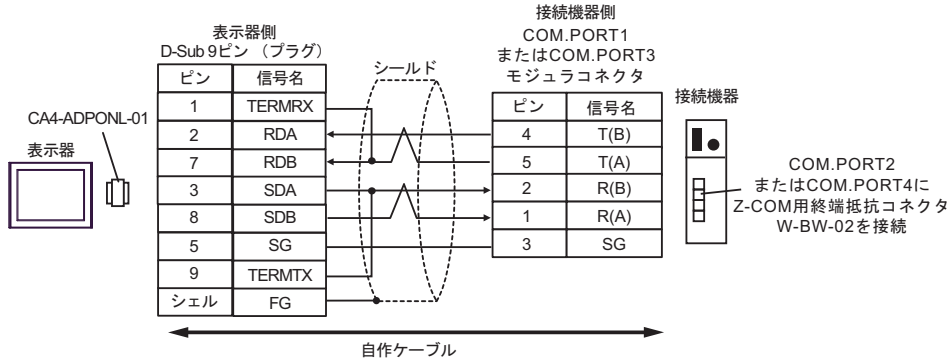


MEMO

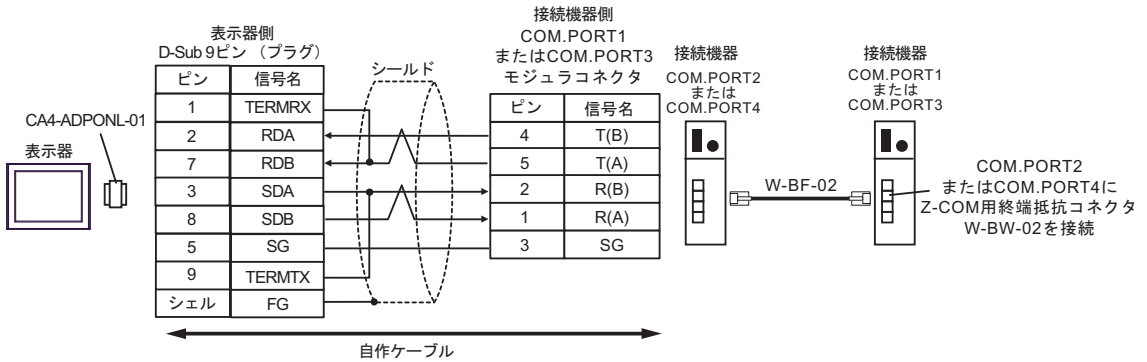
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

14D)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

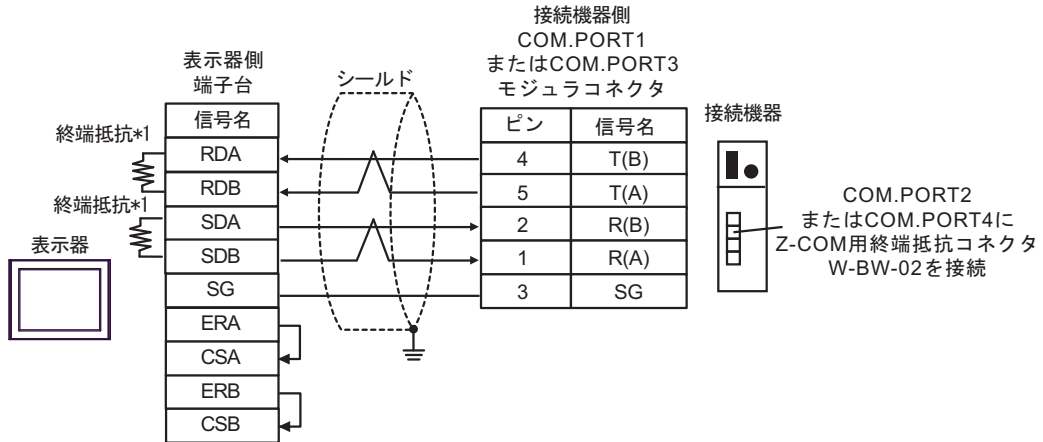


MEMO

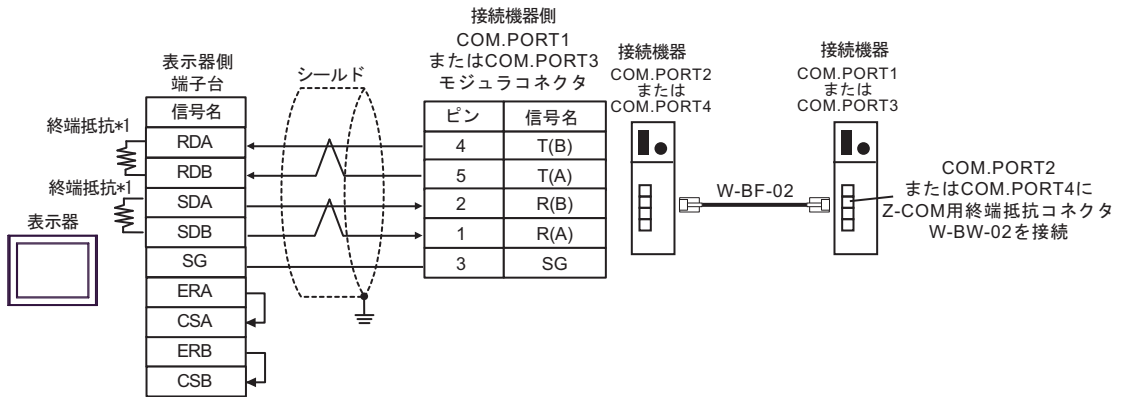
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

14E)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続



MEMO

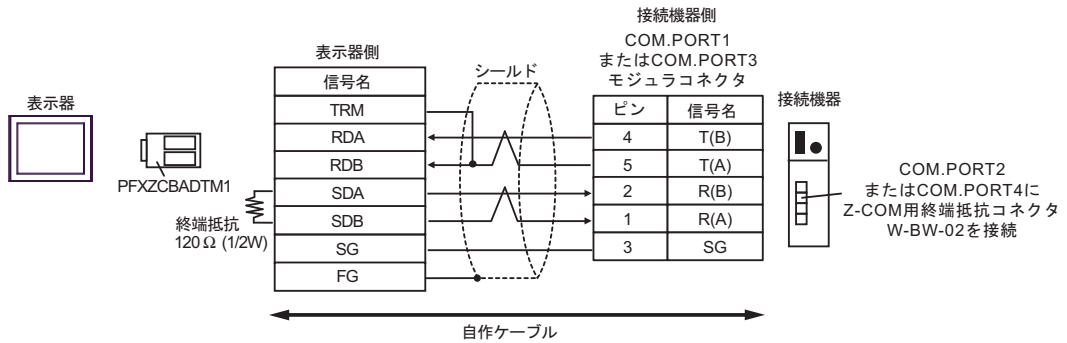
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

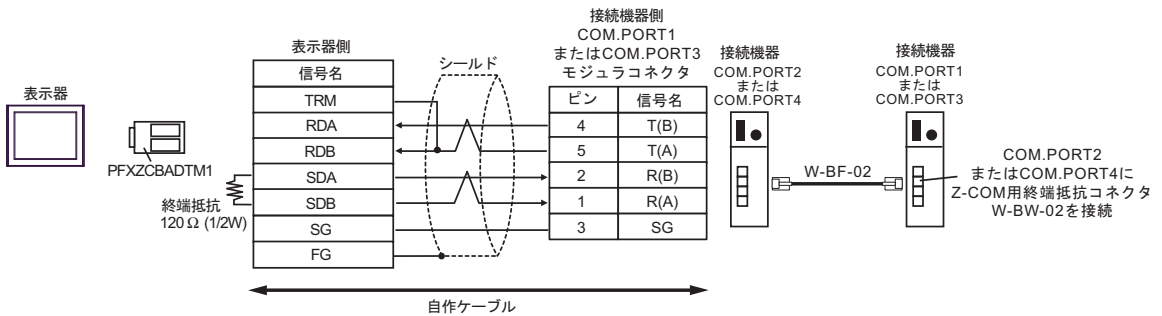
ディップスイッチ	設定内容
1	ON
2	ON
3	ON
4	ON

14F)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続



MEMO

- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

結線図 15

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*0ITM (COM1) ST ^{※2} (COM2) LT3000 (COM1)	15A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	15B	自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	
GP3000 ^{※3} (COM2)	15C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	15D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	
IPC ^{※4}	15E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル ^{※5} W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	15F	自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル W-BF-02 ^{※5}	


表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP-4106 (COM1)	15G	自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル※5 W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T※6 (COM2) GP-4203T (COM1)	15H	自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル※5 W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
GP4000※7 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	15I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1※8 + 自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル※5 W-BF-02	ケーブル長： 1200m 以内
	15B	自作ケーブル + 理化工業 (株) 製接続ケーブル※5 W-BF-02	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	15J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81 + 理化工業 (株) 製接続ケーブル※5 W-BF-02	ケーブル長： 200m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※4 RS-422/485(2線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 ■ IPC の COM ポートについて (8 ページ)

※5 接続機器を複数台使用する場合は理化工業 (株) 製接続ケーブル W-BF-02 を使用します。

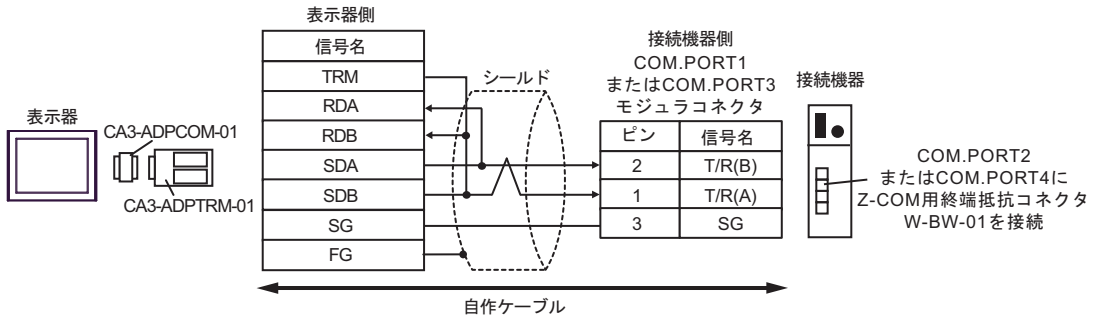
※6 GP-4203T を除く

※7 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

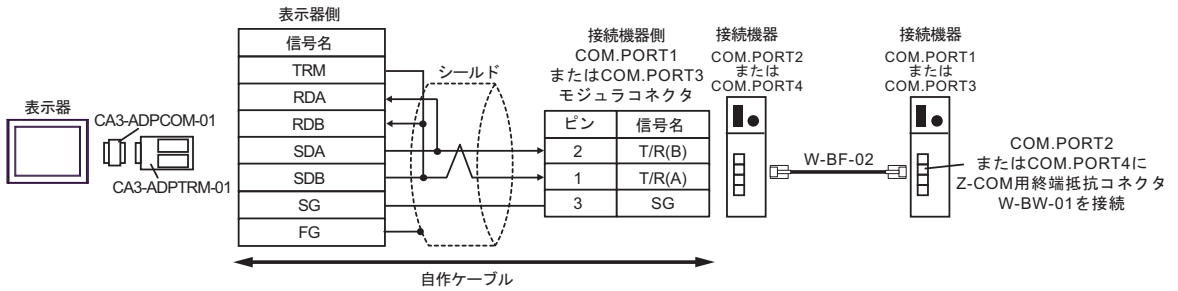
※8 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、15A の結線図を参照してください。

15A)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

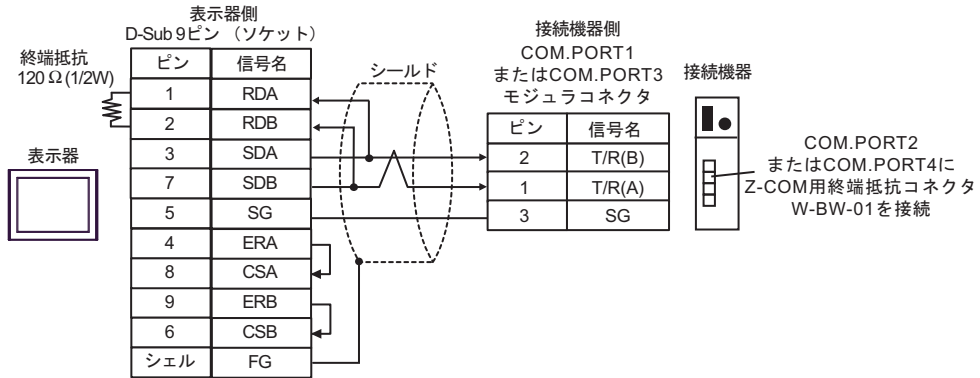


MEMO

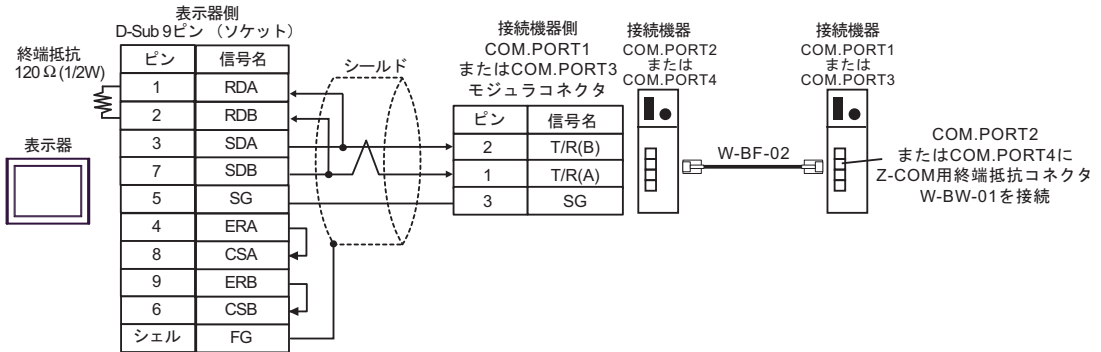
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15B)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

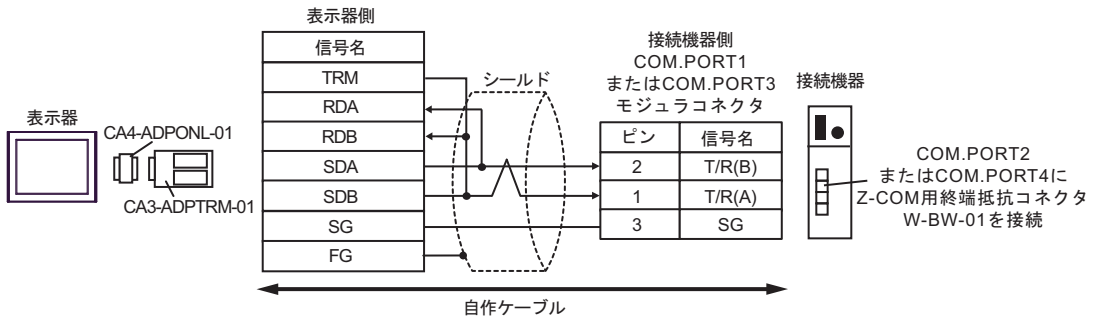


MEMO

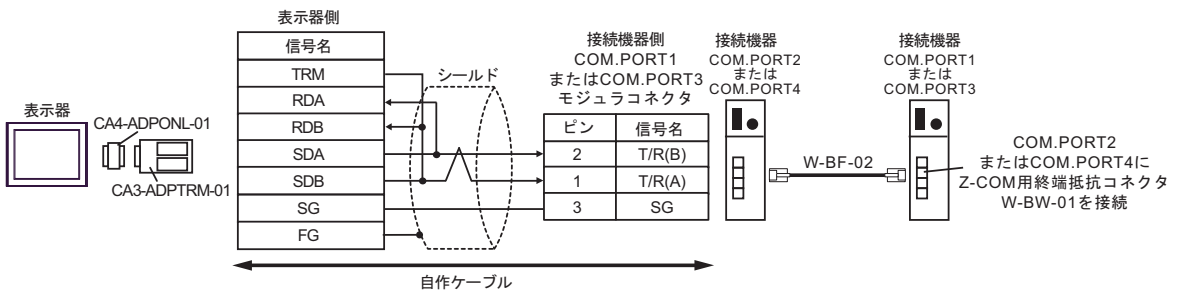
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15C)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

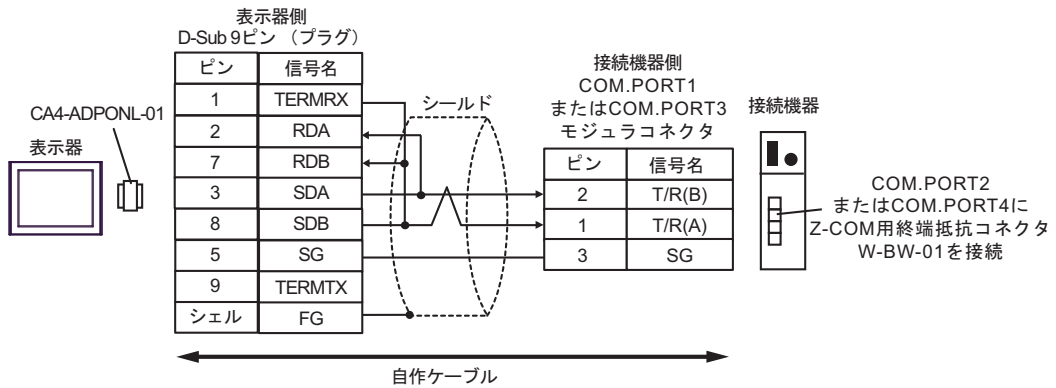


MEMO

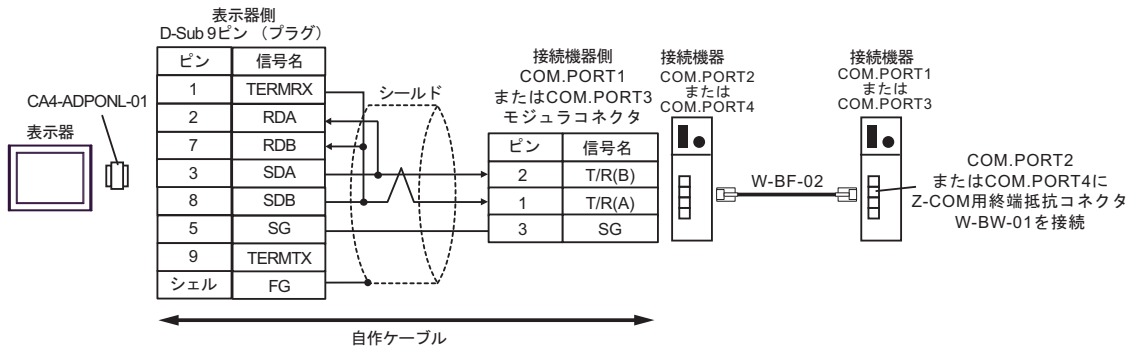
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15D)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

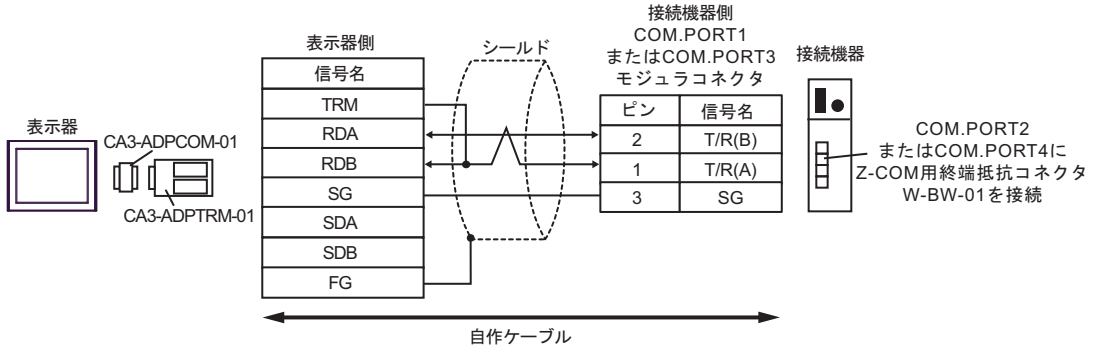


MEMO

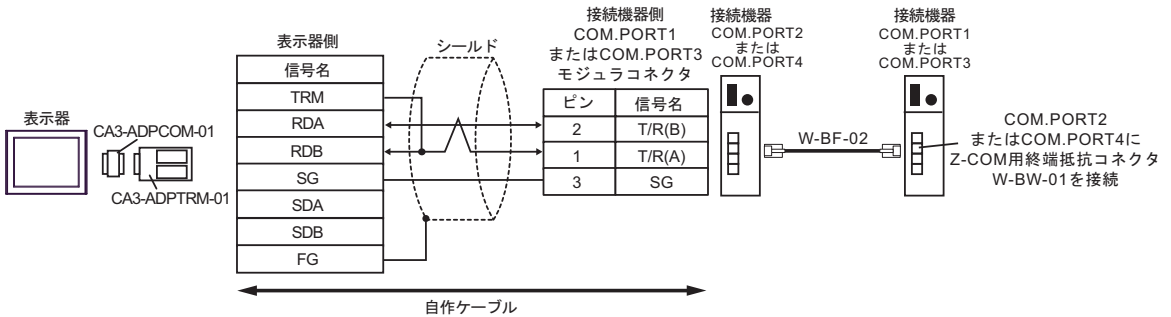
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15E)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

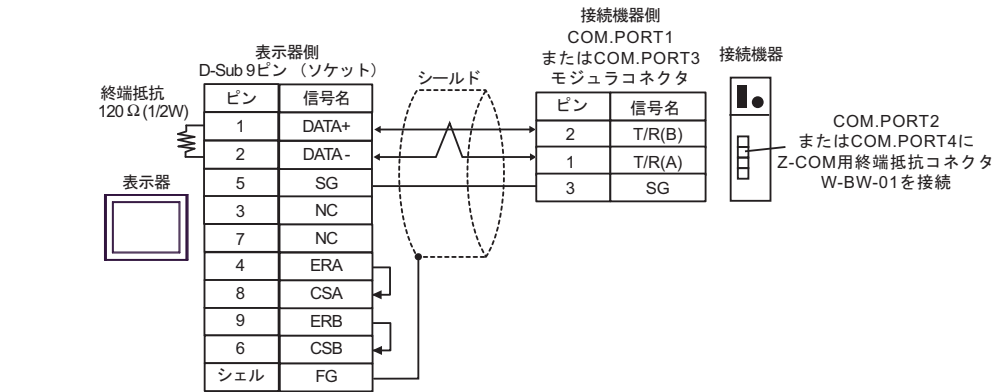


MEMO

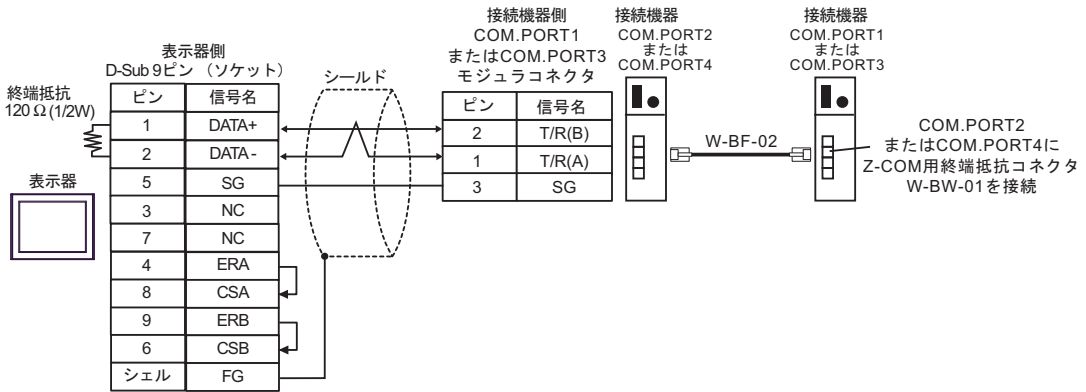
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15F)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

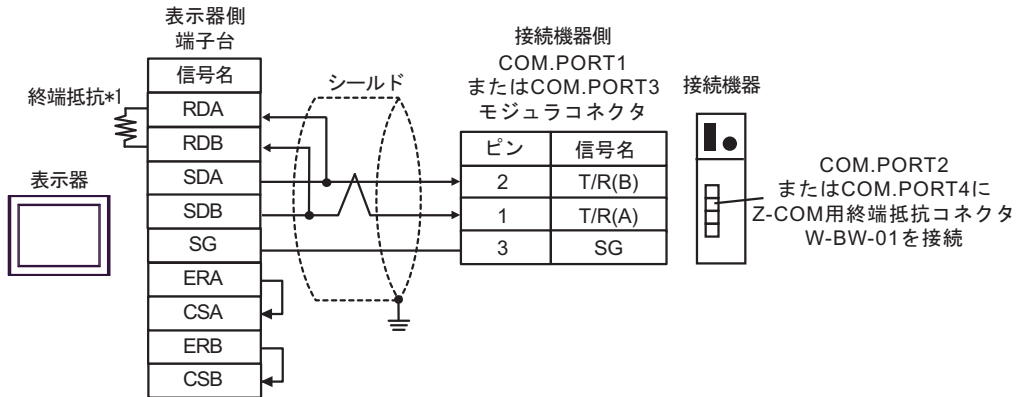


MEMO

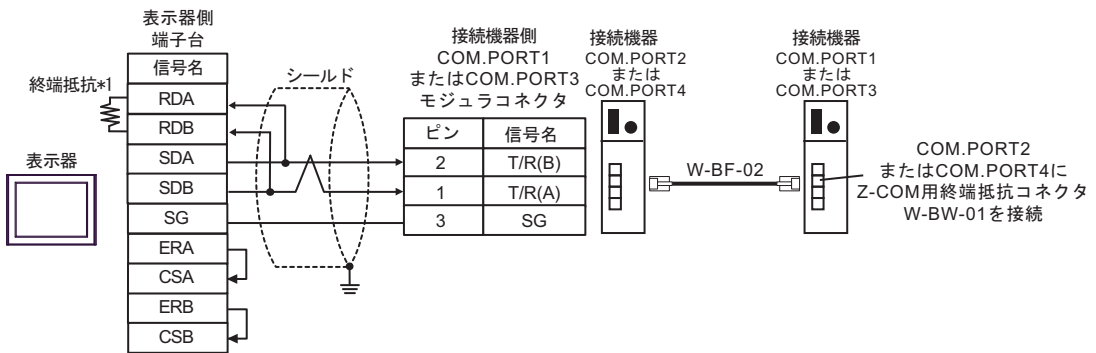
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15G)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続



MEMO

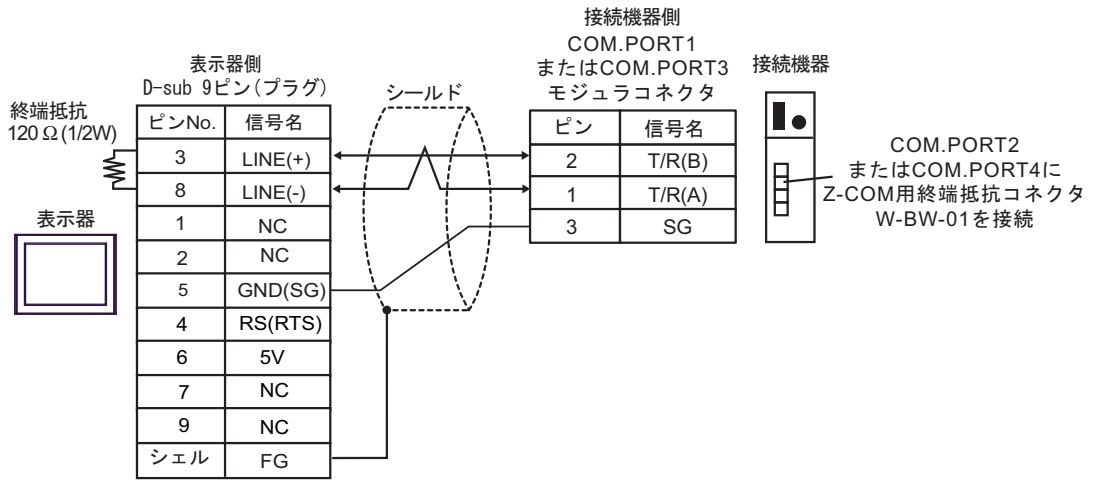
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

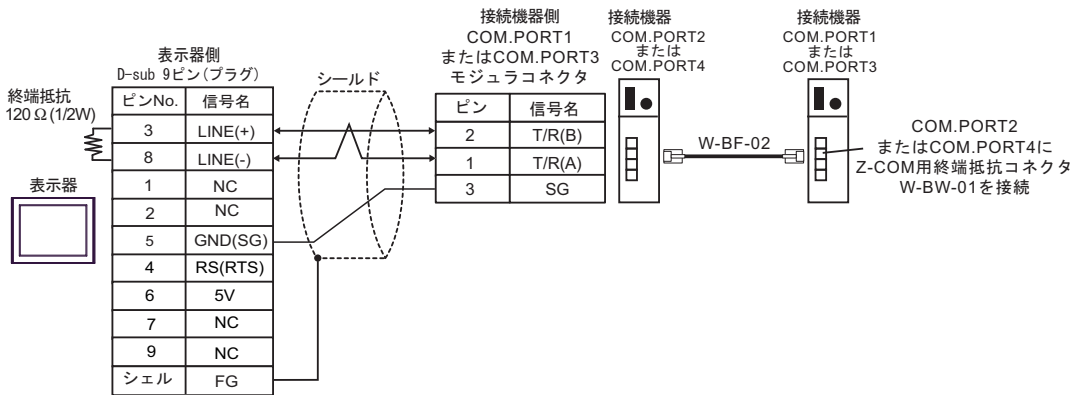
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

15H)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続



重要

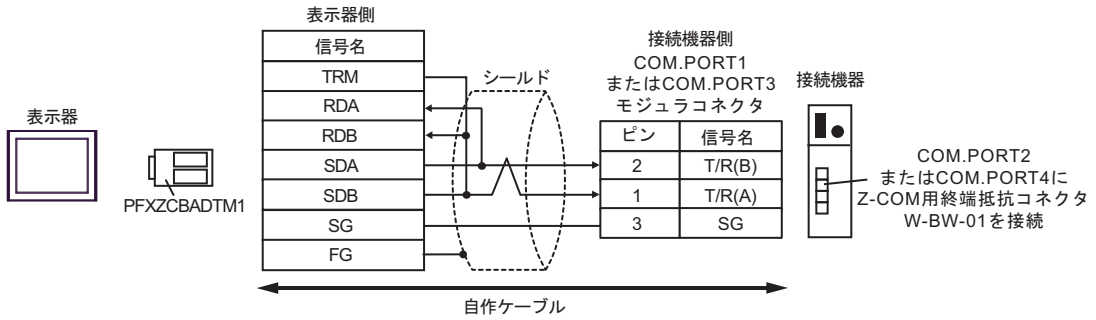
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

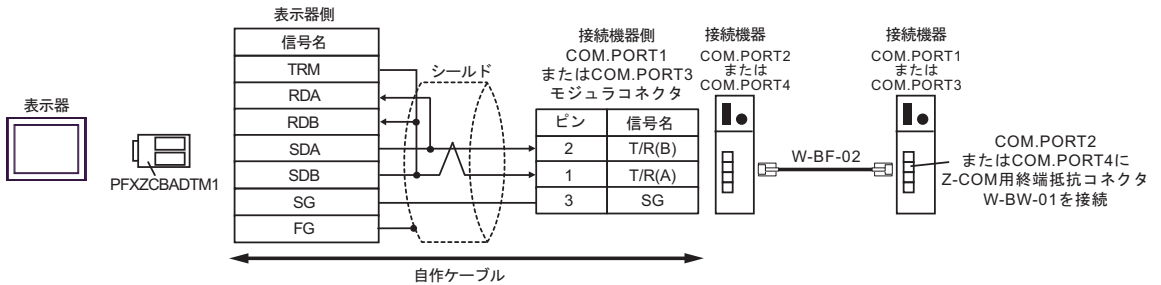
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製TM4P-66Pを推奨します。
- 接続機器のCOM.PORTはCOM.PORT1とCOM.PORT2、COM.PORT3とCOM.PORT4の組み合わせで使用してください。
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

15I)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続

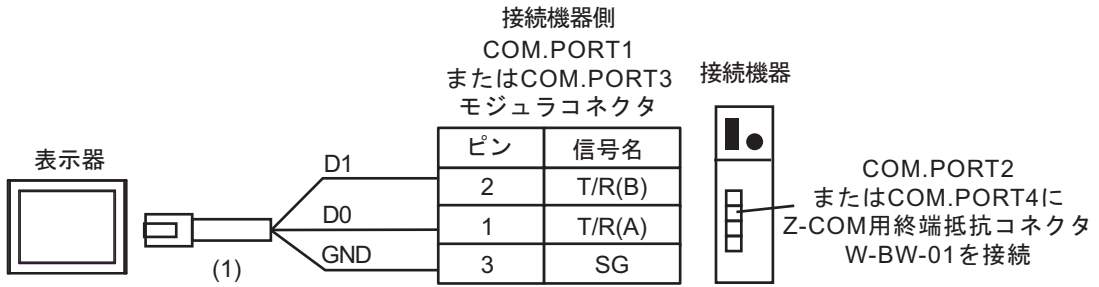


MEMO

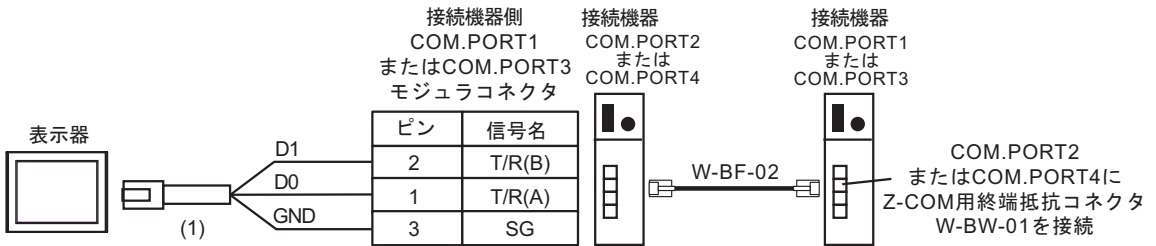
- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

15J)

- 1 : 1 接続



- 1 : n 接続



MEMO

- モジュラコネクタとしてヒロセ電機株式会社製 TM4P-66P を推奨します。
- 接続機器の COM.PORT は COM.PORT1 と COM.PORT2、COM.PORT3 と COM.PORT4 の組み合わせで使用してください。

番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。



1. チャンネル番号 接続機器のチャンネル番号を選択します。
SR Mini HG(H-PCP-A/B)、SR Mini HG(H-PCP-J)、SRZ(Z-TIO)、SRZ(Z-DIO)、SRZ(Z-CT)、SRZ(Z-COM) を使用した場合には選択できます。
2. 参照 使用できる識別子のリストを表示します。
使用する識別子をクリックして「選択」を押すと、アドレスが入力されます。
3. アドレス アドレスを設定します。
識別子とアドレスの組み合わせは接続機器によって異なります。識別子一覧を参照してください。
4. 小数点桁数 データの小数点桁数を設定します。

■ 読み出しの場合

調節計から読み出したデータは整数として扱います。

例) 調節計の値が 100.0 の場合

調節計の値	: 100.0
表示器で表示する値	: 1000

数値表示で小数点を表示する場合は、「表示データ形式」の「小数点桁数」を設定します。例の場合は小数点 1 桁目なので、「1」を設定します。

例) 調節計の値が 100.0 の場合

調節計の値	: 100.0
表示器で表示する値	: 100.0

小数点位置は指定するアドレスによって内部的に処理されます。

デバイス一覧のアドレスのまま指定	: 小数点位置なし
デバイス一覧のアドレスに 0x1000 を加算した値を指定	: 小数点位置 1 桁
デバイス一覧のアドレスに 0x2000 を加算した値を指定	: 小数点位置 2 桁
デバイス一覧のアドレスに 0x3000 を加算した値を指定	: 小数点位置 3 桁

GP のデータはアドレス指定方法によって次のようになります。

調節計のデータ	表示器のデータ			
	アドレスのまま指定	アドレスに 0x1000 を加算して指定	アドレスに 0x2000 を加算して指定	アドレスに 0x3000 を加算して指定
123	123	1230	12300	23000
123.4	123	1234	12340	23400
12.34	12	123	1234	12340
1.234	1	12	123	1234

- * アドレスの指定方法と調節計のデータの小数点位置が一致しない場合、指定したアドレスの小数点桁数で切り捨て、または0を付加します。
データが10進表記で6桁以上の場合、上位桁を切り捨てたデータとなります。

■ 書き込みの場合

調節計への書き込みは設定する値を整数で設定します。小数点位置は指定するアドレスによって内部的に処理されます。

- デバイス一覧のアドレスのまま指定 : 小数点位置なし
- デバイス一覧のアドレスに 0x1000 を加算した値を指定 : 小数点位置 1 桁
- デバイス一覧のアドレスに 0x2000 を加算した値を指定 : 小数点位置 2 桁
- デバイス一覧のアドレスに 0x3000 を加算した値を指定 : 小数点位置 3 桁

例 1) CB シリーズの第 1 警報設定 (A1) に 100.0 を書き込む場合

表示器で設定するアドレス値 : 0x1007

表示器で設定する書き込み値 : 1000

例 2) CB シリーズの第 1 警報設定 (A1) に 100 を書き込む場合

表示器で設定するアドレス値 : 0x0007

表示器で設定する書き込み値 : 100

調節計に書き込むデータはアドレス指定方法によって次のようになります。

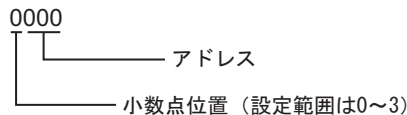
表示器のデータ	調節計に書き込むデータ			
	アドレスのまま指定	アドレスに 0x1000 を加算して指定	アドレスに 0x2000 を加算して指定	アドレスに 0x3000 を加算して指定
1	1	0.1	0.01	0.001
123	123	12.3	1.23	0.123
1234	1234	123.4	12.34	1.234

- * アドレスの指定方法と調節計のデータの小数点位置が一致しない場合、指定したアドレスの小数点桁数で切り捨て、または0を付加します。

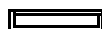
各識別子の設定値範囲や小数点位置の詳細については、理化工業 (株) 製調節計の通信取扱説明書をご参照ください。

MEMO

- 小数点位置はデバイス文字列とともに保存されます。



6.1 CB シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-0038.F	0000-0038	L/H	※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	21	XB	第2 警報
01	M2	電流検出器入力 1	22	CA	制御動作タイプの種類選択
02	M3	電流検出器入力 2	23	Z1	励磁 / 非励磁警報の選択
03	AA	第 1 警報状態	24	Z2	特殊仕様の選択 2
04	AB	第 2 警報状態	25	Z3	特殊仕様の選択 3
05	B1	バーンアウト	26	DH	オプションの選択
06	S1	設定値 (SV)	27	XC	SV 値警報の種類選択
07	A1	第 1 警報設定	28	XV	設定リミッタ上限
08	A2	第 2 警報設定	29	XW	設定リミッタ下限
09	A3	ヒータ断線警報 1 設定	2A	XU	小数点位置設定
0A	A4	ヒータ断線警報 2 設定	2B	MH	二位置動作の動作すきま設定
0B	A5	制御ループ断線警報設定	2C	HA	第 1 警報の動作すきま設定
0C	A6	LBA デッドバンド	2D	HB	第 2 警報の動作すきま設定
0D	G1	オートチューニング (AT)	2E	XR	CT レシオ設定
0E	G2	セルフチューニング (ST)	2F	F1	デジタルフィルタの設定
0F	P1	加熱側比例帯	30	GH	安定判断時間係数
10	I1	積分時間	31	PU	比例帯算出係数
11	D1	微分時間	32	IU	積分時間算出係数
12	W1	アンチリセットワインドアップ	33	IL	積分値リミッタ
13	T0	加熱側比例周期	34	HP	周辺温度ピークホールド
14	P2	冷却側比例帯	35	UT	稼働時間表示 (上位)
15	V1	デッドバンド	36	UU	稼働時間表示 (下位)
16	T1	冷却側比例周期	37	EB	EEPROM モード
17	PB	PV バイアス	38	EM	EEPROM ステータス
18	LK	設定データロック			
19	SR	RUN/STOP 機能			
1A	ER	エラーコード			
1B	IO	イニシャルセットモード切換			
1C	IP	コード (COD) 設定			
1D	XI	入力の種類選択			
1E	XQ	冷却方法の種類選択			
1F	LV	ヒータ断線警報			
20	XA	第 1 警報			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.2 FB シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-00CF.1F	0000-00CF	L/H	※1 ※2 ※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV) モニタ	29	CA	制御応答パラメータ
01	M3	電流検出器 1 (CT1) 入力値モニタ	2A	P2	比例帯 [冷却側]
02	M4	電流検出器 2 (CT2) 入力値モニタ	2B	I2	積分時間 [冷却側]
03	MS	設定値 (SV) モニタ	2C	D2	微分時間 [冷却側]
04	S2	リモート設定 (RS) 入力値モニタ	2D	V1	オーバーラップ/デッドバンド
05	B1	バーニアウト状態モニタ	2E	MR	マニュアルリセット
06	B2	開度帰還抵抗入力バーニアウト状態モニタ	2F	HH	設定変化率リミッタ上昇
07	AA	イベント 1 状態モニタ	30	HL	設定変化率リミッタ下降
08	AB	イベント 2 状態モニタ	31	TM	エリアソーク時間
09	AC	イベント 3 状態モニタ	32	LP	リンク先エリア番号
0A	AD	イベント 4 状態モニタ	33	A7	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 設定値
0B	AE	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 状態モニタ	34	NE	ヒータ断線判断点 1
0C	AF	ヒータ断線警報 2 (HBA2) 状態モニタ	35	NF	ヒータ溶着判断点 1
0D	O1	操作出力値 (MV1) モニタ [加熱側]	36	A8	ヒータ断線警報 2 (HBA2) 設定値
0E	O2	操作出力値 (MV2) モニタ [冷却側]	37	NH	ヒータ断線判断点 2
0F	ER	エラーコード	38	NI	ヒータ溶着判断点 2
10	L1	デジタル入力 (DI) 状態モニタ	39	PB	PV バイアス
11	Q1	出力状態モニタ	3A	F1	PV デジタルフィルタ
12	L0	運転モード状態モニタ	3B	PR	PV レシオ
13	TR	メモリエリア運転経過時間モニタ	3C	DP	PV 低入力カットオフ
14	UT	積算稼働時間モニタ	3D	RB	RS バイアス
15	Hp	周囲温度ピークホールド値モニタ	3E	F2	RS デジタルフィルタ
16	HM	パワーフィードフォワード入力値モニタ	3F	PR	RS レシオ
17	EM	バックアップメモリ状態モニタ	40	T0	比例周期 [加熱側]
18	VR	ROM バージョンモニタ (1-4 英数字)	41	T1	比例周期 [冷却側]
19	G1	PID/AT 切換	42	ON	マニュアル操作出力値
1A	J1	オート/マニュアル切換	43	LK	設定ロックレベル
1B	C1	リモート/ローカル切換	44	DX	STOP 表示位置
1C	SR	RUN/STOP 切換	45	DA	バーグラフ表示
1D	ZA	メモリエリア切換	46	DE	バーグラフ表示分解能
1E	IL	インターロック解除	47	DK	ダイレクトキー 1
1F	A1	イベント 1 設定値	48	DL	ダイレクトキー 2
20	A2	イベント 2 設定値	49	DM	ダイレクトキー 3
21	A3	イベント 3 設定値	4A	DN	ダイレクトキータイプ選択
22	A4	イベント 4 設定値	4B	XI	入力種類
23	A5	制御ループ断線警報 (LBA) 時間	4C	PU	表示単位
24	N1	LBA デッドバンド	4D	XU	小数点位置
25	S1	設定値 (SV)	4E	XV	入力スケール上限
26	P1	比例帯 [加熱側]	4F	XW	入力スケール下限
27	I1	積分時間 [加熱側]	50	AV	入力異常判断点上限
28	D1	微分時間 [加熱側]	51	AW	入力異常判断点下限

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
52	BS	バーンアウト方向	7B	OD	入力異常時のイベント4動作
53	XH	開平演算	7C	XS	CT1 レシオ
54	JT	電源周波数	7D	ZF	CT1 割付
55	TZ	サンプリング周期	7E	ND	ヒータ断線警報1 (HBA1) 種類
56	XR	リモート設定入力種類	7F	DH	ヒータ断線警報1 (HBA1) 遅延回数
57	H2	デジタル入力 (DI) 割付	80	XT	CT2 レシオ
58	E0	出力割付	81	ZG	CT2 割付
59	TH	タイマ1	82	NG	ヒータ断線警報2 (HBA2) 種類
5A	TI	タイマ2	83	DF	ヒータ断線警報2 (HBA2) 遅延回数
5B	TJ	タイマ3	84	XN	ホット/コールドスタート
5C	TK	タイマ4	85	SX	スタート判断点
5D	NA	励磁/非励磁	86	KM	外部入力種類
5E	LY	警報ランプ点灯条件1	87	MC	マスタチャネル選択
5F	LZ	警報ランプ点灯条件2	88	XL	SV トラッキング
60	SS	STOP 時の出力状態	89	OT	MV 転送機能
61	LA	伝送出力種類	8A	XE	制御動作
62	HV	伝送出力スケール上限	8B	PK	積分/微分時間の小数点位置
63	HW	伝送出力スケール下限	8C	KA	微分項演算係数
64	XA	イベント1種類	8D	KB	アンダーシュート抑制係数
65	WA	イベント1待機動作	8E	DG	微分ゲイン
66	LF	イベント1インターロック	8F	IV	二位置動作すきま上側
67	HA	イベント1動作すきま	90	IW	二位置動作すきま下側
68	TD	イベント1遅延タイマ	91	WH	入力異常時動作上限
69	OA	入力異常時のイベント1動作	92	WL	入力異常時動作下限
6A	XB	イベント2種類	93	OE	入力異常時の操作出力値
6B	WB	イベント2待機動作	94	OF	STOP 時の操作出力値 (MV1) [加熱側]
6C	LG	イベント2インターロック	95	OG	STOP 時の操作出力値 (MV2) [冷却側]
6D	HB	イベント2動作すきま	96	PH	出力変化率リミッタ上昇 (MV1)
6E	TG	イベント2遅延タイマ	97	PL	出力変化率リミッタ下降 (MV1)
6F	OB	入力異常時のイベント2動作	98	OH	出力リミッタ上限 (MV1)
70	XC	イベント3種類	99	OL	出力リミッタ下限 (MV1)
71	WC	イベント3待機動作	9A	PX	出力変化率リミッタ上昇 (MV2)
72	LH	イベント3インターロック	9B	PY	出力変化率リミッタ下降 (MV2)
73	HC	イベント3動作すきま	9C	OX	出力リミッタ上限 (MV2)
74	TE	イベント3遅延タイマ	9D	OY	出力リミッタ下限 (MV2)
75	OC	入力異常時のイベント3動作	9E	PF	パワーフィードフォワード選択
76	XD	イベント4種類	9F	PZ	パワーフィードフォワードゲイン
77	WD	イベント4待機動作	A0	GB	AT バイアス
78	LI	イベント4インターロック	A1	G3	AT サイクル
79	HD	イベント4動作すきま	A2	OP	AT オン出力値
7A	TF	イベント4遅延タイマ	A3	OQ	AT オフ出力値

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
A4	GH	AT 動作すきま時間	BA	FV	開度調整
A5	KC	比例帯調整係数 [加熱側]	BB	TN	コントロールモータ時間
A6	KD	積分時間調整係数 [加熱側]	BC	OI	コントロールモータ積算出力リミッタ
A7	KE	微分時間調整係数 [加熱側]	BD	VS	STOP 時のバルブ動作
A8	KF	比例帯調整係数 [冷却側]	BE	ST	スタートアップチューニング (ST)
A9	KG	積分時間調整係数 [冷却側]	BF	KI	ST 比例帯調整係数
AA	KH	微分時間調整係数 [冷却側]	C0	KJ	ST 積分時間調整係数
AB	P6	比例帯リミッタ上限 [加熱側]	C1	KK	ST 微分時間調整係数
AC	P7	比例帯リミッタ下限 [加熱側]	C2	SU	ST 起動条件選択
AD	I6	積分時間リミッタ上限 [加熱側]	C3	Y7	自動昇温グループ
AE	I7	積分時間リミッタ下限 [加熱側]	C4	Y8	自動昇温学習
AF	D6	微分時間リミッタ上限 [加熱側]	C5	RT	自動昇温むだ時間
B0	D7	微分時間リミッタ下限 [加熱側]	C6	R2	自動昇温傾斜データ
B1	P8	比例帯リミッタ上限 [冷却側]	C7	GQ	RUN/STOP グループ
B2	P9	比例帯リミッタ下限 [冷却側]	C8	HU	設定変化率リミッタ単位時間
B3	I8	積分時間リミッタ上限 [冷却側]	C9	RU	ソーク時間単位
B4	I9	積分時間リミッタ下限 [冷却側]	CA	SH	設定リミッタ上限
B5	D8	微分時間リミッタ上限 [冷却側]	CB	SL	設定リミッタ下限
B6	D9	微分時間リミッタ下限 [冷却側]	CC	TS	PV 転送機能
B7	V2	開閉出力中立帯	CD	DU	入力異常時の PV 点減表示
B8	VH	開閉出力動作すきま	CE	VR	ROM バージョンモニタ (1-4 英数字)
B9	SY	開度帰還抵抗 (FBR) 入力断線時の動作	CF	VR	ROM バージョンモニタ (5-8 英数字)

重要


- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用エリア）」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.3 HA シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-00E8.1F	0000-00E8	L/H	※1 ※2 ※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	入力1の測定値 (PV1)	29	I1	入力1の積分時間
01	M0	入力2の測定値 (PV2)	2A	D1	入力1の微分時間
02	M2	開度帰還抵抗入力値モニタ	2B	CA	入力1の制御応答パラメータ
03	M3	電流検出器入力値1 (CT1) モニタ	2C	S0	入力2の設定値 (SV2)
04	M4	電流検出器入力値2 (CT2) モニタ	2D	P0	入力2の比例帯
05	MS	入力1の設定値 (SV1) モニタ	2E	I0	入力2の積分時間
06	MT	入力2の設定値 (SV2) モニタ	2F	D0	入力2の微分時間
07	S2	リモート入力値モニタ	30	C9	入力2の制御応答パラメータ
08	KH	カスケードモニタ	31	HH	入力1の設定変化率リミッタ上昇
09	B1	入力1のバーンアウト状態	32	HL	入力1の設定変化率リミッタ下降
0A	B0	入力2のバーンアウト状態	33	HX	入力2の設定変化率リミッタ上昇
0B	B2	開度帰還抵抗入力のバーンアウト状態	34	HY	入力2の設定変化率リミッタ下降
0C	AA	イベント1状態	35	TM	エリアソーク時間
0D	AB	イベント2状態	36	LP	リンク先エリア番号
0E	AC	イベント3状態	37	A7	ヒータ断線警報1 (HBA1) 設定値
0F	AD	イベント4状態	38	A8	ヒータ断線警報2 (HBA2) 設定値
10	AE	ヒータ断線警報1 (HBA1) 状態	39	PB	入力1のPVバイアス
11	AF	ヒータ断線警報2 (HBA2) 状態	3A	F1	入力1のPVデジタルフィルタ
12	O1	入力1の操作出力値 (MV1)	3B	PR	入力1のPVレシオ
13	O0	入力2の操作出力値 (MV2)	3C	DP	入力1のPV低入力カットオフ
14	ER	エラーコード	3D	T0	入力1の比例周期
15	L1	イベント入力 (DI) 状態	3E	ON	入力1のマニュアル出力値
16	L0	運転モード状態	3F	PA	入力2のPVバイアス
17	TR	メモリエリア運転経過時間モニタ	40	F0	入力2のPVデジタルフィルタ
18	G1	入力1のPID/AT切換	41	PQ	入力2のPVレシオ
19	G0	入力2のPID/AT切換	42	DO	入力2のPV低入力カットオフ
1A	J1	入力1のオート/マニュアル切換	43	T2	入力2の比例周期
1B	J0	入力2のオート/マニュアル切換	44	OM	入力2のマニュアル出力値
1C	C1	リモート/ローカル切換	45	LK	設定ロックレベル
1D	SR	RUN/STOP切換	46	EM	EEPROMステータス
1E	ZA	メモリエリア切換	47	EB	EEPROMモード
1F	A1	イベント1設定値	48	NE	ヒータ断線判断点1
20	A2	イベント2設定値	49	NF	ヒータ溶着判断点1
21	A3	イベント3設定値	4A	NH	ヒータ断線判断点2
22	A5	制御ループ断線警報1(LBA1)時間	4B	NI	ヒータ溶着判断点2
23	N1	LBA1デッドバンド	4C	HP	不使用
24	A4	イベント4設定値	4D	HQ	不使用
25	A6	制御ループ断線警報2(LBA2)時間	4E	HR	不使用
26	N2	LBA2デッドバンド	4F	FP	不使用
27	S1	入力1の設定値 (SV1)	50	FQ	不使用
28	P1	入力1の比例帯	51	FR	不使用

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
52	IL	不使用	7B	LC	伝送出力3種類選択
53	AZ	不使用	7C	EV	伝送出力3スケール上限
54	FS	不使用	7D	EW	伝送出力3スケール下限
55	DX	STOP表示選択	7E	XA	イベント1種類選択
56	DA	バーグラフ表示選択	7F	WA	イベント1待機動作
57	DE	バーグラフ分解能設定	80	HA	イベント1動作すきま
58	DK	オート/マニュアル切換キー操作選択(A/M)	81	OA	イベント1入力異常時の動作
59	DL	リモート/ローカル切換キー操作選択(R/L)	82	FA	イベント1割付
5A	DM	RUN/STOP 切換キー操作選択(R/S)	83	XB	イベント2種類選択
5B	XI	入力1の入力種類選択	84	WB	イベント2待機動作
5C	PU	入力1の表示単位選択	85	HB	イベント2動作すきま
5D	XU	入力1の小数点位置選択	86	OB	イベント2入力異常時の動作
5E	XV	入力1の入カスケール上限	87	FB	イベント2割付
5F	XW	入力1の入カスケール下限	88	XC	イベント3種類選択
60	AV	入力1の入力異常判断点上限	89	WC	イベント3待機動作
61	AW	入力1の入力異常判断点下限	8A	HC	イベント3動作すきま
62	BS	入力1のバーンアウト方向	8B	OC	イベント3入力異常時の動作
63	XH	入力1の開平演算有無選択	8C	FC	イベント3割付
64	JT	電源周波数選択	8D	XD	イベント4種類選択
65	XJ	入力2の入力種類選択	8E	WD	イベント4待機動作
66	PT	入力2の表示単位選択	8F	HD	イベント4動作すきま
67	XT	入力2の小数点位置選択	90	OD	イベント4入力異常時の動作
68	XX	入力2の入カスケール上限	91	FD	イベント4割付
69	XY	入力2の入カスケール下限	92	XR	CT1 レシオ
6A	AX	入力2の入力異常判断点上限	93	ZF	CT1 割付
6B	AY	入力2の入力異常判断点下限	94	XS	CT2 レシオ
6C	BR	入力2のバーンアウト方向	95	ZG	CT2 割付
6D	XG	入力2の開平演算有無選択	96	XN	ホット/コールドスタート選択
6E	H2	イベント入力論理選択	97	KM	入力2の用途選択
6F	E0	出力論理選択	98	RR	カスケードレシオ
70	TD	出力1タイマ設定	99	RB	カスケードバイアス
71	TG	出力2タイマ設定	9A	XL	SVトラッキングの有無選択
72	TH	出力3タイマ設定	9B	XE	入力1の制御動作選択
73	TI	出力4タイマ設定	9C	PK	入力1の積分/微分時間の小数点位置選択
74	TJ	出力5タイマ設定	9D	DG	入力1の微分ゲイン
75	LA	伝送出力1種類選択	9E	IV	入力1の二位置動作すきま上側
76	HV	伝送出力1スケール上限	9F	IW	入力1の二位置動作すきま下側
77	HW	伝送出力1スケール下限	A0	WH	入力1の入力異常時動作選択上限
78	LB	伝送出力2種類選択	A1	WL	入力1の入力異常時動作選択下限
79	CV	伝送出力2スケール上限	A2	OE	入力1の入力異常時の操作出力値
7A	CW	伝送出力2スケール下限	A3	PH	入力1の出力変化率リミッタ上昇

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
A4	PL	入力1の出力変化率リミッタ下降	C7	Hp	周囲温度ピークホールド値
A5	OH	入力1の出力リミッタ上限	C8	HM	パワーフィードトランス入力値
A6	OL	入力1の出力リミッタ下限	C9	VG	開度帰還抵抗 (FBR) 入力割付
A7	PF	入力1のパワーフィードフォワードの有無選択	CA	PZ	入力1のパワーフィードフォワードゲイン
A8	XF	入力2の制御動作選択	CB	PW	入力2のパワーフィードフォワードゲイン
A9	PJ	入力2の積分/微分時間の小数点位置選択	CC	ND	ヒータ断線警報1 (HBA1) 機能選択
AA	DJ	入力2の微分ゲイン	CD	DH	ヒータ断線警報1 (HBA1) 遅延回数
AB	IX	入力2の二位置動作すきま上側	CE	NG	ヒータ断線警報2 (HBA2) 機能選択
AC	IY	入力2の二位置動作すきま下側	CF	DF	ヒータ断線警報2 (HBA2) 遅延回数
AD	WX	入力2の入力異常時動作選択上限	D0	LY	警報ランプ点灯条件設定1
AE	WY	入力2の入力異常時動作選択下限	D1	LZ	警報ランプ点灯条件設定2
AF	OF	入力2の入力異常時の操作出力値	D2	HT	不使用
B0	PX	入力2の出力変化率リミッタ上昇	D3	FT	不使用
B1	PY	入力2の出力変化率リミッタ下降	D4	OG	不使用
B2	OX	入力2の出力リミッタ上限	D5	LI	不使用
B3	OY	入力2の出力リミッタ下限	D6	OR	不使用
B4	PG	入力2のパワーフィードフォワードの有無選択	D7	TS	不使用
B5	GB	入力1の AT バイアス	D8	US	不使用
B6	G3	入力1の AT サイクル	D9	RH	不使用
B7	GH	入力1の AT 動作すきま時間	DA	RL	不使用
B8	GA	入力2の AT バイアス	DB	RP	不使用
B9	G2	入力2の AT サイクル	DC	JI	不使用
BA	GG	入力2の AT 動作すきま時間	DD	JJ	不使用
BB	V2	開閉出力中立帯	DE	OI	不使用
BC	VH	開閉出力動作すきま	DF	OJ	不使用
BD	SY	開度帰還抵抗 (FBR) 入力断線時の動作選択	E0	QA	不使用
BE	FV	開度調整	E1	OT	不使用
BF	HU	設定変化率リミッタ単位時間設定	E2	OU	不使用
C0	RU	ソーク時間単位選択	E3	MY	不使用
C1	SH	入力1の設定リミッタ上限	E4	NY	不使用
C2	SL	入力1の設定リミッタ下限	E5	MZ	不使用
C3	ST	入力2の設定リミッタ上限	E6	NZ	不使用
C4	SU	入力2の設定リミッタ下限	E7	VR	ROM バージョン (1-4 英数字)
C5	VR	ROM バージョン (1-4 英数字)	E8	VR	ROM バージョン (5-7 英数字)
C6	UT	積算稼働時間	-	-	-

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.4 MA シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-002A.F	0000-002A	L/H	※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	16	I1	積分時間
01	M2	電流検出器 1 測定値	17	D1	微分時間
02	M3	電流検出器 2 測定値	18	W1	アンチリセットワインドアップ
03	MS	設定値モニタ	19	V1	オーバーラップ/デッドバンド
04	B1	バーンアウト状態	1A	HH	設定変化率リミッタ
05	AA	第 1 警報状態	1B	EI	チャンネルの使用/不使用
06	AB	第 2 警報状態	1C	SR	RUN/STOP 切換
07	AC	第 3 警報状態	1D	G1	PID/AT 切換
08	AJ	出力状態	1E	PB	PV バイアス
09	O1	操作出力値	1F	F1	デジタルフィルタ
0A	O2	冷却側操作出力値	20	T0	比例周期
0B	ER	エラーコード	21	T1	冷却側比例周期
0C	L1	DI 状態	22	TL	スキャンインターバル時間
0D	ZA	メモリエリア番号切換	23	IP	デバイスアドレス
0E	S1	設定値 (SV)	24	IR	通信速度
0F	A1	第 1 警報	25	IQ	データビット構成
10	N1	制御ループ断線警報デッドバンド (LBD)	26	IT	インターバル時間
11	A2	第 2 警報	27	EB	EEPROM 保存モード
12	N2	ヒータ断線警報 2 (HBA2)	28	EM	EEPROM 保存状態
13	A3	第 3 警報	29	LK	ロックレベル 1
14	P1	比例帯	2A	LL	ロックレベル 2
15	P2	冷却側比例帯	-	-	-

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.5 SRV シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-0085.1F	0000-0085	L/H	※1 ※2 ※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1(ch1)	CH1 測定値 (PV)	29	PB(ch1)	CH1 PV バイアス
01	M1(ch2)	CH2 測定値 (PV)	2A	PB(ch2)	CH2 PV バイアス
02	AJ(ch1)	CH1 総合イベント状態	2B	A1(ch1)	CH1 第1 イベント設定値
03	AJ(ch2)	CH2 総合イベント状態	2C	A1(ch2)	CH2 第1 イベント設定値
04	B1(ch1)	CH1 パーンアウト状態	2D	A2(ch1)	CH1 第2 イベント設定値
05	B1(ch2)	CH2 パーンアウト状態	2E	A2(ch2)	CH2 第2 イベント設定値
06	AA(ch1)	CH1 第1 イベント状態	2F	EI(ch1)	CH1 運転モード
07	AA(ch2)	CH2 第1 イベント状態	30	EI(ch2)	CH2 運転モード
08	AB(ch1)	CH1 第2 イベント状態	31	G1(ch1)	CH1 PID/AT 切換
09	AB(ch2)	CH2 第2 イベント状態	32	G1(ch2)	CH2 PID/AT 切換
0A	AC(ch1)	CH1 ヒータ断線警報 (HBA) 状態	33	J1(ch1)	CH1 オート/マニュアル切換
0B	AC(ch2)	CH2 ヒータ断線警報 (HBA) 状態	34	J1(ch2)	CH2 オート/マニュアル切換
0C	AP(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) 状態	35	ON(ch1)	CH1 マニュアル出力値
0D	AP(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) 状態	36	ON(ch2)	CH2 マニュアル出力値
0E	O1(ch1)	CH1 加熱側操作出力値	37	OH(ch1)	CH1 出力リミッタ上限
0F	O1(ch2)	CH2 加熱側操作出力値	38	OH(ch2)	CH2 出力リミッタ上限
10	O2(ch1)	CH1 冷却側操作出力値	39	OL(ch1)	CH1 出力リミッタ下限
11	O2(ch2)	CH2 冷却側操作出力値	3A	OL(ch2)	CH2 出力リミッタ下限
12	M3(ch1)	CH1 CT 入力測定値	3B	T0(ch1)	CH1 加熱側比例周期
13	M3(ch2)	CH2 CT 入力測定値	3C	T0(ch2)	CH2 加熱側比例周期
14	MS(ch1)	CH1 設定値モニタ	3D	T1(ch1)	CH1 冷却側比例周期
15	MS(ch2)	CH2 設定値モニタ	3E	T1(ch2)	CH2 冷却側比例周期
16	ER	エラーコード	3F	F1(ch1)	CH1 デジタルフィルタ
17	HE(ch1)	CH1 昇温完了状態	40	F1(ch2)	CH2 デジタルフィルタ
18	HE(ch2)	CH2 昇温完了状態	41	A3(ch1)	CH1 ヒータ断線警報 (HBA) 設定値
19	S1(ch1)	CH1 設定値 (SV)	42	A3(ch2)	CH2 ヒータ断線警報 (HBA) 設定値
1A	S1(ch2)	CH2 設定値 (SV)	43	DH(ch1)	CH1 ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数
1B	P1(ch1)	CH1 加熱側比例帯	44	DH(ch2)	CH2 ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数
1C	P1(ch2)	CH2 加熱側比例帯	45	SR	制御開始/停止切換
1D	P2(ch1)	CH1 冷却側比例帯	46	AV(ch1)	CH1 入力異常判断点上限
1E	P2(ch2)	CH2 冷却側比例帯	47	AV(ch2)	CH2 入力異常判断点上限
1F	I1(ch1)	CH1 積分時間	48	AW(ch1)	CH1 入力異常判断点下限
20	I1(ch2)	CH2 積分時間	49	AW(ch2)	CH2 入力異常判断点下限
21	D1(ch1)	CH1 微分時間	4A	WH(ch1)	CH1 入力異常時動作選択上限
22	D1(ch2)	CH2 微分時間	4B	WH(ch2)	CH2 入力異常時動作選択上限
23	CA(ch1)	CH1 制御応答指定パラメータ	4C	WL(ch1)	CH1 入力異常時動作選択下限
24	CA(ch2)	CH2 制御応答指定パラメータ	4D	WL(ch2)	CH2 入力異常時動作選択下限
25	V1(ch1)	CH1 オーバーラップ/デッドバンド	4E	OE(ch1)	CH1 入力異常時の操作出力値
26	V1(ch2)	CH2 オーバーラップ/デッドバンド	4F	OE(ch2)	CH2 入力異常時の操作出力値
27	HH(ch1)	CH1 設定変化率リミッタ	50	GH(ch1)	CH1 AT 動作すきま時間
28	HH(ch2)	CH2 設定変化率リミッタ	51	GH(ch2)	CH2 AT 動作すきま時間

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
52	GB(ch1)	CH1 AT バイアス	6C	XU(ch1)	CH1 入力レンジ小数点位置
53	GB(ch2)	CH2 AT バイアス	6D	XU(ch2)	CH2 入力レンジ小数点位置
54	XH	イベント LED モード設定	6E	PU(ch1)	CH1 温度単位選択
55	HP(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) 使用選択	6F	PU(ch2)	CH2 温度単位選択
56	HP(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) 使用選択	70	XE(ch1)	CH1 制御の種類
57	C6(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) 時間	71	XE(ch2)	CH2 制御の種類
58	C6(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) 時間	72	IV(ch1)	CH1 二位置動作すきま上側
59	V2(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) デッドバンド	73	IV(ch2)	CH2 二位置動作すきま上側
5A	V2(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) デッドバンド	74	IW(ch1)	CH1 二位置動作すきま下側
5B	E1	DI 設定	75	IW(ch2)	CH2 二位置動作すきま下側
5C	L1	DI 状態	76	HA(ch1)	CH1 第1 イベント動作すきま
5D	QA	DO1 設定	77	HA(ch2)	CH2 第1 イベント動作すきま
5E	QB	DO2 設定	78	HB(ch1)	CH1 第2 イベント動作すきま
5F	Q1	DO 状態	79	HB(ch2)	CH2 第2 イベント動作すきま
60	AR	イベントインターロック解除	7A	XA(ch1)	CH1 第1 イベントの種類
61	HD(ch1)	CH1 昇温完了範囲	7B	XA(ch2)	CH2 第1 イベントの種類
62	HD(ch2)	CH2 昇温完了範囲	7C	XB(ch1)	CH1 第2 イベントの種類
63	T3(ch1)	CH1 昇温完了ソーク時間	7D	XB(ch2)	CH2 第2 イベントの種類
64	T3(ch2)	CH2 昇温完了ソーク時間	7E	WA(ch1)	CH1 第1 イベント動作
65	IN	イニシャルセットモード	7F	WA(ch2)	CH2 第1 イベント動作
66	XI(ch1)	CH1 入力レンジ番号	80	WB(ch1)	CH1 第2 イベント動作
67	XI(ch2)	CH2 入力レンジ番号	81	WB(ch2)	CH2 第2 イベント動作
68	XV(ch1)	CH1 入力スケール上限	82	TD(ch1)	CH1 イベント遅延タイマ
69	XV(ch2)	CH2 入力スケール上限	83	TD(ch2)	CH2 イベント遅延タイマ
6A	XW(ch1)	CH1 入力スケール下限	84	ZX	送信切換時間設定
6B	XW(ch2)	CH2 入力スケール下限	85	X2	運転モード保持設定

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.6 SRX シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-008C.1F	0000-008C	L/H	※1 ※2 ※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1(ch1)	CH1 測定値 (PV)	29	J1(ch1)	CH1 オート/マニュアル切換
01	M1(ch2)	CH2 測定値 (PV)	2A	J1(ch2)	CH2 オート/マニュアル切換
02	AJ(ch1)	CH1 総合イベント状態	2B	ON(ch1)	CH1 マニュアル出力値
03	AJ(ch2)	CH2 総合イベント状態	2C	ON(ch2)	CH2 マニュアル出力値
04	B1(ch1)	CH1 バーンアウト状態	2D	OH(ch1)	CH1 出力リミッタ上限
05	B1(ch2)	CH2 バーンアウト状態	2E	OH(ch2)	CH2 出力リミッタ上限
06	AA(ch1)	CH1 第1イベント状態	2F	OL(ch1)	CH1 出力リミッタ下限
07	AA(ch2)	CH2 第1イベント状態	30	OL(ch2)	CH2 出力リミッタ下限
08	AB(ch1)	CH1 第2イベント状態	31	T0(ch1)	CH1 比例周期
09	AB(ch2)	CH2 第2イベント状態	32	T0(ch2)	CH2 比例周期
0A	AC(ch1)	CH1 ヒータ断線警報 (HBA) 状態	33	F1(ch1)	CH1 デジタルフィルタ
0B	AC(ch2)	CH2 ヒータ断線警報 (HBA) 状態	34	F1(ch2)	CH2 デジタルフィルタ
0C	AP(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) 状態	35	A3(ch1)	CH1 ヒータ断線警報 (HBA) 設定値
0D	AP(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) 状態	36	A3(ch2)	CH2 ヒータ断線警報 (HBA) 設定値
0E	O1(ch1)	CH1 操作出力値	37	DH(ch1)	CH1 ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数
0F	O1(ch2)	CH2 操作出力値	38	DH(ch2)	CH2 ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数
10	M3(ch1)	CH1 CT 入力測定値	39	XN(ch1)	CH1 ホット/コールドスタート選択
11	M3(ch2)	CH2 CT 入力測定値	3A	XN(ch2)	CH2 ホット/コールドスタート選択
12	MS(ch1)	CH1 設定値モニタ	3B	SX(ch1)	CH1 スタート判断点
13	MS(ch2)	CH1 設定値モニタ	3C	SX(ch2)	CH2 スタート判断点
14	ER	エラーコード	3D	SR	制御開始/停止切換
15	S1(ch1)	CH1 設定値 (SV)	3E	AV(ch1)	CH1 入力異常判断点上限
16	S1(ch2)	CH2 設定値 (SV)	3F	AV(ch2)	CH2 入力異常判断点上限
17	P1(ch1)	CH1 比例帯	40	AW(ch1)	CH1 入力異常判断点下限
18	P1(ch2)	CH2 比例帯	41	AW(ch2)	CH2 入力異常判断点下限
19	I1(ch1)	CH1 積分時間	42	WH(ch1)	CH1 入力異常時動作選択上限
1A	I1(ch2)	CH2 積分時間	43	WH(ch2)	CH2 入力異常時動作選択上限
1B	D1(ch1)	CH1 微分時間	44	WL(ch1)	CH1 入力異常時動作選択下限
1C	D1(ch2)	CH2 微分時間	45	WL(ch2)	CH2 入力異常時動作選択下限
1D	CA(ch1)	CH1 制御応答指定パラメータ	46	OE(ch1)	CH1 入力異常時の操作出力値
1E	CA(ch2)	CH2 制御応答指定パラメータ	47	OE(ch2)	CH2 入力異常時の操作出力値
1F	PB(ch1)	CH1 PV バイアス	48	GH(ch1)	CH1 AT 動作すきま時間
20	PB(ch2)	CH2 PV バイアス	49	GH(ch2)	CH2 AT 動作すきま時間
21	A1(ch1)	CH1 第1イベント設定値	4A	GB(ch1)	CH1 AT バイアス
22	A1(ch2)	CH2 第1イベント設定値	4B	GB(ch2)	CH2 AT バイアス
23	A2(ch1)	CH1 第2イベント設定値	4C	CI	リモート/ローカル切換
24	A2(ch2)	CH2 第2イベント設定値	4D	XH	イベント LED モード設定
25	E1(ch1)	CH1 運転モード	4E	E1(ch1)	CH1 デジタル入力設定 1 (RESET)
26	E1(ch2)	CH2 運転モード	4F	E1(ch2)	CH2 デジタル入力設定 1 (RESET)
27	G1(ch1)	CH1 PID/AT 切換	50	E2(ch1)	CH1 デジタル入力設定 2 (RUN)
28	G1(ch2)	CH2 PID/AT 切換	51	E2(ch2)	CH2 デジタル入力設定 2 (RUN)

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
52	E3(ch1)	CH1 デジタル入力設定 3 (FIX)	70	PU(ch2)	CH2 温度単位選択
53	E3(ch2)	CH2 デジタル入力設定 3 (FIX)	71	XE(ch1)	CH1 制御の種類
54	E4(ch1)	CH1 デジタル入力設定 4 (MAN)	72	XE(ch2)	CH2 制御の種類
55	E4(ch2)	CH2 デジタル入力設定 4 (MAN)	73	IV(ch1)	CH1 二位置動作すきま上側
56	E5(ch1)	CH1 デジタル入力設定 5 (HOLD)	74	IV(ch2)	CH2 二位置動作すきま上側
57	E5(ch2)	CH2 デジタル入力設定 5 (HOLD)	75	IW(ch1)	CH1 二位置動作すきま下側
58	E6(ch1)	CH1 デジタル入力設定 6 (STEP)	76	IW(ch2)	CH2 二位置動作すきま下側
59	E6(ch2)	CH2 デジタル入力設定 6 (STEP)	77	HA(ch1)	CH1 第1イベント動作すきま
5A	E7(ch1)	CH1 デジタル入力設定 7 (プログラムパターン選択)	78	HA(ch2)	CH2 第1イベント動作すきま
5B	E7(ch2)	CH2 デジタル入力設定 7 (プログラムパターン選択)	79	HB(ch1)	CH1 第2イベント動作すきま
5C	E8(ch1)	CH1 デジタル入力設定 8 (AT/PID)	7A	HB(ch2)	CH2 第2イベント動作すきま
5D	E8(ch2)	CH2 デジタル入力設定 8 (AT/PID)	7B	XA(ch1)	CH1 第1イベントの種類
5E	HP(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) 使用選択	7C	XA(ch2)	CH2 第1イベントの種類
5F	HP(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) 使用選択	7D	XB(ch1)	CH1 第2イベントの種類
60	C6(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) 時間	7E	XB(ch2)	CH2 第2イベントの種類
61	C6(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) 時間	7F	WA(ch1)	CH1 第1イベント待機動作の有無
62	V2(ch1)	CH1 制御ループ断線警報 (LBA) デッドバンド	80	WA(ch2)	CH2 第1イベント待機動作の有無
63	V2(ch2)	CH2 制御ループ断線警報 (LBA) デッドバンド	81	WB(ch1)	CH1 第2イベント待機動作の有無
64	PK(ch1)	CH1 積分/微分時間小数点位置	82	WB(ch2)	CH2 第2イベント待機動作の有無
65	PK(ch2)	CH2 積分/微分時間小数点位置	83	DF(ch1)	CH1 イベント遅延回数
66	IN	イニシャルセットモード	84	DF(ch2)	CH2 イベント遅延回数
67	XI(ch1)	CH1 入力レンジ番号	85	ZX	送信切替時間設定
68	XI(ch2)	CH2 入力レンジ番号	86	XP(ch1)	CH1 セグメントタイム単位設定
69	XV(ch1)	CH1 入力スケール上限	87	XP(ch2)	CH2 セグメントタイム単位設定
6A	XV(ch2)	CH2 入力スケール上限	88	X2	運転モード保持設定
6B	XW(ch1)	CH1 入力スケール下限	89	PH(ch1)	CH1 出力変化率リミッタ上昇
6C	XW(ch2)	CH2 入力スケール下限	8A	PH(ch2)	CH2 出力変化率リミッタ上昇
6D	XU(ch1)	CH1 入力レンジ小数点位置	8B	PL(ch1)	CH1 出力変化率リミッタ下降
6E	XU(ch2)	CH2 入力レンジ小数点位置	8C	PL(ch2)	CH2 出力変化率リミッタ下降
6F	PU(ch1)	CH1 温度単位選択	-	-	-

重要


- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用エリア）」


- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.7 SA シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-001E.F	0000-001E		※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	10	I1	積分時間 (I)
01	B1	バーンアウト	11	D1	微分時間 (D)
02	AA	第1警報状態	12	W1	アンチリセットワインドアップ
03	AB	第2警報状態	13	T0	加熱側比例周期
04	O1	加熱側操作出力値	14	P2	冷却側比例帯
05	O2	冷却側操作出力値	15	V1	オーバーラップ/デッドバンド
06	ER	エラーコード	16	T1	冷却側比例周期
07	SR	RUN/STOP 機能	17	PB	PV バイアス
08	G1	オートチューニング	18	F1	デジタルフィルタ
09	G2	セルフチューニング	19	LK	設定データロック
0A	S1	設定値 (SV)	1A	EB	EEPROM 保存モード
0B	A1	第1警報設定	1B	EM	EEPROM 保存状態
0C	A2	第2警報設定	1C	LA	アナログ出力仕様選択
0D	A5	制御ループ断線警報設定	1D	HV	アナログ出力スケール上限
0E	A6	制御ループ断線警報デッドバンド	1E	HW	アナログ出力スケール下限
0F	P1	加熱側比例帯 (P)			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用エリア）」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.8 SR Mini HG (H-PCP-A/B) シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	01/0000.0-01/00BD.F	01/0000-01/00BD	L/H	※1 ※2 ※3
	02/0000.0-02/00BD.F	02/0000-02/00BD		
	03/0000.0-03/00BD.F	03/0000-03/00BD		
	04/0000.0-04/00BD.F	04/0000-04/00BD		
	05/0000.0-05/00BD.F	05/0000-05/00BD		
	06/0000.0-06/00BD.F	06/0000-06/00BD		
	07/0000.0-07/00BD.F	07/0000-07/00BD		
	08/0000.0-08/00BD.F	08/0000-08/00BD		
	09/0000.0-09/00BD.F	09/0000-09/00BD		
	10/0000.0-10/00BD.F	10/0000-10/00BD		
	11/0000.0-11/00BD.F	11/0000-11/00BD		
	12/0000.0-12/00BD.F	12/0000-12/00BD		
	13/0000.0-13/00BD.F	13/0000-13/00BD		
	14/0000.0-14/00BD.F	14/0000-14/00BD		
	15/0000.0-15/00BD.F	15/0000-15/00BD		
	16/0000.0-16/00BD.F	16/0000-16/00BD		
	17/0000.0-17/00BD.F	17/0000-17/00BD		
	18/0000.0-18/00BD.F	18/0000-18/00BD		
	19/0000.0-19/00BD.F	19/0000-19/00BD		
	20/0000.0-20/00BD.F	20/0000-20/00BD		

※1 デバイスアドレスによっては書き込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 SR-Mini-HG(H-PCP-A/B) および SR-Mini-HG(H-PCP-J) シリーズについては、識別子がサポートするモジュールとしてチャンネル番号を指定する必要があります。

01/0000

└─ チャンネル番号 (設定範囲は01~20)

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	温度入力測定値	2C	NJ	AI 運転モード切換
01	AA	第 1 警報状態	2D	AP	LBA 警報状態
02	AB	第 2 警報状態	2E	HP	LBA 使用選択
03	B1	バーニアウト状態	2F	C6	LBA 時間
04	O1	加熱操作出力値	30	V2	LBA デッドバンド
05	O2	冷却操作出力値	31	M6	AO 出力値モニタ
06	AC	ヒータ断線警報状態	32	S6	AO 出力設定値
07	M3	CT 入力測定値 1	33	XO	AO 機能選択
08	M4	CT 入力測定値 2	34	OY	AO 対応チャンネル設定
09	MS	設定値モニタ	35	CV	AO ズーム上限
0A	HE	昇温完了状態	36	CW	AO ズーム下限
0B	ER	エラーコード	37	JK	AO ゼロ点調整設定
0C	G1	PID/AT 切換	38	JL	AO フルスケール調整設定
0D	S1	温度設定値	39	L1	DI モジュールの入力状態
0E	P1	加熱側比例帯	3A	C2	CC-Link セレクティングフラグ
0F	P2	冷却側比例帯	3B	Q3	イベント DO 状態 (DO-C モジュール)
10	I1	積分時間	3C	Q4	イベント DO マニュアル出力値 (DO-C モジュール)
11	D1	微分時間	3D	A7	イベント DO 拡張警報設定値
12	V1	オーバーラップ/デッドバンド	3E	KH	カスケードモニタ
13	CA	制御応答指定パラメータ	3F	KF	カスケード ON/OFF
14	A1	第 1 警報設定値	40	KG	カスケードゲイン
15	A2	第 2 警報設定値	41	KI	カスケードバイアス
16	A3	ヒータ断線警報設定値 1	42	M7	TI 温度入力測定値
17	A4	ヒータ断線警報設定値 2	43	AF	TI 第 1 警報状態
18	EI	運転モード切換	44	AG	TI 第 2 警報状態
19	T0	加熱側比例周期	45	B2	TI バーニアウト状態
1A	T1	冷却側比例周期	46	A8	TI 第 1 警報設定値
1B	PB	PV バイアス	47	A9	TI 第 2 警報設定値
1C	SR	制御開始/停止	48	PC	TI モジュール PV バイアス
1D	IN	イニシャルセットモード	49	EJ	TI 運転モード切換
1E	ZA	メモリエリア番号	4A	L3	PCP モジュール DI 状態
1F	AR	警報インターロック解除	4B	L4	イベント DI 入力接点入力モニタ
20	J1	オート/マニュアル切換	4C	L5	イベント DI 入力論理入力モニタ
21	ON	マニュアル出力値	4D	Q5	イベント DI 入力論理出力モニタ
22	HD	昇温完了範囲	4E	AH	CT モジュールヒータ断線警報状態
23	HS	昇温完了判定	4F	AJ	総合警報状態
24	T3	昇温完了ソーク時間	50	M8	開度モニタ
25	M5	AI 入力測定値	51	V3	開度出力中立帯
26	AD	AI 第 1 警報状態	52	TJ	モータ時間
27	AE	AI 第 2 警報状態	53	OS	積算出力リミッタ
28	A5	AI 第 1 警報設定値	54	OO	開度マニュアル出力値
29	A6	AI 第 2 警報設定値	55	C1	ローカル/コンピュータ切換
2A	J1	AI ゼロ点補正	56	XI	入力レンジ番号 [□ -TIO- □、H-CIO-A]
2B	JJ	AI フルスケール補正	57	SH	設定リミッタ (上限) [□ -TIO- □、H-CIO-A]

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
58	SL	設定リミッタ(下限) [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	73	LA	第1警報インターロックの有無 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]
59	F1	デジタルフィルタ [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、 H-CIO-A]	74	LB	第2警報インターロックの有無 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]
5A	AV	入力異常判断点(上限) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	75	OA	入力異常時の第1警報動作選択 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]
5B	AW	入力異常判断点(下限) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	76	OB	入力異常時の第2警報動作選択 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]
5C	WH	入力異常時の動作(上限) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	77	DF	警報遅延回数 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H- CIO-A]
5D	WL	入力異常時の動作(下限) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	78	CL	モジュール初期化 [<input type="checkbox"/> -PCP-A/ B]
5E	GB	AT バイアス [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H- CIO-A]	79	VP	PCP モジュール DO の種類選択 [<input type="checkbox"/> -PCP-A/B]
5F	HH	設定変化率リミッタ [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	7A	ZF	CT 使用チャンネル設定 [<input type="checkbox"/> -CT-A]
60	OH	出力リミッタ(上限) [加熱冷却 制御時: 加熱側出力リミッタ上 限] [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	7B	LT	DO の機能選択 [<input type="checkbox"/> -DO-A/B/D]
61	OL	出力リミッタ(下限) [加熱冷却 制御時: 冷却側出力リミッタ上 限] [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	7C	XK	DI の機能選択 [<input type="checkbox"/> -DI-A]
62	IV	二位置制御動作すきま(上側) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	7D	H2	DI の使用選択 [<input type="checkbox"/> -DI-A]
63	IW	二位置制御動作すきま(下側) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	7E	VK	AI 入力レンジ番号 [H-AI-A/B]
64	OE	入力異常時の操作用出力値 [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	7F	JS	AI 表示スケール上限 [H-AI-A/B]
65	PH	出力変化率リミッタ(上昇) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	80	JV	AI 表示スケール下限 [H-AI-A/B]
66	PL	出力変化率リミッタ(下降) [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	81	HC	AI 第1警報動作すきま [H-AI-A/ B]
67	XE	正動作/逆動作選択 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	82	HF	AI 第2警報動作すきま [H-AI-A/ B]
68	XN	ホット/コールドスタート選択 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	83	XC	AI 第1警報の種類 [H-AI-A/B]
69	SX	スタート判断点 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、 H-CIO-A]	84	XD	AI 第2警報の種類 [H-AI-A/B]
6A	X1	制御開始/停止保持設定 [<input type="checkbox"/> - PCP-A/B]	85	WC	AI 第1警報待機動作の有無 [H- AI-A/B]
6B	EK	昇温完了保持機能選択 [<input type="checkbox"/> - PCP-A/B]	86	WD	AI 第2警報待機動作の有無 [H- AI-A/B]
6C	ZX	送信切換時間設定 [<input type="checkbox"/> -PCP-A/ B]	87	LC	AI 第1警報インターロックの有 無 [H-AI-A/B]
6D	HA	第1警報動作すきま [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	88	LD	AI 第2警報インターロックの有 無 [H-AI-A/B]
6E	HB	第2警報動作すきま [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	89	TK	AI 警報遅延回数 [H-AI-A/B]
6F	XA	第1警報種類選択 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、 H-CIO-A]	8A	JU	AI 小数点位置 [H-AI-A/B]
70	XB	第2警報種類選択 [<input type="checkbox"/> -TIO- <input type="checkbox"/> 、 H-CIO-A]	8B	JT	電源周波数選択 [H-PCP-A/B]
71	WA	第1警報待機動作の有無 [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	8C	F2	AI デジタルフィルタ [H-AI-A/B]
72	WB	第2警報待機動作の有無 [<input type="checkbox"/> - TIO- <input type="checkbox"/> 、H-CIO-A]	8D	VA	AI 移動平均選択 [H-AI-A/B]

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
8E	XV	表示スケール上限 [H-TIO-H/J、H-CIO-A]	A6	LF	TI 第1警報インターロックの有無 [H-TI-A/B/C]
8F	XW	表示スケール下限 [H-TIO-H/J、H-CIO-A]	A7	LG	TI 第2警報インターロックの有無 [H-TI-A/B/C]
90	XU	小数点位置 [H-TIO-H/J、H-CIO-A]	A8	OC	TI 入力異常時の第1警報動作選択 [H-TI-A/B/C]
91	HV	AO 表示スケール上限 [H-AO-A/B]	A9	OD	TI 入力異常時の第2警報動作選択 [H-TI-A/B/C]
92	HW	AO 表示スケール下限 [H-AO-A/B]	AA	DG	TI 警報遅延回数 [H-TI-A/B/C]
93	JR	AO 小数点位置 [H-AO-A/B]	AB	R1	イベント DI 種類選択 1 [H-DI-B]
94	PW	AO 出力変化率リミッタ [H-AO-A/B]	AC	R2	イベント DI 種類選択 2 [H-DI-B]
95	XF	イベント DO 機能選択 [H-DO-C]	AD	R3	イベント DI 種類選択 3 [H-DI-B]
96	XG	イベント DO 対応チャンネル設定 [H-DO-C]	AE	R4	イベント DI 種類選択 4 [H-DI-B]
97	XH	イベント DO モード切替設定 [H-DO-C]	AF	E1	イベント DI 対応チャンネル選択 1 [H-DI-B]
98	HG	イベント DO 拡張警報動作すきま [H-DO-C]	B0	E2	イベント DI 対応チャンネル選択 2 [H-DI-B]
99	LE	イベント DO 拡張警報インターロックの有無 [H-DO-C]	B1	E3	イベント DI 対応チャンネル選択 3 [H-DI-B]
9A	TI	イベント DO 拡張警報遅延回数 [H-DO-C]	B2	E4	イベント DI 対応チャンネル選択 4 [H-DI-B]
9B	XL	カスケードトラッキングの有無 [H-CIO-A]	B3	W1	イベント DI 反転選択 1 [H-DI-B]
9C	KD	カスケードデータ選択 [H-CIO-A]	B4	W2	イベント DI 反転選択 2 [H-DI-B]
9D	H3	カスケード DI 機能選択 [H-CIO-A]	B5	W3	イベント DI 反転選択 3 [H-DI-B]
9E	XJ	TI 入力レンジ番号 [H-TI-A/B/C]	B6	W4	イベント DI 反転選択 4 [H-DI-B]
9F	F3	TI デジタルフィルタ [H-TI-A/B/C]	B7	LU	イベント DI 論理回路選択 [H-DI-B]
A0	HI	TI 第1警報動作すきま [H-TI-A/B/C]	B8	LW	イベント DI 遅延タイム設定 [H-DI-B]
A1	HJ	TI 第2警報動作すきま [H-TI-A/B/C]	B9	DH	HBA 判断回数設定 [H-CT-A]
A2	XP	TI 第1警報の種類 [H-TI-A/B/C]	BA	FV	開度調整カウンタ [H-TIO-K]
A3	XQ	TI 第2警報の種類 [H-TI-A/B/C]	BB	VQ	PCP モジュール DI の種類選択 [H-PCP-B]
A4	WE	TI 第1警報待機動作の有無 [H-TI-A/B/C]	BC	H4	PCP モジュール DI の使用選択 [H-PCP-B]
A5	WF	TI 第2警報待機動作の有無 [H-TI-A/B/C]	BD	VS	PCP モジュール DO の非励磁選択 [H-PCP-A、M-PCP-A (Z-190)]

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.9 SR Mini HG (H-PCP-J) シリーズ

L/H はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	01/0000.0-01/00D4.F	01/0000-01/00D4	L/H	※1 ※2 ※3
	02/0000.0-02/00D4.F	02/0000-02/00D4		
	03/0000.0-03/00D4.F	03/0000-03/00D4		
	04/0000.0-04/00D4.F	04/0000-04/00D4		
	05/0000.0-05/00D4.F	05/0000-05/00D4		
	06/0000.0-06/00D4.F	06/0000-06/00D4		
	07/0000.0-07/00D4.F	07/0000-07/00D4		
	08/0000.0-08/00D4.F	08/0000-08/00D4		
	09/0000.0-09/00D4.F	09/0000-09/00D4		
	10/0000.0-10/00D4.F	10/0000-10/00D4		
	11/0000.0-11/00D4.F	11/0000-11/00D4		
	12/0000.0-12/00D4.F	12/0000-12/00D4		
	13/0000.0-13/00D4.F	13/0000-13/00D4		
	14/0000.0-14/00D4.F	14/0000-14/00D4		
	15/0000.0-15/00D4.F	15/0000-15/00D4		
	16/0000.0-16/00D4.F	16/0000-16/00D4		
	17/0000.0-17/00D4.F	17/0000-17/00D4		
	18/0000.0-18/00D4.F	18/0000-18/00D4		
	19/0000.0-19/00D4.F	19/0000-19/00D4		
	20/0000.0-20/00D4.F	20/0000-20/00D4		
:	:			
95/0000.0-95/00D4.F	95/0000-95/00D4			
96/0000.0-96/00D4.F	96/0000-96/00D4			

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 SR-Mini-HG(H-PCP-A/B) および SR-Mini-HG(H-PCP-J) シリーズについては、識別子がサポートするモジュールとしてチャンネル番号を指定する必要があります。

01/0000

└─ チャンネル番号 (設定範囲は01~96)

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	温度入力測定値 (PV) [H-TIO-□、H-CIO-A] / モータ速度測定値 [H-SIO-A]	1A	T1	冷却側比例周期 [H-TIO-□、H-CIO-A]
01	AA	第1警報状態 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	1B	PB	PV バイアス [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
02	AB	第2警報状態 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	1C	SR	制御開始/停止切換 [H-PCP-J]
03	B1	バーンアウト状態 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	1D	IN	イニシャル設定モード [H-PCP-J]
04	O1	加熱側操作用出力値 [H-TIO-□、H-CIO-A]	1E	ZA	メモリエリア番号 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
05	O2	冷却側操作用出力値 [H-TIO-□、H-CIO-A]	1F	AR	警報インターロック解除 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-TI-□、H-AI-□]
06	AC	ヒータ断線警報状態 [H-TIO-A/C/D、H-CIO-A]	20	J1	オート/マニュアル切換 [H-TIO-□、H-CIO-A]
07	M3	電流検出器入力測定値 1 [H-TIO-A/C/D]	21	ON	マニュアル出力値 [H-TIO-□、H-CIO-A]
08	M4	電流検出器入力測定値 2 [H-CT-A]	22	HD	昇温完了範囲 [H-TIO-□、H-CIO-A]
09	MS	設定値モニタ [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	23	HS	昇温完了判定 [H-TIO-□、H-CIO-A]
0A	HE	昇温完了状態 [H-TIO-□、H-CIO-A]	24	T3	昇温完了ソーク時間 [H-TIO-□、H-CIO-A]
0B	ER	エラーコード [H-PCP-J]	25	M5	AI 入力測定値 [H-AI-A/B]
0C	G1	PID/AT 切換 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	26	AD	AI 第1警報状態 [H-AI-A/B]
0D	S1	温度設定値 (SV) [H-TIO-□、H-CIO-A] / モータ速度設定値 [H-SIO-A]	27	AE	AI 第2警報状態 [H-AI-A/B]
0E	P1	加熱側比例帯 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	28	A5	AI 第1警報設定値 [H-AI-A/B]
0F	P2	冷却側比例帯 [H-TIO-□、H-CIO-A]	29	A6	AI 第2警報設定値 [H-AI-A/B]
10	I1	積分時間 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	2A	JI	AI ゼロ点補正 [H-AI-A/B]
11	D1	微分時間 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	2B	JJ	AI フルスケール補正 [H-AI-A/B]
12	V1	オーバーラップ/デッドバンド [H-TIO-□、H-CIO-A]	2C	NJ	AI 運転モード切換 [H-AI-A/B]
13	CA	制御応答指定パラメータ [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	2D	AP	制御ループ断線警報 (LBA) 状態 [H-TIO-□、H-CIO-A]
14	A1	第1警報設定値 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	2E	HP	LBA 使用選択 [H-TIO-□、H-CIO-A]
15	A2	第2警報設定値 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	2F	C6	LBA 時間 [H-TIO-□、H-CIO-A]
16	A3	ヒータ断線警報設定値 1 [H-TIO-A/C/D]	30	V2	LBA デッドバンド [H-TIO-□、H-CIO-A]
17	A4	ヒータ断線警報設定値 2 [H-CT-A]	31	M6	AO 出力値モニタ [H-AO-A/B]
18	EI	運転モード切換 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	32	S6	AO 出力設定値 [H-AO-A/B]
19	T0	加熱側比例周期 [H-TIO-□、H-CIO-A]	33	XO	AO 機能選択 [H-AO-A/B]

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
34	OY	AO 対応チャンネル設定 [H-AO-A/B]	50	M8	開度モニタ [H-TIO-K]
35	CV	AO ズーム上限 [H-AO-A/B]	51	V3	開度出力中立帯 [H-TIO-K]
36	CW	AO ズーム下限 [H-AO-A/B]	52	TJ	モータ時間 [H-TIO-K]
37	JK	AO ゼロ点補正 [H-AO-A/B]	53	OS	積算出力リミッタ [H-TIO-K]
38	JL	AO フルススケール補正 [H-AO-A/B]	54	OO	開度マニュアル出力値 [H-TIO-K]
39	L1	H-DI-A モジュールの入力状態 [H-DI-A]	55	C1	ローカル/コンピュータ切換
3A	C2	CC-Link セレクティングフラグ	56	HH	設定変化率リミッタ [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
3B	Q3	イベント DO 状態 [H-DO-C]	57	D0	H-DO-G 操作出力値 [H-DO-G]
3C	Q4	イベント DO マニュアル出力値 [H-DO-C]	58	D2	H-DO-G DO 出力状態 [H-DO-G]
3D	A7	イベント DO 拡張警報設定値 [H-DO-C]	59	D3	H-DO-G 出力リミッタ (上限) [H-DO-G]
3E	KH	カスケードモニタ [H-CIO-A]	5A	D4	H-DO-G 出力リミッタ (下限) [H-DO-G]
3F	KF	カスケード ON/OFF [H-CIO-A]	5B	D5	H-DO-G 出力周期 [H-DO-G]
40	KG	カスケードゲイン [H-CIO-A]	5C	D6	H-DO-G オート/マニュアル切換 [H-DO-G]
41	KI	カスケードバイアス [H-CIO-A]	5D	D7	H-DO-G マニュアル出力値 [H-DO-G]
42	M7	TI 入力測定値 [H-TI-A/B/C]	5E	D8	H-DO-G マスタチャンネル設定 [H-DO-G]
43	AF	TI 第 1 警報状態 [H-TI-A/B/C]	5F	D9	H-DO-G 出力レシオ設定値 [H-DO-G]
44	AG	TI 第 2 警報状態 [H-TI-A/B/C]	60	ST	PLC スキャンタイム設定 [H-PCP-J]
45	B2	TI パーンアウト状態 [H-TI-A/B/C]	61	GY	AT 終了時の積分リミッタ [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
46	A8	TI 第 1 警報設定値 [H-TI-A/B/C]	62	XI	入力レンジ番号 [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
47	A9	TI 第 2 警報設定値 [H-TI-A/B/C]	63	SH	設定リミッタ (上限) [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
48	PC	H-TI-□モジュール PV バイアス [H-TI-A/B/C]	64	SL	設定リミッタ (下限) [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
49	EJ	TI 運転モード切換 [H-TI-A/B/C]	65	F1	デジタルフィルタ [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
4A	L3	PCP モジュール DI 状態	66	AV	入力異常判断点 (上限) [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
4B	L4	イベント DI 接点入力モニタ [H-DI-B]	67	AW	入力異常判断点 (下限) [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
4C	L5	イベント DI 論理入力モニタ [H-DI-B]	68	WH	入力異常時の動作 (上限) [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
4D	Q5	イベント DI 論理出力モニタ [H-DI-B]	69	WL	入力異常時の動作 (下限) [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
4E	AH	ヒータ断線警報状態 [H-CT-A]	6A	GB	AT バイアス [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
4F	AJ	総合警報状態 [H-PCP-J]	6B	OH	出力リミッタ (上限) [加熱冷却制御時: 加熱側出力リミッタ上限] [H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
6C	OL	出力リミッタ(下限)[加熱冷却制御時:冷却側出力リミッタ上限][H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	83	DF	警報遅延回数[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]
6D	IV	二位置制御動作すきま(上側)[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	84	CL	モジュール初期化[H-PCP-J]
6E	IW	二位置制御動作すきま(下側)[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	85	ZF	CT使用チャンネル設定[H-CT-A]
6F	OE	入力異常時の操作用出力値[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	86	LT	DOの機能選択[H-DO-A/B/D]
70	PH	出力変化率リミッタ(上昇)[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	87	XK	DIの機能選択[H-DI-A]
71	PL	出力変化率リミッタ(下降)[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	88	H2	DIの使用選択[H-DI-A]
72	XE	正動作/逆動作選択[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	89	VK	AI入力レンジ番号[H-AI-A/B]
73	XN	ホット/コールドスタート選択[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	8A	JS	AI表示スケール上限[H-AI-A/B]
74	SX	スタート判断点[H-TIO-□、H-CIO-A]	8B	JV	AI表示スケール下限[H-AI-A/B]
75	X1	制御開始/停止保持設定[H-PCP-J]	8C	HC	AI第1警報動作すきま[H-AI-A/B]
76	EK	昇温完了保持機能選択[H-PCP-J]	8D	HF	AI第2警報動作すきま[H-AI-A/B]
77	ZX	インターバル時間設定 COM. PORT1/COM. PORT2(通信切替時間設定)[H-PCP-J]	8E	XC	AI第1警報の種類[H-AI-A/B]
78	ZY	インターバル時間設定 COM. PORT3(通信切替時間設定)[H-PCP-J]	8F	XD	AI第2警報の種類[H-AI-A/B]
79	HA	第1警報動作すきま[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	90	WC	AI第1警報待機動作の有無[H-AI-A/B]
7A	HB	第2警報動作すきま[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	91	WD	AI第2警報待機動作の有無[H-AI-A/B]
7B	XA	第1警報種類選択[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	92	LC	AI第1警報インターロックの有無[H-AI-A/B]
7C	XB	第2警報種類選択[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	93	LD	AI第2警報インターロックの有無[H-AI-A/B]
7D	WA	第1警報待機動作の有無[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	94	TK	AI警報遅延回数[H-AI-A/B]
7E	WB	第2警報待機動作の有無[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	95	JU	AI小数点位置[H-AI-A/B]
7F	LA	第1警報インターロックの有無[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	96	JT	電源周波数選択[H-PCP-J]
80	LB	第2警報インターロックの有無[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	97	F2	AIデジタルフィルタ[H-AI-A/B]
81	OA	入力異常時の第1警報動作選択[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	98	VA	AI移動平均選択[H-AI-A/B]
82	OB	入力異常時の第2警報動作選択[H-TIO-□、H-CIO-A、H-SIO-A]	99	XV	表示スケール上限[H-TIO-H/J、H-CIO-A、H-SIO-A]

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
9A	XW	表示スケール下限 [H-TIO-H/J、H-CIO-A、H-SIO-A]	B8	R3	イベント DI 種類選択 3 [H-DI-B]
9B	XU	小数点位置 [H-TIO-H/J、H-CIO-A、H-SIO-A]	B9	R4	イベント DI 種類選択 4 [H-DI-B]
9C	HV	AO 表示スケール上限 [H-AO-A/B]	BA	E1	イベント DI 対応チャンネル選択 1 [H-DI-B]
9D	HW	AO 表示スケール下限 [H-AO-A/B]	BB	E2	イベント DI 対応チャンネル選択 2 [H-DI-B]
9E	JR	AO 小数点位置 [H-AO-A/B]	BC	E3	イベント DI 対応チャンネル選択 3 [H-DI-B]
9F	PW	AO 出力変化率リミッタ [H-AO-A/B]	BD	E4	イベント DI 対応チャンネル選択 4 [H-DI-B]
A0	XF	イベント DO 機能選択 [H-DO-C]	BE	W1	イベント DI 反転選択 1 [H-DI-B]
A1	XG	イベント DO 対応チャンネル設定 [H-DO-C]	BF	W2	イベント DI 反転選択 2 [H-DI-B]
A2	XH	イベント DO モード切替設定 [H-DO-C]	C0	W3	イベント DI 反転選択 3 [H-DI-B]
A3	HG	イベント DO 拡張警報動作すきま [H-DO-C]	C1	W4	イベント DI 反転選択 4 [H-DI-B]
A4	LE	イベント DO 拡張警報インターロックの有無 [H-DO-C]	C2	LU	イベント DI 論理回路選択 [H-DI-B]
A5	TI	イベント DO 拡張警報遅延回数 [H-DO-C]	C3	LW	イベント DI 遅延タイム設定 [H-DI-B]
A6	XL	カスケードトラッキングの有無 [H-CIO-A]	C4	DH	HBA 判断回数設定 [H-CT-A]
A7	KD	カスケードデータ選択 [H-CIO-A]	C5	FV	開度調整カウンタ [H-TIO-K]
A8	H3	カスケード DI 機能選択 [H-CIO-A] / DI の処理選択 [H-SIO-A]	C6	VS	H-PCP-J モジュール DO の非励磁選択 [H-PCP-J]
A9	XJ	TI 入力レンジ番号 [H-TI-A/B/C]	C7	JF	H-SIO-A フルスケール時の入力周波数 [H-SIO-A]
AA	F3	TI デジタルフィルタ [H-TI-A/B/C]	C8	SC	H-SIO-A 制御範囲 [H-SIO-A]
AB	HI	TI 第 1 警報動作すきま [H-TI-A/B/C]	C9	SU	H-SIO-A 出力スケール上限 [H-SIO-A]
AC	HJ	TI 第 2 警報動作すきま [H-TI-A/B/C]	CA	SD	H-SIO-A 出力スケール下限 [H-SIO-A]
AD	XP	TI 第 1 警報の種類 [H-TI-A/B/C]	CB	SP	H-SIO-A 測定方式 [H-SIO-A]
AE	XQ	TI 第 2 警報の種類 [H-TI-A/B/C]	CC	SQ	H-SIO-A 分周数 [H-SIO-A]
AF	WE	TI 第 1 警報待機動作の有無 [H-TI-A/B/C]	CD	RT	H-SIO-A ゲート時間 [H-SIO-A]
B0	WF	TI 第 2 警報待機動作の有無 [H-TI-A/B/C]	CE	SA	H-SIO-A オートゼロ時間 [H-SIO-A]
B1	LF	TI 第 1 警報インターロックの有無 [H-TI-A/B/C]	CF	SW	H-SIO-A 警報待機キャンセル時間 [H-SIO-A]
B2	LG	TI 第 2 警報インターロックの有無 [H-TI-A/B/C]	D0	SM	H-SIO-A オープン/クローズドループ制御切替 [H-SIO-A]
B3	OC	TI 入力異常時の第 1 警報動作選択 [H-TI-A/B/C]	D1	SE	H-SIO-A 補正トリガ [H-SIO-A]
B4	OD	TI 入力異常時の第 2 警報動作選択 [H-TI-A/B/C]	D2	J2	H-SIO-A 補正実測値 [H-SIO-A]
B5	DG	TI 警報遅延回数 [H-TI-A/B/C]	D3	JW	PV バイアス単位選択 [H-TIO-H/J、H-CIO-A、H-SIO-A]
B6	R1	イベント DI 種類選択 1 [H-DI-B]	D4	VU	H-PCP-J モジュール DO の種類選択 [H-PCP-J]
B7	R2	イベント DI 種類選択 2 [H-DI-B]	-	-	-

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.10 REX-F9000 シリーズ

はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-002F.1F	0000-002F	L/H	※1※2※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	18	HB	第2 警報動作すきま
01	AA	第1 警報出力	19	TG	第2 警報タイマ設定
02	AB	第2 警報出力	1A	LA	アナログ出力仕様選択
03	O1	操作出力値 (MV)	1B	HV	アナログ出力スケール上限
04	B1	バーンアウト	1C	HW	アナログ出力スケール下限
05	ER	エラーコード	1D	DA	バーグラフ表示選択
06	G1	PID/ オートチューニング切換	1E	XI	入力の種類
07	J1	オート/マニュアル切換	1F	XU	小数点位置選択
08	SR	制御の実行/停止切換	20	JT	電源周波数
09	S1	設定値 (SV)	21	SH	設定リミッタ (上限)
0A	A1	第1 警報設定	22	SL	設定リミッタ (下限)
0B	A2	第2 警報設定	23	T0	出力周期
0C	P1	比例帯	24	XE	正/逆動作選択
0D	I1	積分時間	25	PF	パワーフィードフォワード
0E	D1	微分時間	26	XA	第1 警報種類選択
0F	CA	制御応答パラメータ	27	NA	第1 警報励磁/非励磁選択
10	PB	PV バイアス	28	OA	第1 警異常時の動作選択
11	PC	センサバイアス	29	WA	第1 警報待機動作選択
12	F1	デジタルフィルタ	2A	XB	第2 警報種類選択
13	OH	出力リミッタ (上限)	2B	NB	第2 警報励磁/非励磁選択
14	OL	出力リミッタ (下限)	2C	OB	第2 警報異常時の動作選択
15	GB	AT バイアス	2D	WB	第2 警報待機動作選択
16	HA	第1 警報動作すきま	2E	LK	設定データロックレベル選択
17	TD	第1 警報タイマ設定	2F	LM	モードロックレベル選択

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.11 REX-F シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-0055.F	0000-0055	L/H	※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV) 入力	2B	OE	異常時マニュアル出力
01	AA	第 1 警報出力	2C	GB	AT バイアス
02	AB	第 2 警報出力	2D	HA	第 1 警報動作すきま
03	AC	ヒータ断線警報	2E	TD	第 1 警報タイマ設定
04	O1	操作出力 (加熱側)	2F	A3	ヒータ断線警報
05	O2	操作出力 (冷却側)	30	HB	第 2 警報動作すきま
06	B1	バーンアウト	31	TG	第 2 警報タイマ設定
07	B2	開度帰還抵抗 (FBR) 入力バーンアウト	32	LA	アナログ出力仕様選択
08	S2	リモート設定値 (RS)	33	HV	アナログ出力 出力範囲上限
09	M2	開度帰還入力値 (POS)	34	HW	アナログ出力 出力範囲下限
0A	M3	電流検出器入力値	35	V2	中立帯
0B	MS	設定値 (SV) モニタ	36	VH	開閉出力の動作すきま
0C	J1	オート/マニュアル切換	37	SY	開度帰還抵抗 (FBR) 断線時の動作選択
0D	C1	ローカル/リモート切換	38	DA	バーグラフ表示選択
0E	E1	メモリア内部/外部の切換	39	XI	測定値 (PV) 入力種類選択
0F	ZA	制御エリア No の切換	3A	AV	入力異常判断点上限
10	G1	PID 制御/オートチューニング切換	3B	AW	入力異常判断点下限
11	RA	ローカルモード/コンピュータモード識別	3C	WH	入力異常時の動作選択上限
12	SR	運転の実行/停止の切換	3D	WL	入力異常時の動作選択下限
13	ON	操作出力値 (MV)	3E	XV	入力プログラマブル目盛上限
14	S1	設定値 (SV)	3F	XW	入力プログラマブル目盛下限
15	A1	第 1 警報設定	40	XU	小数点位置選択
16	A2	第 2 警報設定	41	XH	開閉演算の有無
17	P1	比例帯 (加熱側)	42	SH	設定リミッタ上限
18	I1	積分時間	43	SL	設定リミッタ下限
19	D1	微分時間	44	XR	リモート設定 (RS) 入力種類選択
1A	CA	制御応答指定パラメータ	45	XL	SV トラッキングの有無
1B	P2	冷却側比例帯	46	T0	比例周期 (加熱側)
1C	V1	デッドバンド	47	T1	冷却側比例周期
1D	HH	設定変化率リミッタ	48	XE	正/逆動作選択
1E	PB	PV バイアス	49	XN	ホット/コールドスタート選択
1F	F1	PV デジタルフィルタ	4A	SX	スタート判断点
20	DP	PV 低入力カットオフ	4B	XA	第 1 警報動作選択
21	RR	RS レシオ	4C	NA	第 1 警報励磁 / 非励磁選択
22	RB	RS バイアス	4D	OA	第 1 警報入力異常時動作選択
23	F2	RS デジタルフィルタ	4E	WA	第 1 警報待機動作選択
24	OH	出力リミッタ上限	4F	XB	第 2 警報動作選択
25	OL	出力リミッタ下限	50	NB	第 2 警報励磁 / 非励磁選択
26	OQ	冷却出力最短 ON 時間	51	OB	第 2 警報入力異常時動作選択
27	PH	出力変化率リミッタ上昇	52	WB	第 2 警報待機動作選択
28	PL	出力変化率リミッタ下降	53	LK	設定データロックレベル
29	IV	二位置動作 動作すきま上側	54	LL	エリアロック
2A	IW	二位置動作 動作すきま下側	55	DH	運転実行/停止 表示有無

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.12 REX-D シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-003E.F	0000-003E	L/H	※1 ※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

< 識別子一覧 >

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	20	TG	警報 2 タイマ設定
01	M2	第 1 電流検出器入力値 (CT1)	21	TH	HBA 遅延タイマ
02	M3	第 2 電流検出器入力値 (CT2)	22	P1	比例帯 (加熱側)
03	AA	第 1 警報出力	23	I1	積分時間
04	AB	第 2 警報出力	24	D1	微分時間
05	AC	ヒータ断線警報出力 1	25	W1	アンチリセットワインドアップ (ARW)
06	AD	ヒータ断線警報出力 2	26	P2	冷却比例帯
07	AE	制御ループ断線警報	27	V1	オーバーラップ/デッドバンド
08	B1	バーンアウト	28	MH	二位置動作の動作すきま
09	O1	操作出力 1(加熱側)	29	MR	マニュアルリセット
0A	O2	操作出力 2(冷却側)	2A	XP	ファジィ
0B	MS	設定値 (SV) モニタ	2B	T0	制御出力 1 の比例周期
0C	ER	エラー情報	2C	OH	出力リミッタ上限
0D	J1	オート (AUTO)/ マニュアル (MAN) 切換	2D	OL	出力リミッタ下限
0E	SR	運転実行 (RUN)/ 停止切換 (STOP)	2E	XE	正動作 / 逆動作選択
0F	G1	PID 制御 / オートチューニング切 換	2F	T1	制御出力 2 の比例周期
10	S1	設定値 (SV1)	30	OI	制御出力 2 の出力リミッタ上限
11	ON	操作出力値	31	LA	アナログ出力仕様選択
12	S2	ステップ設定値 (SV2)	32	HV	アナログ出力範囲上限
13	A1	第 1 警報設定	33	HW	アナログ出力範囲下限
14	A2	第 2 警報設定	34	XI	入力種類選択
15	A3	ヒータ断線警報 1 設定	35	XV	スケーリング上限
16	A4	ヒータ断線警報 2 設定	36	XW	スケーリング下限
17	PB	PV バイアス	37	XU	小数点位置選択
18	HH	SV 変化率リミッタ	38	PQ	AUTO/MAN 選択
19	XA	第 1 警報動作選択	39	DH	運転実行 / 停止表示選択
1A	HA	第 1 警報動作すきま	3A	XR	電流検出器の種類選択
1B	TD	警報 1 タイマ設定	3B	XQ	空冷 / 水冷選択
1C	A5	制御ループ断線警報設定	3C	GH	オートチューニング (AT) 動作す きま
1D	V3	LBA デッドバンド	3D	WH	入力異常時の動作選択
1E	XB	第 2 警報動作選択	3E	XO	ユニバーサル出力の選択
1F	HB	第 2 警報動作すきま			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.13 REX-G9 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-005E.1F	0000-005E	L/H	※1 ※2 ※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV) 入力	30	HC	警報 3 ヒステリシス
01	AA	第 1 警報出力	31	LA	アナログ出力 1 仕様選択
02	AB	第 2 警報出力	32	HV	アナログ出力 1 範囲上限値
03	AC	第 3 警報出力	33	HW	アナログ出力 1 範囲下限値
04	O1	操作出力 1	34	LB	アナログ出力 2 仕様選択
05	B1	バーンアウト	35	CV	アナログ出力 2 範囲上限値
06	B2	開度帰還抵抗 (FBR) 入力バーンアウト	36	CW	アナログ出力 2 範囲下限値
07	S2	リモート設定値	37	V2	中立帯
08	M2	開度表示	38	VH	オープン/クローズ ヒステリシス
09	MS	設定値 (SV) モニタ	39	SY	開度帰還抵抗 (FBR) 入力断線時の動作選択
0A	J1	オート/マニュアル切換	3A	TL	表示更新サイクル
0B	C1	リモート/ローカル切換	3B	DA	偏差バーグラフ (表示/非表示)
0C	E1	メモリア外部/内部の切換	3C	DB	RS バーグラフ (表示/非表示)
0D	ZA	制御エリア No. の切換	3D	DC	PV バーグラフ (表示/非表示)
0E	G1	PID 制御/オートチューニングの切換	3E	DE	偏差バーグラフの表示範囲
0F	RA	コンピュータモード/ローカルモードの切換	3F	XI	PV 入力の種類選択
10	SR	運転の実行/停止の切換	40	AV	入力異常判断点上限
11	ON	操作出力値	41	AW	入力異常判断点下限
12	S1	設定値 (SV)	42	WH	入力異常時の動作選択上限
13	A1	警報 1 設定	43	WL	入力異常時の動作選択下限
14	A2	警報 2 設定	44	XV	入力プログラマブル目盛上限
15	A3	警報 3 設定	45	XW	入力プログラマブル目盛下限
16	P1	比例帯	46	PU	PV 入力の単位
17	I1	積分時間	47	XU	小数点位置の選択
18	D1	微分時間	48	XH	開閉演算の有無
19	CA	制御応答指定パラメータ	49	SH	設定リミッタ上限
1A	PB	PV バイアス	4A	SL	設定リミッタ下限
1B	F1	PV デジタルフィルタ	4B	XR	RS 入力の種類選択
1C	VA	PV 移動平均の有無	4C	XL	SV トラッキングの有無
1D	DP	PV 低入力カットオフ	4D	T0	出力周期
1E	HH	設定変化率リミッタ上昇	4E	XE	正/逆動作選択
1F	HL	設定変化率リミッタ下降	4F	DT	微分演算周期
20	RR	RS レシオ	50	XN	Hot/Cold スタート選択
21	RB	RS バイアス	51	XA	警報 1 動作選択
22	F2	RS デジタルフィルタ	52	NA	警報 1 励磁/非励磁選択
23	VB	RS 移動平均の有無	53	OA	警報 1 入力異常時の動作選択
24	OH	出力リミッタ上限	54	WA	警報 1 待機動作の有無
25	OL	出力リミッタ下限	55	XB	警報 2 動作選択
26	PH	出力変化率リミッタ上昇	56	NB	警報 2 励磁/非励磁選択
27	PL	出力変化率リミッタ下降	57	OB	警報 2 入力異常時の動作選択
28	IV	二位置動作 (A) のヒステリシス上側	58	WB	警報 2 待機動作の有無
29	IW	二位置動作 (A) のヒステリシス下側	59	XC	警報 3 動作選択
2A	DG	微分ゲイン	5A	NC	警報 3 励磁/非励磁選択
2B	OE	異常時のマニュアル出力値	5B	OC	警報 3 入力異常時の動作選択
2C	GB	AT バイアス	5C	WC	警報 3 待機動作の有無
2D	G2	AT のサイクル数	5D	JT	電源周波数
2E	HA	警報 1 ヒステリシス	5E	LK	設定ロック No.
2F	HB	警報 2 ヒステリシス			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.14 REX-P300 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.00-001F.1F 002D.00-0078.1F	0000-001F 002D-0078	[L/H]	※1 ※2 ※3

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV) モニタ	2C	-	-
01	S1	設定値 (SV) モニタ	2D	S2	FIX 設定値
02	O1	操作出力モニタ 1(加熱側)	2E	PB	PV バイアス
03	O2	操作出力モニタ 2(冷却側)	2F	PR	RS レシオ
04	AA	第 1 警報モニタ	30	PW	レベル PID の設定 1
05	AB	第 2 警報モニタ	31	PX	レベル PID の設定 2
06	B1	バーンアウト	32	PY	レベル PID の設定 3
07	PS	実行パターン番号	33	F1	デジタルフィルタ
08	SN	実行セグメント番号	34	DP	PV 低入力カットオフ
09	T1	タイムシグナル出力 No.1 状態	35	A1	第 1 警報設定
0A	T2	タイムシグナル出力 No.2 状態	36	A2	第 2 警報設定
0B	T3	タイムシグナル出力 No.3 状態	37	XA	第 1 警報動作選択
0C	T4	タイムシグナル出力 No.4 状態	38	XB	第 2 警報動作選択
0D	T5	タイムシグナル出力 No.5 状態	39	HA	第 1 警報動作すきま
0E	T6	タイムシグナル出力 No.6 状態	3A	HB	第 2 警報動作すきま
0F	T7	タイムシグナル出力 No.7 状態	3B	TD	第 1 警報タイマー
10	T8	タイムシグナル出力 No.8 状態	3C	TG	第 2 警報タイマー
11	EO	パターンエンド出力	3D	NA	第 1 警報励磁/非励磁選択
12	AC	OUT2 動作出力	3E	NB	第 2 警報励磁/非励磁選択
13	AD	OUT3 動作出力	3F	P1	比例帯 1
14	AE	OUT4 動作出力	40	P3	比例帯 2
15	ER	エラー	41	P5	比例帯 3
16	TR	セグメント残り時間	42	P7	比例帯 4
17	RT	プログラム実行回数 (残り回数)	43	I1	積分時間 1
18	ON	操作出力値	44	I2	積分時間 2
19	G1	PID/AT 切換	45	I3	積分時間 3
1A	XM	運転モード	46	I4	積分時間 4
1B	EN	パターンエンド状態	47	D1	微分時間 1
1C	WT	ウェイト状態	48	D2	微分時間 2
1D	HO	ホールド状態	49	D3	微分時間 3
1E	SK	ステップ機能	4A	D4	微分時間 4
1F	SM	検索機能	4B	W1	アンチリセットワインドアップ 1(ARW)
20	-	-	4C	W2	アンチリセットワインドアップ 2(ARW)
21	-	-	4D	W3	アンチリセットワインドアップ 3(ARW)
22	-	-	4E	W4	アンチリセットワインドアップ 4(ARW)
23	-	-	4F	P2	冷却側比例帯 1
24	-	-	50	P4	冷却側比例帯 2
25	-	-	51	P6	冷却側比例帯 3
26	-	-	52	P8	冷却側比例帯 4
27	-	-	53	V1	デッドバンド/オーバーラップ 1/コントロールモータ中立帯 1
28	-	-	54	V2	デッドバンド/オーバーラップ 2/コントロールモータ中立帯 2
29	-	-	55	V3	デッドバンド/オーバーラップ 3/コントロールモータ中立帯 3
2A	-	-	56	V4	デッドバンド/オーバーラップ 4/コントロールモータ中立帯 4
2B	-	-	57	XP	ファジィ 1

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
58	FW	ファジィ 2	69	XI	入力種類選択
59	FX	ファジィ 3	6A	XV	スケール上限
5A	FY	ファジィ 4	6B	XW	スケール下限
5B	TC	出力周期 1 / コントロールモータ時間	6C	XU	小数点位置
5C	T0	出力周期 2	6D	SS	プログラムスタート時の SV
5D	OH	出力リミッタ上限 / 積算出力リミッタ	6E	X1	パターンエンド時の制御状態
5E	OL	出力リミッタ下限	6F	XN	リセット時の出力値 / リセット時の制御状態選択
5F	XE	正 / 逆動作選択	70	XK	接点入力のパターン入力方法
60	KB	OUT2 動作選択	71	XQ	加熱冷却制御時の水冷 / 空冷選択
61	A3	OUT2 設定値	72	PD	ホット / コールドスタート選択
62	XC	OUT3 動作選択	73	GH	オートチューニング (AT) の動作すきま
63	A4	OUT3 設定値	74	JT	使用電源周波数
64	XD	OUT4 動作選択	75	B2	バーンアウト動作
65	A5	OUT4 設定値	76	WH	入力異常時の動作選択
66	LA	アナログ出力仕様選択	77	XH	開閉演算の有無
67	HV	アナログ出力スケール上限	78	PU	設定時間単位
68	HW	アナログ出力スケール下限			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
☞「表記のルール」
- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.15 REX-P250 シリーズ

はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-0027.F	0000-0027	L/H	※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	14	G1	AT/PID の識別
01	S1	(運転中の) 設定値 (SV)	15	TT	AT 学習機能
02	ON	操作出力値 (MV) またはマニュアル制御出力設定値	16	SK	ステップ機能
03	TR	セグメント残り時間	17	S2	設定値 (SV)
04	RT	プログラム実行回数	18	PP	PID メモリ NO.(PP)
05	M2	開度帰還入力値または電流検出器入力値	19	AP	警報メモリ NO.(AP)
06	AA	警報 1 出力	1A	PQ	PID メモリ NO.(PQ)
07	AB	警報 2 出力	1B	AQ	警報メモリ NO.(AQ)
08	B1	バーンアウト	1C	PB	PV バイアス
09	HO	ホールド状態	1D	HA	警報 1 ヒステリシス幅
0A	EN	エンド状態	1E	HB	警報 2 ヒステリシス幅
0B	WT	ウェイト状態	1F	TC	比例周期設定
0C	T1	タイムシグナル No.1 状態	20	F1	デジタルフィルタ
0D	T2	タイムシグナル No.2 状態	21	XN	スタートモード選択
0E	T3	タイムシグナル No.3 状態	22	SS	スタート時の設定値 (SV) 選択 (プログラム制御)
0F	T4	タイムシグナル No.4 状態	23	ER	エラーコード
10	XM	運転モード	24	CL	データオールクリア
11	PS	実行パターン	25	TR	セグメント残り時間
12	SN	実行セグメント	26	TR	セグメント残り時間
13	RA	COMP/LOC の識別	27	TR	セグメント残り時間

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.16 REX-AD シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-003B.F	0000-003B	L/H	※1 ※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	1E	NB	第2 警報励磁 / 非励磁選択
01	AA	第1 警報モニタ	1F	HB	第2 警報動作すきま
02	AB	第2 警報モニタ	20	TG	第2 警報タイマ設定
03	AC	第3 警報モニタ	21	XC	第3 警報動作選択
04	AD	第4 警報モニタ	22	QC	第3 警報インターロック
05	AE	第5 警報モニタ	23	NC	第3 警報励磁 / 非励磁選択
06	AF	第6 警報モニタ	24	HC	第3 警報動作すきま
07	AG	EXCEED モニタ	25	TH	第3 警報タイマ設定
08	B1	バーンアウト	26	XD	第4 警報動作選択
09	ER	エラー情報	27	QD	第4 警報インターロック
0A	HP	ピークホールドモニタ	28	ND	第4 警報励磁 / 非励磁選択
0B	HQ	ボトムホールドモニタ	29	HD	第4 警報動作すきま
0C	TM	持続時間モニタ	2A	TI	第4 警報タイマ設定
0D	HR	ホールドリセット	2B	XE	第5 警報動作選択
0E	IR	インターロック解除	2C	QE	第5 警報インターロック
0F	A1	第1 警報設定	2D	NE	第5 警報励磁 / 非励磁選択
10	A2	第2 警報設定	2E	HE	第5 警報動作すきま
11	A3	第3 警報設定	2F	TJ	第5 警報タイマ設定
12	A4	第4 警報設定	30	XF	第6 警報動作選択
13	A5	第5 警報設定	31	QF	第6 警報インターロック
14	A6	第6 警報設定	32	NF	第6 警報励磁 / 非励磁選択
15	PB	PV バイアス	33	HF	第6 警報動作すきま
16	F1	デジタルフィルタ	34	TK	第6 警報タイマ設定
17	XA	第1 警報動作選択	35	HV	アナログ出力上限設定値
18	QA	第1 警報インターロック	36	HW	アナログ出力下限設定値
19	NA	第1 警報励磁 / 非励磁選択	37	XI	入力種類選択
1A	HA	第1 警報動作すきま	38	XV	スケーリング上限値設定 (SCH)
1B	TD	第1 警報タイマ設定	39	XW	スケーリング下限値設定 (SCL)
1C	XB	第2 警報動作選択	3A	XU	小数点位置選択
1D	QB	第2 警報インターロック	3B	TS	時間単位切換設定

重要


- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」


- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.17 REX-PG シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-0021.F	0000-0021		※1 ※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	11	HA	第1 警報動作すきま
01	AA	第1 警報モニタ	12	TD	第1 警報タイマ設定
02	AB	第2 警報モニタ	13	XB	第2 警報動作選択
03	B1	バーンアウト	14	QB	第2 警報インターロック機能
04	ER	エラー情報	15	NB	第2 警報 励磁/非励磁
05	HP	ピークホールドモニタ	16	HB	第2 警報動作すきま
06	HQ	ボトムホールドモニタ	17	TG	第2 警報タイマ設定
07	AZ	オートゼロ	18	HW	アナログ出力下限設定
08	HR	ホールドリセット	19	HV	アナログ出力上限設定
09	IR	警報インターロック解除	1A	TO	アナログ出力タイマ設定
0A	A1	第1 警報設定	1B	XI	入力種類選択
0B	A2	第2 警報設定	1C	GA	ゲイン設定
0C	IB	入力断線時の動作選択	1D	PU	圧力単位設定
0D	TL	表示タイム設定	1E	XU	小数点位置選択
0E	XA	第1 警報動作選択	1F	XW	圧力表示下限設定
0F	QA	第1 警報インターロック機能	20	XV	圧力表示上限設定
10	NA	第1 警報 励磁/非励磁	21	LI	リニアライズ種類選択

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」


- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.18 AE500 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-0012.F	0000-0012	 L/H	※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。


<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	0A	A4	第4 警報設定
01	AA	第1 警報状態	0B	HA	第1 警報動作すきま
02	AB	第2 警報状態	0C	HB	第2 警報動作すきま
03	AC	第3 警報状態	0D	HC	第3 警報動作すきま
04	AD	第4 警報状態	0E	HD	第4 警報動作すきま
05	B1	バーンアウト	0F	PB	PV バイアス
06	ER	エラーコード	10	HV	アナログ出力スケール上限
07	A1	第1 警報設定	11	HW	アナログ出力スケール下限
08	A2	第2 警報設定	12	LK	設定データロック機能
09	A3	第3 警報設定			


重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 「表記のルール」
- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.19 LE100 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	0000.0-0072.F	0000-0072	L/H	※1※2

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	M1	測定値 (PV)	29	L1	リニアライズテーブル数設定 1
01	AA	出力 1 状態モニタ	2A	L2	リニアライズテーブル数設定 2
02	AB	出力 2 状態モニタ	2B	L3	リニアライズテーブル数設定 3
03	AC	出力 3 状態モニタ	2C	L4	リニアライズテーブル数設定 4
04	AD	出力 4 状態モニタ	2D	L5	リニアライズテーブル数設定 5
05	AE	出力 5 状態モニタ	2E	L6	リニアライズテーブル数設定 6
06	AF	出力 6 状態モニタ	2F	L7	リニアライズテーブル数設定 7
07	AG	出力 7 状態モニタ	30	L8	リニアライズテーブル数設定 8
08	AH	出力 8 状態モニタ	31	L9	リニアライズテーブル数設定 9
09	B1	バーンアウト	32	LA	リニアライズテーブル数設定 10
0A	ER	エラーコード	33	F1	デジタルフィルタ
0B	ID	ID データ	34	XA	出力 1 種類選択
0C	ID	ID データ	35	DA	出力 1 偏差設定
0D	ID	ID データ	36	QA	出力 1 インターロック有無選択
0E	MS	比重モニタ	37	NA	出力 1a 接 / b 接
0F	ML	スケール下限モニタ	38	HA	出力 1 動作すきま
10	MH	スケール上限モニタ	39	TA	出力 1 タイマ設定
11	HP	ピークホールドモニタ	3A	XB	出力 2 種類選択
12	HQ	ボトムホールドモニタ	3B	DB	出力 2 偏差設定
13	MW	ウェハー処理回数モニタ	3C	QB	出力 2 インターロック有無選択
14	MZ	エンプティ補正量モニタ	3D	NB	出力 2a 接 / b 接
15	A1	出力 1 設定	3E	HB	出力 2 動作すきま
16	A2	出力 2 設定	3F	TB	出力 2 タイマ設定
17	A3	出力 3 設定	40	XC	出力 3 種類選択
18	A4	出力 4 設定	41	DC	出力 3 偏差設定
19	A5	出力 5 設定	42	QC	出力 3 インターロック有無選択
1A	A6	出力 6 設定	43	NC	出力 3a 接 / b 接
1B	A7	出力 7 設定	44	HC	出力 3 動作すきま
1C	A8	出力 8 設定	45	TC	出力 3 タイマ設定
1D	A9	実液出力設定	46	XD	出力 4 種類選択
1E	AZ	エンプティ調整	47	DD	出力 4 偏差設定
1F	WT	ウェハー処理回数	48	QD	出力 4 インターロック有無選択
20	CW	ウェハー処理回数初期化	49	ND	出力 4a 接 / b 接
21	HR	ホールドリセット	4A	HD	出力 4 動作すきま
22	IR	インターロック解除	4B	TD	出力 4 タイマ設定
23	LK	設定ロック	4C	XE	出力 5 種類選択
24	IS	デフォルト設定	4D	DE	出力 5 偏差設定
25	EC	エラー解除	4E	QE	出力 5 インターロック有無選択
26	LU	小数点位置選択	4F	NE	出力 5a 接 / b 接
27	LT	リニアライズテーブル数設定	50	HE	出力 5 動作すきま
28	L0	リニアライズテーブル数設定 0	51	TE	出力 5 タイマ設定

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
52	XF	出力 6 種類選択	63	TH	出力 8 タイマ設定
53	DF	出力 6 偏差設定	64	HV	モニタ出力上限
54	QF	出力 6 インターロック有無選択	65	HW	モニタ出力下限
55	NF	出力 6a 接 / b 接	66	EG	最終比重設定
56	HF	出力 6 動作すきま	67	SW	ウェハ処理回数
57	TF	出力 6 タイマ設定	68	XX	スケール上限
58	XG	出力 7 種類選択	69	SG	比重設定
59	DG	出力 7 偏差設定	6A	J1	スケール 1 実液設定
5A	QG	出力 7 インターロック有無選択	6B	J2	スケール 2 実液設定
5B	NG	出力 7a 接 / b 接	6C	J3	下限側実液補正 2
5C	HG	出力 7 動作すきま	6D	J4	上限側実液補正 2
5D	TG	出力 7 タイマ設定	6E	UN	単位設定
5E	XH	出力 8 種類選択	6F	SP	比重設定切換
5F	DH	出力 8 偏差設定	70	SS	比重補正機能有無選択
60	QH	出力 8 インターロック有無選択	71	DS	DI 機能選択
61	NH	出力 8a 接 / b 接	72	MM	体積 / 高さ表示選択
62	HH	出力 8 動作すきま			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

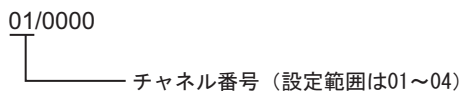
- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.20 SRZ (Z-TIO) シリーズ

L/H はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	01/0000.00 -01/00CF.1F	01/0000-01/00CF	L/H	※1 ※2 ※3 ※4
	02/0000.00 -02/00CF.1F	02/0000-02/00CF		
	03/0000.00 -03/00CF.1F	03/0000-03/00CF		
	04/0000.00 -04/00CF.1F	04/0000-04/00CF		

- ※1 デバイスアドレスによっては書き込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。
- ※2 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。
- ※3 識別子にはチャンネル用、モジュール用のものがあります。チャンネル用の識別子については、正しいチャンネル番号を指定する必要があります。モジュール用の識別子はチャンネル番号を指定しても無視されます。



- ※4 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	VR	ROM バージョン	32	A7	ヒータ断線警報 (HBA) 設定値
01	VR	ROM バージョン	33	NE	ヒータ断線判断点
02	M1	測定値 (PV)	34	NF	ヒータ溶着判断点
03	AJ	総合イベント状態	35	PB	PV バイアス
04	L0	運転モード状態モニタ	36	F1	PV デジタルフィルタ
05	ER	エラーコード	37	PR	PV レシオ
06	O1	操作出力値 (MV) モニタ [加熱側]	38	DP	PV 低入力カットオフ
07	O2	操作出力値 (MV) モニタ [冷却側]	39	RB	RS バイアス
08	M3	電流検出器 (CT) 入力値モニタ	3A	F2	RS デジタルフィルタ
09	MS	設定値 (SV) モニタ	3B	RR	RS レシオ
0A	S2	リモート設定 (RS) 入力値モニタ	3C	DV	出力分配切換
0B	B1	バーンアウト状態モニタ	3D	DW	出力分配バイアス
0C	AA	イベント 1 状態モニタ	3E	DQ	出力分配レシオ
0D	AB	イベント 2 状態モニタ	3F	T0	比例周期
0E	AC	イベント 3 状態モニタ	40	VI	比例周期の最低 ON/OFF 時間
0F	AD	イベント 4 状態モニタ	41	ON	マニュアル操作出力値
10	AE	ヒータ断線警報 (HBA) 状態モニタ	42	RV	エリアソーク時間停止機能
11	Q1	出力状態モニタ	43	NG	NM モード選択 (外乱 1 用)
12	TR	メモリエリア運転経過時間モニタ	44	NX	NM モード選択 (外乱 2 用)
13	UT	積算稼動時間モニタ	45	NI	NM 量 1 (外乱 1 用)
14	Hp	周囲温度ピークホールド値モニタ	46	NJ	NM 量 1 (外乱 2 用)
15	EM	バックアップメモリ状態モニタ	47	NK	NM 量 2 (外乱 1 用)
16	ED	論理出力モニタ 1	48	NM	NM 量 2 (外乱 2 用)
17	EE	論理出力モニタ 2	49	NN	NM 切換時間 (外乱 1 用)
18	G1	PID/AT 切換	4A	NO	NM 切換時間 (外乱 2 用)
19	J1	オート/マニュアル切換	4B	NQ	NM 動作時間 (外乱 1 用)
1A	C1	リモート/ローカル切換	4C	NL	NM 動作時間 (外乱 2 用)
1B	SR	RUN/STOP 切換	4D	NR	NM 動作待ち時間 (外乱 1 用)
1C	ZA	メモリエリア切換	4E	NY	NM 動作待ち時間 (外乱 2 用)
1D	AR	インターロック解除	4F	NT	NM 量学習回数
1E	A1	イベント 1 設定値	50	NU	NM 起動信号
1F	A2	イベント 2 設定値	51	EI	運転モード
20	A3	イベント 3 設定値	52	ST	スタートアップチューニング (ST)
21	A4	イベント 4 設定値	53	Y8	自動昇温学習
22	A5	制御ループ断線警報 (LBA) 時間	54	EF	論理用通信スイッチ
23	N1	LBA デッドバンド	55	XI	入力種類
24	S1	設定値 (SV)	56	PU	表示単位
25	P1	比例帯 [加熱側]	57	XU	小数点位置
26	I1	積分時間 [加熱側]	58	XV	入力スケール上限
27	D1	微分時間 [加熱側]	59	XW	入力スケール下限
28	CA	制御応答パラメータ	5A	AV	入力異常判断点上限
29	P2	比例帯 [冷却側]	5B	AW	入力異常判断点下限
2A	I2	積分時間 [冷却側]	5C	BS	バーンアウト方向
2B	D2	微分時間 [冷却側]	5D	XH	開平演算
2C	V1	オーバーラップ/デッドバンド	5E	E0	出力割付 (論理出力選択機能)
2D	MR	マニュアルリセット	5F	NA	励磁/非励磁 (論理出力選択機能)
2E	HH	設定変化率リミット上昇	60	XA	イベント 1 種類
2F	HL	設定変化率リミット下降	61	FA	イベント 1 チャンネル設定
30	TM	エリアソーク時間	62	WA	イベント 1 待機動作
31	LP	リンク先エリア番号	63	LF	イベント 1 インターロック

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
64	HA	イベント1動作すきま	93	OL	出力リミッタ下限 [加熱側]
65	TD	イベント1遅延タイム	94	PX	出力変化率リミッタ上昇 [冷却側]
66	OA	イベント1動作の強制 ON 選択	95	PY	出力変化率リミッタ下降 [冷却側]
67	XB	イベント2種類	96	OX	出力リミッタ上限 [冷却側]
68	FB	イベント2チャンネル設定	97	OY	出力リミッタ下限 [冷却側]
69	WB	イベント2待機動作	98	GB	AT バイアス
6A	LG	イベント2インターロック	99	G3	AT サイクル
6B	HB	イベント2動作すきま	9A	OP	AT オン出力値
6C	TG	イベント2遅延タイム	9B	OQ	AT オフ出力値
6D	OB	イベント2動作の強制 ON 選択	9C	GH	AT 動作すきま時間
6E	XC	イベント3種類	9D	KC	比例帯調整係数 [加熱側]
6F	FC	イベント3チャンネル設定	9E	KD	積分時間調整係数 [加熱側]
70	WC	イベント3待機動作	9F	KE	微分時間調整係数 [加熱側]
71	LH	イベント3インターロック	A0	KF	比例帯調整係数 [冷却側]
72	HC	イベント3動作すきま	A1	KG	積分時間調整係数 [冷却側]
73	TE	イベント3遅延タイム	A2	KH	微分時間調整係数 [冷却側]
74	OC	イベント3動作の強制 ON 選択	A3	P6	比例帯リミッタ上限 [加熱側]
75	XD	イベント4種類	A4	P7	比例帯リミッタ下限 [加熱側]
76	FD	イベント4チャンネル設定	A5	I6	積分時間リミッタ上限 [加熱側]
77	WD	イベント4待機動作	A6	I7	積分時間リミッタ下限 [加熱側]
78	LI	イベント4インターロック	A7	D6	微分時間リミッタ上限 [加熱側]
79	HD	イベント4動作すきま	A8	D7	微分時間リミッタ下限 [加熱側]
7A	TF	イベント4遅延タイム	A9	P8	比例帯リミッタ上限 [冷却側]
7B	OD	イベント4動作の強制 ON 選択	AA	P9	比例帯リミッタ下限 [冷却側]
7C	XS	CT レシオ	AB	I8	積分時間リミッタ上限 [冷却側]
7D	ZF	CT 割付	AC	I9	積分時間リミッタ下限 [冷却側]
7E	ND	ヒータ断線警報 (HBA) 種類	AD	D8	微分時間リミッタ上限 [冷却側]
7F	DH	ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数	AE	D9	微分時間リミッタ下限 [冷却側]
80	XN	ホット/コールドスタート	AF	V2	開閉出力中立帯
81	SX	スタート判断点	B0	SY	開度帰還抵抗 (FBR) 入力断線時の動作
82	XL	SV トラッキング	B1	FV	開度調整
83	OT	MV 転送機能	B2	TN	コントロールモータ時間
84	XE	制御動作	B3	OI	積算出力リミッタ
85	PK	積分/微分時間の小数点位置	B4	VS	STOP 時のバルブ動作
86	KA	微分動作選択	B5	KI	ST 比例帯調整係数
87	KB	アンダーシュート抑制係数	B6	KJ	ST 積分時間調整係数
88	DG	微分ゲイン	B7	KK	ST 微分時間調整係数
89	IV	二位置動作すきま上側	B8	SU	ST 起動条件
8A	IW	二位置動作すきま下側	B9	Y7	自動昇温グループ
8B	WH	入力異常時動作上限	BA	RT	自動昇温むだ時間
8C	WL	入力異常時動作下限	BB	R2	自動昇温傾斜データ
8D	OE	入力異常時の操作出力値	BC	NS	NM 切換時間の小数点位置
8E	OF	STOP 時の操作出力値 [加熱側]	BD	NV	NM 出力値平均処理時間
8F	OG	STOP 時の操作出力値 [冷却側]	BE	NW	NM 測定安定幅
90	PH	出力変化率リミッタ上昇 [加熱側]	BF	HU	設定変化率リミッタ単位時間
91	PL	出力変化率リミッタ下降 [加熱側]	C0	RU	ソーク時間単位
92	OH	出力リミッタ上限 [加熱側]	C1	SH	設定リミッタ上限

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
C2	SL	設定リミッタ下限	C9	DY	出力分配 マスタチャンネル モジュールアドレス
C3	TS	PV 転送機能	CA	DZ	出力分配 マスタチャンネル選択
C4	EA	運転モード割付 1 (論理出力選択機能) 論理出力 1 ~ 4	CB	RL	連動モジュールアドレス
C5	EB	運転モード割付 2 (論理出力選択機能) 論理出力 5 ~ 8	CC	RM	連動モジュールチャンネル選択
C6	KM	SV 選択機能の動作選択	CD	RN	連動モジュール選択スイッチ
C7	MC	リモート SV 機能 マスタチャンネル モジュールアドレス	CE	X1	制御開始 / 停止保持設定
C8	MN	リモート SV 機能 マスタチャンネル選択	CF	ZX	インターバル時間

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

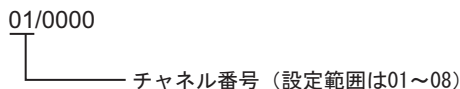
- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
☞「表記のルール」
- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.21 SRZ (Z-DIO) シリーズ

L/H はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	01/0000.00 -01/001E.1F	01/0000-01/001E	L/H	※1 ※2 ※3 ※4
	02/0000.00 -02/001E.1F	02/0000-02/001E		
	03/0000.00 -03/001E.1F	03/0000-03/001E		
	04/0000.00 -04/001E.1F	04/0000-04/001E		
	05/0000.00 -05/001E.1F	05/0000-05/001E		
	06/0000.00 -06/001E.1F	06/0000-06/001E		
	07/0000.00 -07/001E.1F	07/0000-07/001E		
	08/0000.00 -08/001E.1F	08/0000-08/001E		

- ※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。
- ※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。
- ※3 識別子にはチャンネル用、モジュール用のものがあります。チャンネル用の識別子については、正しいチャンネル番号を指定する必要があります。モジュール用の識別子はチャンネル番号を指定しても無視されます。



- ※4 32ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	VR	ROM バージョン	10	VJ	DO 比例周期の最低 ON/OFF 時間
01	VR	ROM バージョン	11	H2	DI 機能割付
02	L1	デジタル入力 (DI) 状態 1	12	E1	メモリエリアセット信号の有効 / 無効
03	L6	デジタル入力 (DI) 状態 2	13	LQ	DO 信号割付モジュールアドレス 1 [DO1 ~ DO4]
04	Q2	デジタル出力 (DO) 状態 1	14	LR	DO 信号割付モジュールアドレス 2 [DO5 ~ DO8]
05	Q3	デジタル出力 (DO) 状態 2	15	LT	DO 出力割付 1 [DO1 ~ 4]
06	ER	エラーコード	16	LX	DO 出力割付 2 [DO5 ~ 8]
07	UT	積算稼働時間モニタ	17	NB	DO 励磁 / 非励磁
08	EM	バックアップメモリ状態モニタ	18	DD	DO 出力分配 マスタチャンネルモジュールアドレス
09	SR	RUN/STOP 切換	19	DJ	DO 出力分配 マスタチャンネル選択
0A	Q4	DO マニュアル出力 1	1A	OJ	DO_STOP 時の操作出力値
0B	Q5	DO マニュアル出力 2	1B	D3	DO 出力リミッタ上限
0C	DO	DO 出力分配切換	1C	D4	DO 出力リミッタ下限
0D	O8	DO 出力分配バイアス	1D	X1	制御開始 / 停止保持設定
0E	O9	DO 出力分配レシオ	1E	ZX	インターバル時間
0F	V0	DO 比例周期			

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.22 SRZ (Z-CT) シリーズ

L/H はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	01/0000.00 -01/001D.1F	01/0000-01/001D	L/H	※1 ※2 ※3 ※4
	02/0000.00 -02/001D.1F	02/0000-02/001D		
	03/0000.00 -03/001D.1F	03/0000-03/001D		
	04/0000.00 -04/001D.1F	04/0000-04/001D		
	05/0000.00 -05/001D.1F	05/0000-05/001D		
	06/0000.00 -06/001D.1F	06/0000-06/001D		
	07/0000.00 -07/001D.1F	07/0000-07/001D		
	08/0000.00 -08/001D.1F	08/0000-08/001D		
	09/0000.00 -09/001D.1F	09/0000-09/001D		
	10/0000.00 -10/001D.1F	10/0000-10/001D		
	11/0000.00 -11/001D.1F	11/0000-11/001D		
	12/0000.00 -12/001D.1F	12/0000-12/001D		

※1 デバイスアドレスによっては書込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 識別子にはチャンネル用、モジュール用のものがあります。チャンネル用の識別子については、正しいチャンネル番号を指定する必要があります。モジュール用の識別子はチャンネル番号を指定しても無視されます。

01/0000

└─── チャンネル番号 (設定範囲は01~12)

※4 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	VR	ROM バージョン	0F	BO	ヒータ過電流警報選択
01	VR	ROM バージョン	10	CX	ヒータ断線警報 (HBA) インターロック解除
02	M4	電流検出器 (CT) 入力値モニタ	11	CY	ヒータ過電流警報インターロック解除
03	M5	負荷率換算 CT モニタ	12	LK	設定ロック
04	AF	ヒータ断線警報 (HBA) 状態モニタ	13	BV	CT 種類
05	AG	ヒータ過電流警報状態モニタ	14	XT	CT レシオ (CT の巻き数)
06	ER	エラーコード	15	DI	ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数
07	UT	積算稼働時間モニタ	16	BW	ヒータ断線警報 (HBA) 自動設定係数
08	EM	バックアップメモリ状態モニタ	17	B9	ヒータ過電流警報自動設定係数
09	CJ	自動設定状態モニタ	18	BP	自動設定判断電流値
0A	BT	ヒータ断線 / ヒータ過電流警報自動設定選択	19	BQ	自動設定時間
0B	BU	自動設定切換	1A	BX	CT 割付モジュールアドレス
0C	A8	ヒータ断線警報 (HBA) 設定値	1B	BY	CT 割付モジュールチャンネル
0D	BZ	ヒータ断線警報 (HBA) 選択	1C	IC	負荷率換算方式
0E	A6	ヒータ過電流警報設定値	1D	ZX	インターバル時間

重要

- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは 0 が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

6.23 SRZ (Z-COM) シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

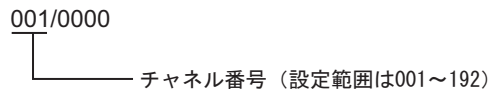
デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
コミュニケーション識別子	001/0000.00 -001/0123.1F	001/0000-001/0123	L/H	※1 ※2 ※3 ※4
	002/0000.00 -002/0123.1F	002/0000-002/0123		
	003/0000.00 -003/0123.1F	003/0000-003/0123		
	:	:		
	191/0000.00 -191/0123.1F	191/0000-191/0123		
	192/0000.00 -192/0123.1F	192/0000-192/0123		

※1 デバイスアドレスによっては書き込み不可場合があります。使用する前に、接続機器のマニュアルの識別属性を確認してください。

※2 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み、読んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

※3 識別子にはチャンネル用、モジュール用、SRZ ユニット用のものがあります。SRZ ユニット用の識別子についてのみ、チャンネル番号は無視されます。チャンネル用およびモジュール用の識別子については、SRZ ユニット構成に従って正しいチャンネル番号を計算する必要があります。チャンネル番号の計算方法は以下のとおりです（詳細は接続機器のマニュアルを参照してください）。

- ・モジュールごとのデータ（モジュール種類関係なし）
通信上のチャンネル番号＝モジュールアドレス設定＋オフセット値＋1
- ・モジュールごとのデータ（モジュールの種類ごと）
通信上のチャンネル番号＝モジュールアドレス設定＋1
- ・チャンネルごとのデータ
通信上のチャンネル番号＝モジュールアドレス設定×機能モジュールの最大チャンネル数
＋モジュール内のチャンネル番号



※4 32 ビットデバイス

<識別子一覧>

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
00	VR	ROM バージョン (Z-COM モジュール)	21	VT	PLC スキャンタイム
01	VR	ROM バージョン (Z-COM モジュール)	22	R5	PLC 通信開始時間
02	VQ	ROM バージョン (機能モジュール)	23	RY	モジュール接続台数の設定方法
03	VQ	ROM バージョン (機能モジュール)	24	RK	スレーブマッピング方式
04	UT	積算稼動時間モニタ (Z-COM モジュール)	25	QY	モジュール接続台数 (Z-TIO モジュール)
05	UV	積算稼動時間モニタ (機能モジュール)	26	QU	モジュール接続台数 (Z-DIO モジュール)
06	ER	エラーコード (Z-COM モジュール)	27	QO	モジュール接続台数 (Z-CT モジュール)
07	EZ	エラーコード (機能モジュール)	28	QA	有効グループ数
08	EM	バックアップメモリ状態モニタ (Z-COM モジュール)	29	X2	制御開始/停止保持設定 (ユニットごと)
09	CZ	バックアップメモリ状態モニタ (機能モジュール)	2A	M1	測定値 (PV)
0A	QM	システム通信状態	2B	AJ	総合イベント状態
0B	QL	SRZ 正常通信フラグ	2C	L0	運転モード状態モニタ
0C	ES	PLC 通信エラーコード	2D	O1	操作用出力値 (MV) モニタ [加熱側]
0D	QN	ユニット認識フラグ	2E	O2	操作用出力値 (MV) モニタ [冷却側]
0E	QK	接続モジュール数モニタ	2F	M3	電流検出器 (CT) 入力値モニタ
0F	SR	RUN/STOP 切換 (ユニットごと)	30	MS	設定値 (SV) モニタ
10	SW	RUN/STOP 切換 (モジュールごと)	31	S2	リモート設定 (RS) 入力値モニタ
11	X1	制御開始/停止保持設定 (モジュールごと)	32	B1	バーンアウト状態モニタ
12	VK	通信 1 プロトコル	33	AA	イベント 1 状態モニタ
13	VL	通信 1 通信速度	34	AB	イベント 2 状態モニタ
14	VM	通信 1 データビット構成	35	AC	イベント 3 状態モニタ
15	VN	通信 1 インターバル時間	36	AD	イベント 4 状態モニタ
16	VP	通信 2 プロトコル	37	AE	ヒータ断線警報 (HBA) 状態モニタ
17	VU	通信 2 通信速度	38	Q1	出力状態モニタ
18	VW	通信 2 データビット構成	39	TR	メモリエリア運転経過時間モニタ
19	VX	通信 2 インターバル時間	3A	Hp	周囲温度ピークホールド値モニタ
1A	QV	局番	3B	ED	論理出力モニタ 1
1B	QW	PC 番号 (CPU 番号)	3C	EE	論理出力モニタ 2
1C	QZ	レジスタ種類	3D	G1	PID/AT 切換
1D	QS	レジスタ開始番号 (上位 4 ビット)	3E	J1	オート/マニュアル切換
1E	QX	レジスタ開始番号 (下位 16 ビット)	3F	C1	リモート/ローカル切換
1F	QQ	システムデータアドレスバイアス	40	ZA	メモリエリア切換
20	QT	COM モジュールリンク認識時間	41	AR	インターロック解除

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
42	A1	イベント 1 設定値	71	NR	NM 動作待ち時間 (外乱 1 用)
43	A2	イベント 2 設定値	72	NY	NM 動作待ち時間 (外乱 2 用)
44	A3	イベント 3 設定値	73	NT	NM 量学習回数
45	A4	イベント 4 設定値	74	NU	NM 起動信号
46	A5	制御ループ断線警報 (LBA) 時間	75	EI	運転モード
47	N1	LBA デッドバンド	76	ST	スタートアップチューニング (ST)
48	S1	設定値 (SV)	77	Y8	自動昇温学習
49	P1	比例帯 [加熱側]	78	EF	論理用通信スイッチ
4A	I1	積分時間 [加熱側]	79	XI	入力種類
4B	D1	微分時間 [加熱側]	7A	PU	表示単位
4C	CA	制御応答パラメータ	7B	XU	小数点位置
4D	P2	比例帯 [冷却側]	7C	XV	入力スケール上限
4E	I2	積分時間 [冷却側]	7D	XW	入力スケール下限
4F	D2	微分時間 [冷却側]	7E	AV	入力異常判断点上限
50	V1	オーバーラップ/デッドバンド	7F	AW	入力異常判断点下限
51	MR	マニュアルリセット	80	BS	バーンアウト方向
52	HH	設定変化率リミッタ上昇	81	XH	開平演算
53	HL	設定変化率リミッタ下降	82	E0	出力割付 (論理出力選択機能)
54	TM	エリアソーク時間	83	NA	励磁/非励磁 (論理出力選択機能)
55	LP	リンク先エリア番号	84	XA	イベント 1 種類
56	A7	ヒータ断線警報 (HBA) 設定値	85	FA	イベント 1 チャンネル設定
57	NE	ヒータ断線判断点	86	WA	イベント 1 待機動作
58	NF	ヒータ溶着判断点	87	LF	イベント 1 インターロック
59	PB	PV バイアス	88	HA	イベント 1 動作すきま
5A	F1	PV デジタルフィルタ	89	TD	イベント 1 遅延タイム
5B	PR	PV レシオ	8A	OA	イベント 1 動作の強制 ON 選択
5C	DP	PV 低入力カットオフ	8B	XB	イベント 2 種類
5D	RB	RS バイアス	8C	FB	イベント 2 チャンネル設定
5E	F2	RS デジタルフィルタ	8D	WB	イベント 2 待機動作
5F	RR	RS レシオ	8E	LG	イベント 2 インターロック
60	DV	出力分配切換	8F	HB	イベント 2 動作すきま
61	DW	出力分配バイアス	90	TG	イベント 2 遅延タイム
62	DQ	出力分配レシオ	91	OB	イベント 2 動作の強制 ON 選択
63	T0	比例周期	92	XC	イベント 3 種類
64	VI	比例周期の最低 ON/OFF 時間	93	FC	イベント 3 チャンネル設定
65	ON	マニュアル操作出力値	94	WC	イベント 3 待機動作
66	RV	エリアソーク時間停止機能	95	LH	イベント 3 インターロック
67	NG	NM モード選択 (外乱 1 用)	96	HC	イベント 3 動作すきま
68	NX	NM モード選択 (外乱 2 用)	97	TE	イベント 3 遅延タイム
69	NI	NM 量 1 (外乱 1 用)	98	OC	イベント 3 動作の強制 ON 選択
6A	NJ	NM 量 1 (外乱 2 用)	99	XD	イベント 4 種類
6B	NK	NM 量 2 (外乱 1 用)	9A	FD	イベント 4 チャンネル設定
6C	NM	NM 量 2 (外乱 2 用)	9B	WD	イベント 4 待機動作
6D	NN	NM 切換時間 (外乱 1 用)	9C	LI	イベント 4 インターロック
6E	NO	NM 切換時間 (外乱 2 用)	9D	HD	イベント 4 動作すきま
6F	NQ	NM 動作時間 (外乱 1 用)	9E	TF	イベント 4 遅延タイム
70	NL	NM 動作時間 (外乱 2 用)	9F	OD	イベント 4 動作の強制 ON 選択

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
A0	XS	CT レシオ	C8	P7	比例帯リミッタ下限 [加熱側]
A1	ZF	CT 割付	C9	I6	積分時間リミッタ上限 [加熱側]
A2	ND	ヒータ断線警報 (HBA) 種類	CA	I7	積分時間リミッタ下限 [加熱側]
A3	DH	ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数	CB	D6	微分時間リミッタ上限 [加熱側]
A4	XN	ホット/コールドスタート	CC	D7	微分時間リミッタ下限 [加熱側]
A5	SX	スタート判断点	CD	P8	比例帯リミッタ上限 [冷却側]
A6	XL	SV トラッキング	CE	P9	比例帯リミッタ下限 [冷却側]
A7	OT	MV 転送機能	CF	I8	積分時間リミッタ上限 [冷却側]
A8	XE	制御動作	D0	I9	積分時間リミッタ下限 [冷却側]
A9	PK	積分/微分時間の小数点位置	D1	D8	微分時間リミッタ上限 [冷却側]
AA	KA	微分動作選択	D2	D9	微分時間リミッタ下限 [冷却側]
AB	KB	アンダーシュート抑制係数	D3	V2	開閉出力中立帯
AC	DG	微分ゲイン	D4	SY	開度帰還抵抗 (FBR) 入力断線時の動作
AD	IV	二位置動作すきま上側	D5	FV	開度調整
AE	IW	二位置動作すきま下側	D6	TN	コントロールモータ時間
AF	WH	入力異常時動作上限	D7	OI	積算出力リミッタ
B0	WL	入力異常時動作下限	D8	VS	STOP 時のバルブ動作
B1	OE	入力異常時の操作出力値	D9	KI	ST 比例帯調整係数
B2	OF	STOP 時の操作出力値 [加熱側]	DA	KJ	ST 積分時間調整係数
B3	OG	STOP 時の操作出力値 [冷却側]	DB	KK	ST 微分時間調整係数
B4	PH	出力変化率リミッタ上昇 [加熱側]	DC	SU	ST 起動条件
B5	PL	出力変化率リミッタ下降 [加熱側]	DD	Y7	自動昇温グループ
B6	OH	出力リミッタ上限 [加熱側]	DE	RT	自動昇温むだ時間
B7	OL	出力リミッタ下限 [加熱側]	DF	R2	自動昇温傾斜データ
B8	PX	出力変化率リミッタ上昇 [冷却側]	E0	NS	NM 切換時間の小数点位置
B9	PY	出力変化率リミッタ下降 [冷却側]	E1	NV	NM 出力値平均処理時間
BA	OX	出力リミッタ上限 [冷却側]	E2	NW	NM 測定安定幅
BB	OY	出力リミッタ下限 [冷却側]	E3	HU	設定変化率リミッタ単位時間
BC	GB	AT バイアス	E4	RU	ソーク時間単位
BD	G3	AT サイクル	E5	SH	設定リミッタ上限
BE	OP	AT オン出力値	E6	SL	設定リミッタ下限
BF	OQ	AT オフ出力値	E7	TS	PV 転送機能
C0	GH	AT 動作すきま時間	E8	EA	運転モード割付 1 (論理出力選択機能) 論理出力 1 ~ 4
C1	KC	比例帯調整係数 [加熱側]	E9	EB	運転モード割付 2 (論理出力選択機能) 論理出力 5 ~ 8
C2	KD	積分時間調整係数 [加熱側]	EA	KM	SV 選択機能の動作選択
C3	KE	微分時間調整係数 [加熱側]	EB	MC	リモート SV 機能 マスタチャンネル モジュールアドレス
C4	KF	比例帯調整係数 [冷却側]	EC	MN	リモート SV 機能 マスタチャンネル選択
C5	KG	積分時間調整係数 [冷却側]	ED	DY	出力分配 マスタチャンネル モジュールアドレス
C6	KH	微分時間調整係数 [冷却側]	EE	DZ	出力分配 マスタチャンネル選択
C7	P6	比例帯リミッタ上限 [加熱側]	EF	RL	連動モジュールアドレス

アドレス	識別子	内容	アドレス	識別子	内容
F0	RM	連動モジュールチャンネル選択	10A	VF	DIO インターバル時間
F1	RN	連動モジュール選択スイッチ	10B	M4	電流検出器 (CT) 入力値モニタ
F2	VG	TIO インターバル時間	10C	M5	負荷率換算 CT モニタ
F3	L1	デジタル入力 (DI) 状態 1	10D	AF	ヒータ断線警報 (HBA) 状態モニタ
F4	L6	デジタル入力 (DI) 状態 2	10E	AG	ヒータ過電流警報状態モニタ
F5	Q2	デジタル出力 (DO) 状態 1	10F	CJ	自動設定状態モニタ
F6	Q3	デジタル出力 (DO) 状態 2	110	BT	ヒータ断線 / ヒータ過電流警報自動設定選択
F7	Q4	DO マニュアル出力 1	111	BU	自動設定切換
F8	Q5	DO マニュアル出力 2	112	A8	ヒータ断線警報 (HBA) 設定値
F9	DO	DO 出力分配切換	113	BZ	ヒータ断線警報 (HBA) 選択
FA	O8	DO 出力分配バイアス	114	A6	ヒータ過電流警報設定値
FB	O9	DO 出力分配レシオ	115	BO	ヒータ過電流警報選択
FC	V0	DO 比例周期	116	CX	ヒータ断線警報 (HBA) インターロック解除
FD	VJ	DO 比例周期の最低 ON/OFF 時間	117	CY	ヒータ過電流警報 インターロック解除
FE	H2	DI 機能割付	118	LK	設定ロック
FF	E1	メモリエリアセット信号の有効 / 無効	119	BV	CT 種類
100	LQ	DO 信号割付 モジュールアドレス 1 [DO1 ~ DO4]	11A	XT	CT レシオ (CT の巻き数)
101	LR	DO 信号割付 モジュールアドレス 2 [DO5 ~ DO8]	11B	DI	ヒータ断線警報 (HBA) 遅延回数
102	LT	DO 出力割付 1 [DO1 ~ DO4]	11C	BW	ヒータ断線警報 (HBA) 自動設定係数
103	LX	DO 出力割付 2 [DO5 ~ DO8]	11D	B9	ヒータ過電流警報自動設定係数
104	NB	DO 励磁 / 非励磁	11E	BP	自動設定判断電流値
105	DD	DO 出力分配 マスタチャンネル モジュールアドレス	11F	BQ	自動設定時間
106	DJ	DO 出力分配 マスタチャンネル選択	120	BX	CT 割付モジュールアドレス
107	OJ	DO_STOP 時の操作用出力値	121	BY	CT 割付モジュールチャンネル
108	D3	DO 出力リミッタ上限	122	IC	負荷率換算方式
109	D4	DO 出力リミッタ下限	123	VH	CT インターバル時間

重要


- GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を行うと誤動作の原因になります。「システムデータエリアを使用する」は設定しないでください。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

- 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエラーは表示されます。

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します

7.1 CB シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.2 FB シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.3 HA シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.4 MA シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.5 SRV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.6 SRX シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.7 SA シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.8 SR Mini HG (H-PCP-A/B) シリーズ

デバイス	デバイス名	チャンネル番号	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	01/	0080	ワードアドレスと同じ
	—	02/	0180	
	—	03/	0280	
	—	04/	0380	
	—	05/	0480	
	—	06/	0580	
	—	07/	0680	
	—	08/	0780	
	—	09/	0880	
	—	10/	0980	
	—	11/	0A80	
	—	12/	0B80	
	—	13/	0C80	
	—	14/	0D80	
	—	15/	0E80	
	—	16/	0F80	
	—	17/	1080	
	—	18/	1180	
	—	19/	1280	
	—	20/	1380	

7.9 SR Mini HG (H-PCP-J) シリーズ

デバイス	デバイス名	チャンネル番号	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	01/	0080	ワードアドレスと同じ
	—	02/	0180	
	—	03/	0280	
	—	04/	0380	
	—	05/	0480	
	—	06/	0580	
	—	07/	0680	
	—	08/	0780	
	—	09/	0880	
	—	10/	0980	
	—	11/	0A80	
	—	12/	0B80	
	—	13/	0C80	
	—	14/	0D80	
	—	15/	0E80	
	—	16/	0F80	
	—	17/	1080	
	—	18/	1180	
	—	19/	1280	
	—	20/	1380	
	—	:	:	
—	95/	5E80		
—	96/	5F80		

7.10 REX-F9000 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.11 REX-F シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.12 REX-D シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.13 REX-G9 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.14 REX-P300 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.15 REX-P250 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.16 REX-AD シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.17 REX-PG シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.18 AE500 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.19 LE100 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	0080	ワードアドレスと同じ

7.20 SRZ (Z-TIO) シリーズ

デバイス	デバイス名	チャンネル番号	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	01/	0080	ワードアドレスと同じ
	—	02/	0180	
	—	03/	0280	
	—	04/	0380	

7.21 SRZ (Z-DIO) シリーズ

デバイス	デバイス名	チャンネル番号	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	01/	0080	ワードアドレスと同じ
	—	02/	0180	
	—	03/	0280	
	—	04/	0380	
	—	05/	0480	
	—	06/	0580	
	—	07/	0680	
	—	08/	0780	

7.22 SRZ (Z-CT) シリーズ

デバイス	デバイス名	チャンネル番号	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	01/	0080	ワードアドレスと同じ
	—	02/	0180	
	—	03/	0280	
	—	04/	0380	
	—	05/	0480	
	—	06/	0580	
	—	07/	0680	
	—	08/	0780	
	—	09/	0880	
	—	10/	0980	
	—	11/	0A80	
	—	12/	0B80	

7.23 SRZ (Z-COM) シリーズ

デバイス	デバイス名	チャンネル番号	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
コミュニケーション識別子	—	001/	0080	ワードアドレスと同じ
	—	002/	0180	
	—	003/	0280	
	—	004/	0380	
	—	005/	0480	
	—	006/	0580	
	—	007/	0680	
	—	008/	0780	
	—	009/	0880	
	—	010/	0980	
	—	011/	0A80	
	:	:	:	
	—	191/	BE80	
	—	192/	BF80	

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	<p>エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。 デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書き込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード:2[02H])」

MEMO

- 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
- ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「表示器で表示されるエラー」を参照してください。

■ 接続機器特有のエラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージ	内容
RHxx128	(接続機器名): 識別子 (識別子) の設定値は不正です。調節計マニュアルを確認してください。	書き込んだ値が設定できる桁数を超えた場合に表示されます。
RHxx129	(接続機器名): チャンネル番号 (チャンネル番号) の SRZ ユニットに識別子 (識別子) は存在しません。再度確認してください。	存在しない識別子を使用した場合に表示されます。